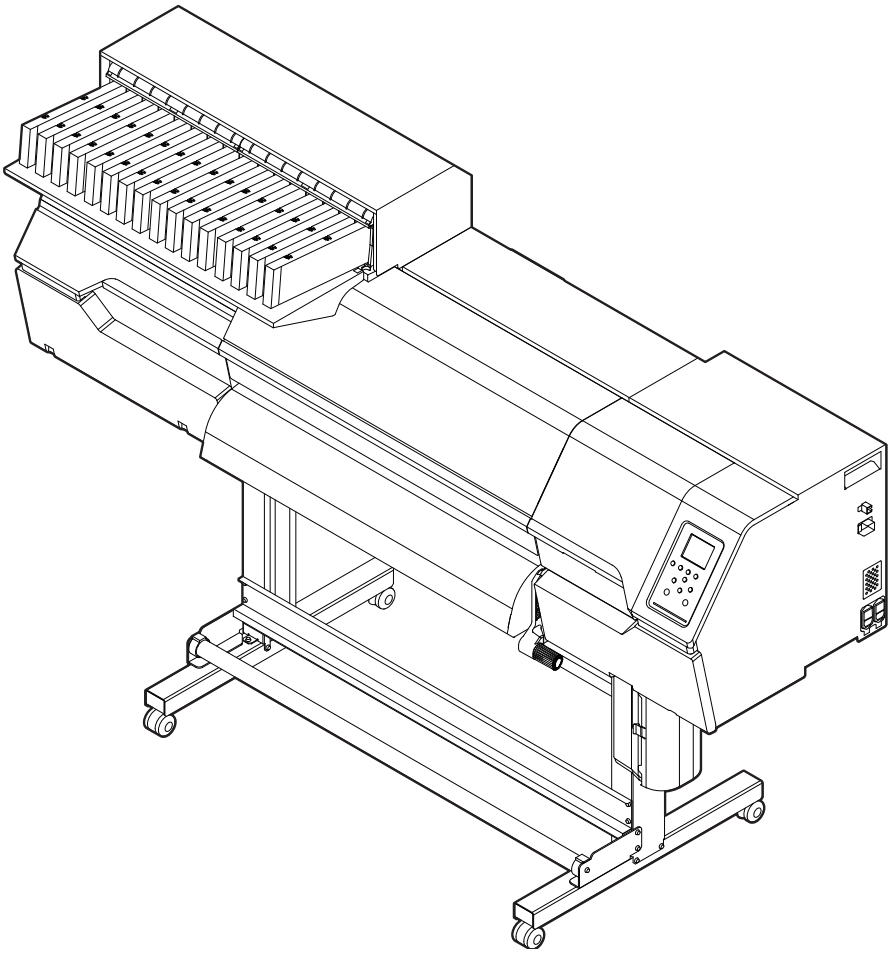
Operation Manual

Mimaki

INKJET PRINTER

TXF330-800

取扱説明書



本書の最新版は、弊社ホームページからもダウンロードできます。

株式会社ミマキエンジニアリング
https://japan.mimaki.com/

D203943-11
Original instructions

目次

はじめに 5
安全にお使いいただくために 6
シンボルマーク表示について 6
使用上の警告と注意 7
インクやその他本機で使用されている液体を取り扱うときの注意事項 10
インク仕様 12
インク消費有効期限に対する本機の制限について 13
設置上のご注意 14
設置スペース 15
本機を移設したいとき 15
安全インターロックについて 16
警告ラベル 17

第 1 章 ご使用の前に

1.1 各部の名称とはたらき 20
正面 20
背面/右側面 21
キャリッジ 22
キャッピングステーション 22
ピンチローラーとグリットローラー 22
プラテン 23
インクステータスランプ 24
メディアセンサー 24
電源スイッチ 25
操作パネル 26
1.2 電源ケーブルを接続する 29
電源を入れる 30
電源を切る 31
1.3 本機とコンピューターを接続する 32
LANケーブルを使う 32
USBケーブルを使う 33
1.4 システム構成 35
Mimakiドライバーをインストールする 36
RIP用ソフトウェアをインストールする 36
カラープロファイルを入手する 36
RIP用ソフトウェアを準備する 36
1.5 インクの交換方法 38
インクレベルロー、インクニアエンドが表示されたとき 38
インクエンドが表示されたとき 40
インクを交換する 41

第 2 章 プリントしてみる

2.1 プリントの流れ 46
2.2 プリントヘッドの高さを調整する 49
2.3 プリント前のメンテナンスをする 51

2.4 メディアをセットする..... 52
メディアについて..... 52
繰出ユニットについて..... 53
ロールメディアをセットする..... 55
2.5 ヒーターの温度を設定する..... 60
2.6 テストプリントをする..... 61
テストプリントの配置方向を変更する..... 61
吐出不良について..... 62
2.7 ヘッドクリーニングをする..... 63
2.8 自動補正をする..... 64
自動補正の手順..... 64
2.9 フィード補正をする..... 65
フィード補正の手順..... 65
2.10 ドット位置補正をする..... 66
ドット位置補正の手順..... 66
2.11 RIPデータを準備する..... 68
2.12 プリントする..... 70
原点を変更する..... 70
プリントを開始する..... 70
プリントを中止する（データクリア）..... 71
2.13 メディアを裁断する..... 72

第 3 章 各種設定

3.1 メディア設定メニュー..... 74
3.2 メンテナンスメニュー..... 77
ノズルリカバリーを登録する..... 79
ノズルチェックとは..... 81
3.3 機能設定メニュー..... 82
3.4 環境設定メニュー..... 84
3.5 マシンステータスメニュー..... 86

第 4 章 メンテナンス

4.1 メンテナンスに関するご注意..... 88

4.2 メンテナンスの方法 89
メンテナンス項目とタイミング 89
インクのメンテナンス 90
ワイパーの清掃 91
キャップゴムの清掃 93
NCUの清掃 94
キャリッジ底面の清掃 95
自動補正センサー（DAS）の清掃 96
インク排出経路の洗浄 97
メディアセンサーの清掃 98
メディア押さえの清掃 99
プラテンの清掃 99
洗浄液トレイの清掃 100
カバー（外装）の清掃 101
長期間使用しないときは 102
4.3 消耗品の交換 104
ワイパーの交換 104
キャップの交換 105
排気ファンフィルターの交換 107
ピンチローラーの交換 108
メディア押さえの交換 109
メディア裁断カッターの交換 111
廃インクタンクの交換 113
4.4 インクカートリッジの補正 116
インクカートリッジの重量を補正する 116

第 5 章 困ったときは

5.1 故障かな?と思ったときは 118
電源が入らない 118
プリントできない 118
メディア詰まり、メディアが汚れる 118
メディアの繰り出しが止まらない 119
画質不良が発生した 119
ノズル吐出不良が発生した 120
ヒーターの温度が規定値まで上昇しない 122
インクが漏れた 122
5.2 メッセージを表示するトラブル 123
ワーニングメッセージ 123
インクエラー 125
エラーメッセージ 127
SYSTEM HALT 131

第 6 章 付録

6.1 仕様 134
6.2 LICENSE Library (EPL5 StarterWare) 136

はじめに

この度はインクジェットプリンター TxF330-800をお買い上げいただきまして、誠にありがとうございます。

安全に正しくお使いいただくために、取扱説明書（以後、本書と称します）をよくお読みいただき、十分に理解してから使用してください。

本書で使用しているイラストは、機能や手順、操作の説明を目的としており、本機と異なる場合があります。あらかじめご了承ください。

Adobe、Adobeロゴ、Acrobat、Illustrator、Photoshop、およびPostScriptは、Adobe Incorporatedの米国ならびにその他の国における商標、または登録商標です。

その他本書に記載されている会社名、および商品名は各社の日本ならびにその他の国における商標、または登録商標です。

本書の内容を無断で転載することは禁止されています。

© 2026 株式会社ミマキエンジニアリング

● 免責事項

- TxF330-800（以後、本機と称します）の故障有無に関わらず、本機をお使いいただいたことによって生じた直接、または間接的な損害に対して、当社は一切の責任を負いません。
- 本機により作成された製作物に対して生じた直接、または間接的な損害に対して、当社は一切の責任を負いません。
- 弊社推奨品以外の装置などを使用すると、火災、または本機の破損事故のおそれがあります。この場合には保証の対象外となります。また、それに対して生じた直接、または間接的な損害に対して、当社は一切の責任を負いません。
- 弊社純正インク、メンテナンス液をご使用ください。それ以外を使用すると、プリント品質の低下、本機の故障のおそれがあります。この場合には保証の対象外となります。また、それに対して生じた直接、または間接的な損害に対して、当社は一切の責任を負いません。
- インクカートリッジのインクを詰め替えないでください。この場合には保証の対象外となります。また、それに対して生じた直接、または間接的な損害に対して、当社は一切の責任を負いません。

● テレビ、ラジオの受信障害について

- 本機稼働中は、高周波が発生しています。不適切な条件下で使用した場合、テレビやラジオの受信障害を発生するおそれがあります。特殊なテレビやラジオに対して、保証しておりません。

テレビやラジオの受信障害が発生したら、本機の電源を切ってから、テレビやラジオの受信状態をご確認ください。電源を切って受信障害が解消すれば、本機が原因と考えられます。

次の手順のいずれか、またはいくつかを組み合わせて試してください。

- テレビやラジオのアンテナの向きを変えて、受信障害の発生しない位置を探してください。
- テレビやラジオは、本機から離れた場所に設置してください。
- テレビやラジオは、本機が接続している電源供給経路とは別のコンセントに接続してください。

● 電波障害自主規制

本機は、VCCIクラスA情報技術装置です。本機を家庭で使用すると電波妨害を引き起こすおそれがあります。この場合には使用者が適切な対策を講ずるよう要求されることがあります。 VCCI-A

安全にお使いいただくために

シンボルマーク表示について

本書では、シンボルマーク表示により操作上の注意内容を説明しています。各マークの持つ意味を十分理解して、本機を安全に正しくお使いください。

内　容		
⚠警 告	警告	この指示を無視して誤った取り扱いをすると、死亡、または重傷のおそれがある内容を示しています。
⚠注 意	注意	この指示を無視して誤った取り扱いをすると、軽傷、または中程度の負傷のおそれがある内容を示しています。
注 記	注記	この指示を無視して誤った取り扱いをすると、財産の損害が発生するおそれがある内容を示しています。
	一般警告	注意しなければならない事項を示しています。具体的な警告内容は、マークの中に描かれています。
	一般強制指示	実行しなければならない事項を示しています。具体的な強制指示内容は、マークの中に描かれています。
	一般禁止	してはいけない事項を示しています。具体的な禁止内容は、マークの中に描かれています。
重 要!	重要	本機をお使いいただく上で、知っておいていただきたい事項を示しています。
	ヒント	知っておくと便利な事項を示しています。
	参照情報	関連する内容の参照ページを示しています。

使用上の警告と注意

● 異常事態が発生したら

⚠ 警 告

- 万一、煙が出ていたり、変な臭いがしたりするなどの異常事態が発生したら、直ちに主電源を切って電源ケーブルを抜いてください。そのまま使用すると、本機の故障や感電、もしくは火災につながるおそれがあります。煙が出なくなるのを確認してから、販売店、お近くの弊社営業所、またはコールセンターにお問い合わせください。お客様による修理は、危険ですから絶対にしないでください。

⚠ 注 意

- インクやメンテナンス液、廃インク、そのほか本機で使用されている液体が皮膚に付着してしまったときは、直ちに布などでふき取ってください。そのあと石鹸を使用して、大量の水で洗い流してください。インクが付着したまま放置すると、皮膚が炎症をおこす原因になります。皮膚に刺激や痛みを感じたときは、速やかに医師の診断を受けてください。
- インクやメンテナンス液、廃インク、そのほか本機で使用されている液体が目に入ってしまったときは、直ちに大量の清浄な流水で15分以上洗い流してください。コンタクトレンズを着用していて、容易に外せる場合は、清浄な流水で15分以上洗い流したあとに外してください。また、まぶたの裏まで完全に洗ってください。インクが付着したまま放置すると、失明や視力が低下する原因になります。目に刺激や痛みを感じたときは、速やかに医師の診断を受けてください。
- インクやメンテナンス液、廃インク、そのほか本機で使用されている液体が口に入ってしまったり、飲み込んでしまったりしたときは、無理に吐かせないで直ちにうがいをして、速やかに医師の診断を受けてください。無理に吐かせると、吐いたものが気管に入ってしまうおそれがあります。
- 蒸気を大量に吸い込んでしまったときは、新鮮な空気の場所に移動して、暖かくして呼吸しやすい姿勢で安静にしてください。症状が改善しない場合は、速やかに医師の診断を受けてください。
- すぐに医師の診断を受けられない場合は、（財）日本中毒情報センター 中毒110 番に相談してください。
  （大阪） 072-727-2499 24時間対応
  （つくば） 029-852-9999 9～21時対応

注 記

- インクが漏れてしまったときは、すぐに主電源を切って電源ケーブルを抜いてください。そのあと、販売店、お近くの弊社営業所、またはコールセンターにお問い合わせください。

● 電源に関するご注意

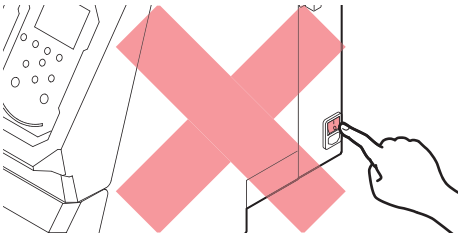
⚠ 警 告

- 付属の電源ケーブルを使用してください。本機の故障や感電、もしくは火災につながるおそれがあります。なお、本機以外の電気機器には使用できません。
- 電源ケーブルを抜くときは、必ずプラグを持って抜いてください。電源ケーブルを引っ張るとケーブルが破損して、本機の故障や感電、もしくは火災につながるおそれがあります。
- 電源プラグにホコリなどが付着したまま使用しないでください。本機の故障や感電、もしくは火災につながるおそれがあります。
- 電源プラグの刃に金属などが触れないようにしてください。本機の故障や感電、もしくは火災につながるおそれがあります。
- 電源ケーブルを傷つけたり、加工しないでください。また、重い物をのせたり、加熱したり、引っ張ったりしないでください。電源ケーブルが破損して、感電や火災につながるおそれがあります。
- 延長コードの使用やタコ足配線をしないでください。本機の故障や感電、もしくは火災につながるおそれがあります。
- 電源ケーブルの破損や芯線の露出、断線などが見られる場合は使用しないでください。本機の故障や感電、もしくは火災につながるおそれがあります。
- 濡れた手で電源プラグを抜き挿ししないでください。感電のおそれがあります。

- 電源ケーブルのプラグは、接地（アース）極性付きのコンセントに接続してください。本機の故障や感電、もしくは火災につながるおそれがあります。
- コンセントの増設には、感電事故防止のため接地（アース）工事が必要です。必ず電気工事士の免許を持った人が電気工事（C種接地工事（特別第3種接地工事））をしてください。

注 記

- 主電源を切らないでください。主電源を切っていると、オートメンテナンス機能（ノズル詰まり防止機能やインク排出経路の清掃機能など）が実行することができません。吐出不良（ノズル詰まり、飛行曲がりなど）の原因になります。



- 本機は指定された電源仕様で使用してください。
- 電源ケーブルは、必ず本機の近くにある電源コンセントに接続してください。また、電源プラグの刃を根元まで確実に挿し込んでください。
- 電源ケーブルを接続する際には、電源コンセントの入力電圧、ブレーカーの容量を確認してください。また、それぞれのケーブルはブレーカーが独立している別の電源に接続してください。同じブレーカーにつながっているコンセントに接続すると、ブレーカーが遮断する原因になります。

● 可動部に注意してください

⚠ 注 意

- 顔や手など体の一部を可動部に近づけないでください。また作業の妨げになるような服装（ダブついた服装、装飾品など）で、本機に近づかないでください。ケガをするおそれがあります。

- 長い髪の毛は束ねてください。ケガをするおそれがあります。

● 分解、改造はしないでください

⚠ 警 告

- 本機を分解したり、改造したりしないでください。本機の故障や感電、もしくは火災につながるおそれがあります。

● ヒーターについて

⚠ 注 意

- ヒーターは非常に高温になりますので、素手で触らないでください。

注 記

● その他、使用上の警告と注意

⚠ 警 告

- 本機に子供を近づけないでください。

注 記

- クランプレバーが下がっている（メディアが保持されている）ときは、メディアを強く引っ張らないでください。本機が故障する原因になります。

重 要！

- プリント済みメディアの保管状態やメディアの種類によって、メディア裏面に裏移りしてしまうことがあります。事前にテストをして、裏移りしないかどうかを確認してください。

● 本機の廃棄について

⚠ 注 意

- 販売店、またはサービス実施店にご相談ください。
- お客様自身で廃棄するときは、産業廃棄物処理業者、または関連法規、および地方自治体の条例に従って処理してください。

インクやその他本機で使用されている液体を取り扱うときの注意事項

インクやメンテナンス液、そのほか本機で使用されている液体の容器に、液体に関する注意書きが添付されています。よくお読みいただき、十分に理解してから使用してください。

- 取り扱い前に必ず安全データシート（SDS）をご覧ください。https://japan.mimaki.com/supply/sds/

⚠ 注 意

- インクやメンテナンス液、廃インク、そのほか本機で使用されている液体を取り扱うときは、換気に十分注意して、必ず保護メガネ、手袋、マスクなどを着用してください。インクなどの液体が跳ねて、皮膚に付着したり、目や口の中に入ったりするおそれがあります。

- インクが入っているケースに強い衝撃を与えたり、激しく振り回したりしないでください。またインクを詰め替えないでください。インクが漏れて皮膚に付着したり、目や口の中に入ったりするおそれがあります。

- インクが入っているケースを分解しないでください。インクが漏れて、皮膚に付着したり、目や口の中に入ったりするおそれがあります。

- インクやメンテナンス液、そのほか本機で使用されている液体を子供が立ち入るおそれのある場所に保管しないでください。

- インクやメンテナンス液、そのほか本機で使用されている液体、インクなどが付着した容器や不織布などを廃棄するときは、産業廃棄物処理業者、または関連法規、および地方自治体の条例に従って処理してください。

注 記

- インクやメンテナンス液、そのほか本機で使用されている液体を直射日光が当たる場所に保管しないでください。
- インクやメンテナンス液、そのほか本機で使用されている液体を金属切削液や揮発性の高い物質（アミン類、アミン変性アルコール類など）が充満している場所に保管しないでください。そのような場所に保管すると、故障や吐出不良（ノズル詰まり、飛行曲がりなど）の原因になります。
- インクやメンテナンス液、そのほか本機で使用されている液体は、他のプリンターで使用しないでください。故障の原因になります。

- 床から1m以内の低い場所に保管してください。落下したときに液体が飛散するおそれがあります。
- 密閉した状態で保管してください。
- 冷暗所で保管してください。
  (1) インクが凍結しない環境での保管をしてください。解凍したインクを使用すると、インクの成分が変質してプリント品質が低下するおそれがあります。
  (2) 寒い所から暖かい所に移したインクは、本機と同じ環境に3時間以上放置してから利用してください。
  (3) インクは使用直前に開封して、早めに使い切ってください。開封してから長時間経過したものは、プリント品質が低下するおそれがあります。

- インクICチップの金属部分には触れないでください。静電気でインクICチップが破損したり、汚れや傷などによってインクICチップが読み取りエラーになる原因になります。

- 種類の違うインクICチップでは、プリントすることができません。

インク仕様

項目		内容
種類		専用水性顔料インク（ミマキエンジニアリング純正品）
カラー		シアン（C） マゼンタ（M） イエロー（Y） ブラック（K） スカイブルー（SB） ペールピンク（PP） ホワイト（W）
形態		カートリッジ
インク容量		カラー：600ml、ホワイト：500ml
消費有効期限		インクパックに記載されているとおり。 ただし、開封後は消費有効期限内であっても3か月以内。
保存温度	保存時	10 - 35°C（1日の平均気温） ただし、30°Cの場合1か月以内 • 範囲を外れる場合、インクの品質が低下するおそれがある。
	輸送時	1 - 40°C ただし、60°Cの場合120 時間以内、40°Cの場合1か月以内 • 0°Cより低温になる場所、40°Cより高温になる場所は、できる限り避けること。 • 範囲を外れる場合、インクの品質が低下するおそれがある。

インク消費有効期限に対する本機の制限について

例）消費有効期限の記載が、20xx年4月の場合

- 同年5月：新しいインクに交換する、もしくは早めに使い切ってください。プリントすることは可能です。
- 同年6月：新しいインクに交換する、もしくは早めに使い切ってください。プリントすることは可能です。
- 同年7月：プリントすることができません。

- ディスプレイにメッセージを表示してお知らせします。

重要！

- インクの容器にインクの消費有効期限が記載されています。インクの消費有効期限を超えると、インクの吐出不良が生じたり、色みに変化を生じたりするおそれがあります。消費有効期限を超えてもプリントすることはできますが、新しいインクに交換する、もしくは早めに使い切ることをお勧めします。

設置上のご注意

⚠ 警 告

- 火気のある場所に本機を設置しないでください。
- 本機の上や近くに花瓶、植木鉢、コップ、化粧品、化学薬品、水などの入った容器、または小さな金属物を置かないでください。本機内部に浸入すると、本機の故障や感電、もしくは火災につながるおそれがあります。

- 湿気の多い場所や水のかかる場所に本機を設置しないでください。本機の故障や感電、もしくは火災につながるおそれがあります。

- 本機を子供が立ち入るおそれのある場所に設置しないでください。

- 設置・メンテナンス時において、安全機能（インターロック等）を解除して作業を行う場合には、各工程に記載された警告事項を必ず事前に確認し、遵守してください。不適切な取り扱いは、重大な人身事故につながるおそれがあります。

⚠ 注 意

- 換気の悪い部屋、もしくは密閉された部屋に本機を設置する場合は、必ず換気装置を設けてください。
- 排気口施工については、必ず以下の内容をお守りください。
  (1) 排気口の設置は、各国の地域のEHS（Environmental, Health and Safety）ガイドラインにしたがってください。
  (2) 排気口に閉鎖弁などを設置した場合、本機使用中は必ず閉鎖弁を開けてください。

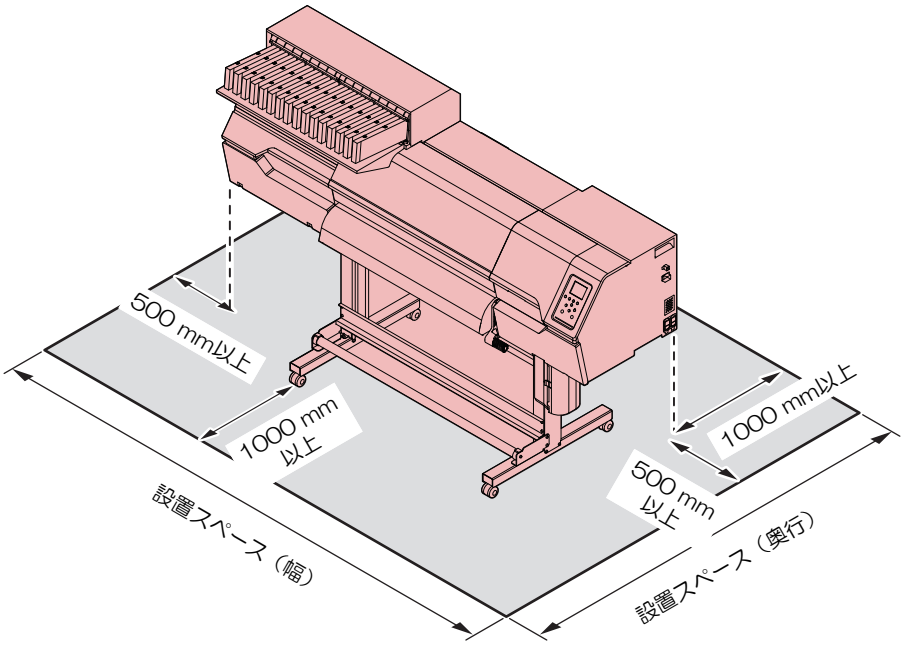
注 記

- ホコリや粉じんのある場所に本機を設置しないでください。本機の内部に浸入すると、故障や吐出不良（ノズル詰まり、飛行曲がりなど）の原因になります。
- エアコンなどの風があたる場所に本機を設置しないでください。本機の内部にホコリや粉じんなどが浸入するおそれがあります。
- 不安定な場所や振動が発生する場所に本機を設置しないでください。故障や吐出不良（ノズル詰まり、飛行曲がりなど）の原因になります。
- 直射日光が当たる場所に本機を設置しないでください。
- 温度変化が激しい場所に本機を設置しないでください。故障や吐出不良（ノズル詰まり、飛行曲がりなど）の原因になります。
- ノイズを発生する大型の機械が置いてある場所に本機を設置しないでください。
- 写真定着材の蒸気や酸性（酢酸、塩酸など）の気体が発生していたり、金属切削液や揮発性の高い物質（アミン類、アミン変性アルコール類など）が充満する場所に本機を設置しないでください。そのような環境下に設置すると、プリントヘッド表面のインクが固まり、故障や吐出不良（ノズル詰まり、飛行曲がりなど）の原因になります。

- 動作可能環境：20~30 °C（68~86 °F）、35~65% Rh（結露なきこと）
- 精度保証温度：20~25 °C（68~77 °F）

設置スペース

メディアやインクの交換を安全に正しく行うためには、以下のスペースが必要です。



項目	TxF330-800
幅*1	3,084 mm以上（2,084 mm）
奥行き*1	2,700 mm以上（700 mm）
高さ*1	（1389 mm）
重量	161 kg

*1. （）内は、本機のサイズ

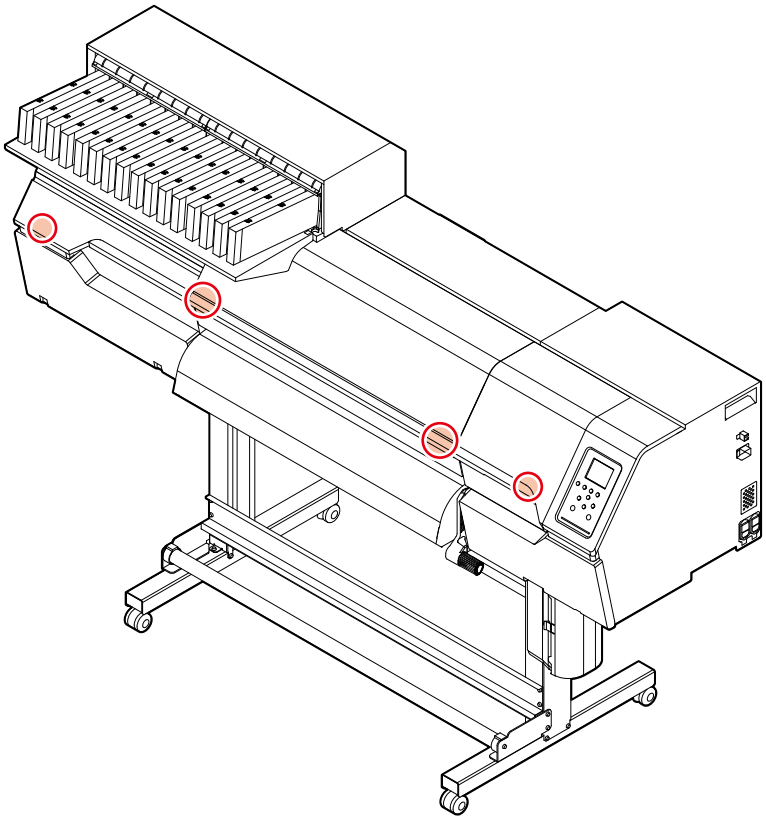
本機を移設したいとき

販売店、お近くの弊社営業所、またはコールセンターにお問い合わせください。お客様が本機を移設すると、故障や破損のおそれがあります。

安全インターロックについて

本機は安全にご使用いただくため、インターロックが設置されています。
プリント実行中にカバーを開けるとプリントが中断されます。再度RIPデータの受信が必要になります。

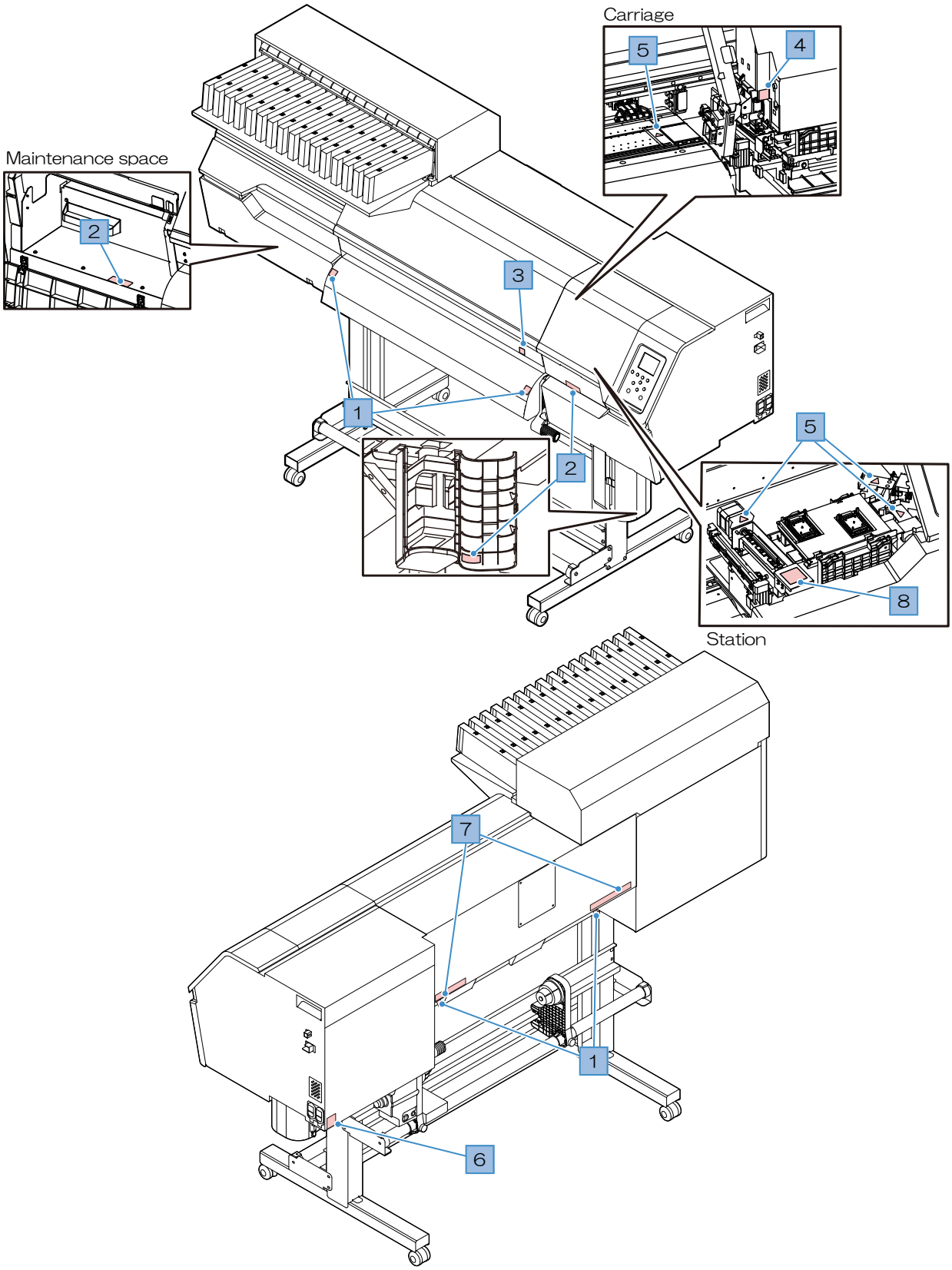
- インターロック設置場所



警告ラベル

警告ラベルの内容を十分理解してください。

警告ラベルが汚れて読めなくなったり、剥がれたりした場合は、販売店、またはお近くの弊社営業所で、新しい警告ラベルをお買い求めください。



No.	注文番号	ラベル	内容
1	M903239		高温部を示しています。 ヒーター通電中はやけどのおそれがあるため触れないでください。
2	M903330		インクなどの液体が跳ねて皮膚に付着したり、目の中に入ったりするおそれがあります。 作業をするときは保護メガネや手袋を着用してください。
3	M907833		危険な可動部を示しています。 キャリッジが動作した時に、粉砕やせん断によるけがを負うおそれがありますので、指や体を近づけないでください。
4	M903405		カッター部を示しています。 カッターが動作すると切断によるけがを負うおそれがありますので、指や体を近づけないでください。
5	M906144		高温部を示しています。 ヒーターやモーター通電中はやけどのおそれがあるため触れないでください。
6	M907935		内部に高電圧部があります。 感電のおそれがあるため触れないでください。
7	M905811		危険な可動部を示しています。 キャリッジやローラーがが動作した時に、粉砕やせん断によるけがを負うおそれがありますので、指や体を近づけないでください。
8	M920624		危険な可動部を示しています。 ワイパーが動作した時に、粉砕やせん断によるけがを負うおそれがありますので、指や体を近づけないでください。

第 1 章　ご使用の前に

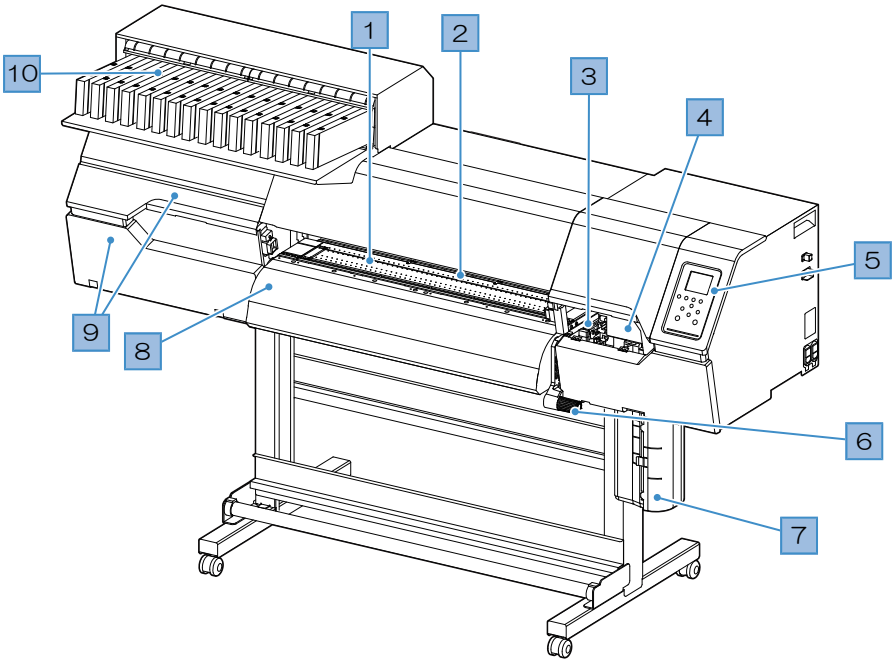
この章では...

各部の名称など、ご使用の前に知っておいていただきたいことについて説明しています。

各部の名称とはたらき.....20
正面 20
背面/右側面 21
キャリッジ 22
キャッピングステーション 22
ピンチローラーとグリットローラー..... 22
プラテン 23
インクステータスランプ..... 24
メディアセンサー 24
電源スイッチ..... 25
操作パネル 26
電源ケーブルを接続する.....29
電源を入れる..... 30
電源を切る 31
本機とコンピューターを接続する 32
LANケーブルを使う.....32
USBケーブルを使う 33
システム構成.....35
Mimakiドライバーをインストールする 36
RIP用ソフトウェアをインストールする 36
カラープロファイルを入手する.....36
RIP用ソフトウェアを準備する.....36
インクの交換方法.....38
インクレベルロー、インクニアエンドが表示されたとき 38
インクエンドが表示されたとき.....40
インクを交換する 41

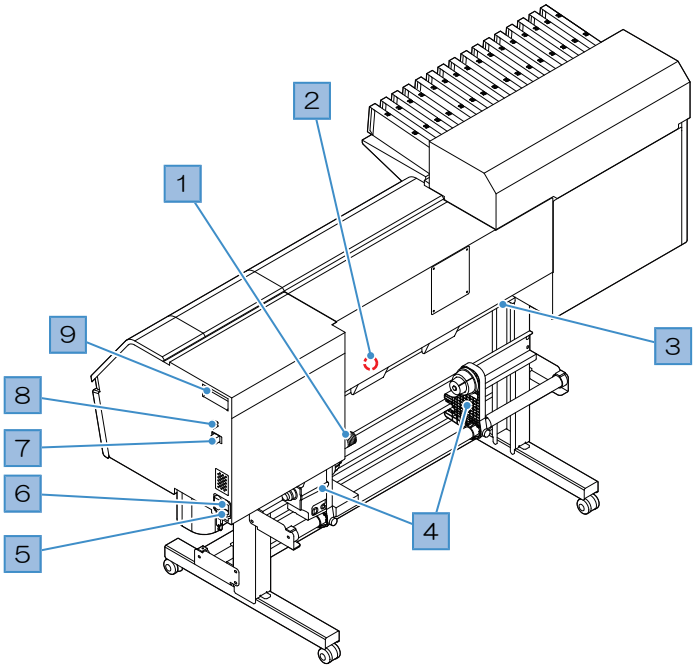
1.1 各部の名称とはたらき

正面



No.	名称	概要
1	プラテン	プリントするエリアです。 プラテンにはヒーターが付いています。インクのにじみを抑制します。メディアの種類に合わせて、設定温度を変更してください。☞「プラテン」（P. 23）☞「ヒーターの温度を設定する」（P. 60）
2	ピンチローラー グリットローラー	ピンチローラーとグリットローラーでメディアを押さえてフィードしています。☞「ピンチローラーとグリットローラー」（P. 22）
3	キャッピングステーション	キャップやワイパー、プリントヘッドのノズル状態を監視するNCUなどで構成されています。☞「キャッピングステーション」（P. 22）
4	キャリッジ	プリントヘッドやジャムセンサー、メディア裁断カッターなどで構成されています。☞「キャリッジ」（P. 22）
5	操作パネル	各種設定や項目を表示するディスプレイ、操作キーが付いています。☞「操作パネル」（P. 26）
6	クランプレバー（前）	クランプレバーを下げるとメディアが保持され、クランプレバーを上げるとメディアが開放されます。
7	廃インクタンク	廃インクを溜める容器です。☞「廃インクタンクの交換」（P. 113）
8	ポストヒーター	プリントしたインクを乾燥させます。メディアの種類に合わせて、設定温度を変更してください。☞「ヒーターの温度を設定する」（P. 60）
9	メンテナンスカバー	カバーを開けて、キャリッジ底面をメンテナンスします。カバーを開けた状態では、プリントやオートメンテナンス機能が実行できません。
10	インク供給ユニット	インクカートリッジを挿し込んで、プリントヘッドにインクを供給します。☞「インクの交換方法」（P. 38）

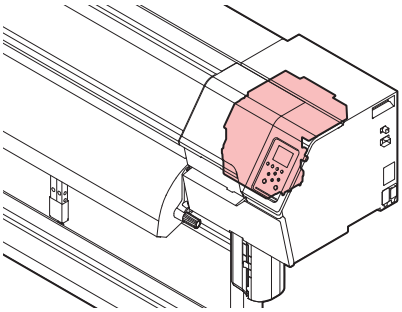
背面/右側面



No.	名称	概要
1	クランプレバー（後）	前面にあるクランプレバーと連動しています。
2	メディアセンサー	メディアの有無を感知しています。☞「メディアセンサー」（P. 24）
3	プリヒーター	プリントする前にメディアを予熱して、メディアの急激な温度変化を抑制します。メディアの種類に合わせて、設定温度を変更してください。☞「ヒーターの温度を設定する」（P. 60）
4	繰出ユニット	プリントする前のロールメディアを取り付けます。2インチと3インチの紙管に対応しています。
5	ACインレット	付属されている電源ケーブルを使用してください。☞「電源ケーブルを接続する」（P. 29）
6	主電源スイッチ	本機の主電源です。プリントヘッドの吐出不良（ノズル詰まり、飛行曲がりなど）を防止するため、主電源は切らないでください。☞「電源を入れる」（P. 30）☞「電源を切る」（P. 31）
7	LANポート	ネットワーク機能をお使いになるときに使用します。☞「LANケーブルを使う」（P. 32）
8	USBポート	USBインターフェイスケーブルでコンピューターと接続します。☞「USBケーブルを使う」（P. 33）
9	メンテナンス液カートリッジ	メンテナンスのときに、メンテナンス液を自動でキャップに充填したり、ワイパーに点滴してインクの凝固を防いだり、インク排出経路のインクの凝固を防いたりする用途に使われています。

キャリッジ

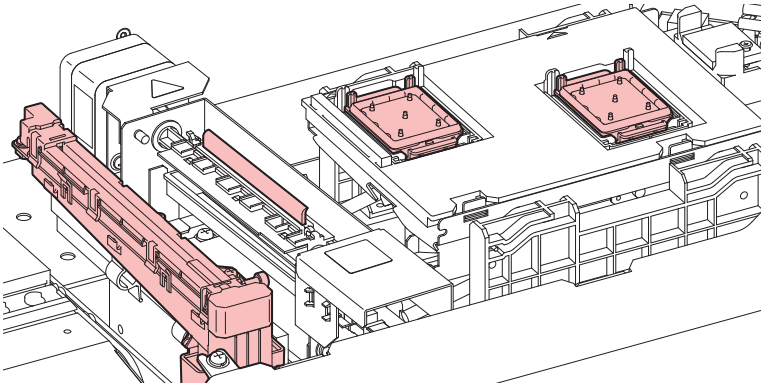
キャリッジは、インクを吐出するプリントヘッドとメディアが詰まったときにキャリッジを停止させるジャムセンサーなどで構成されています。左右にスキャンしながらインクを吐出して、プリントしています。



キャッピングステーション

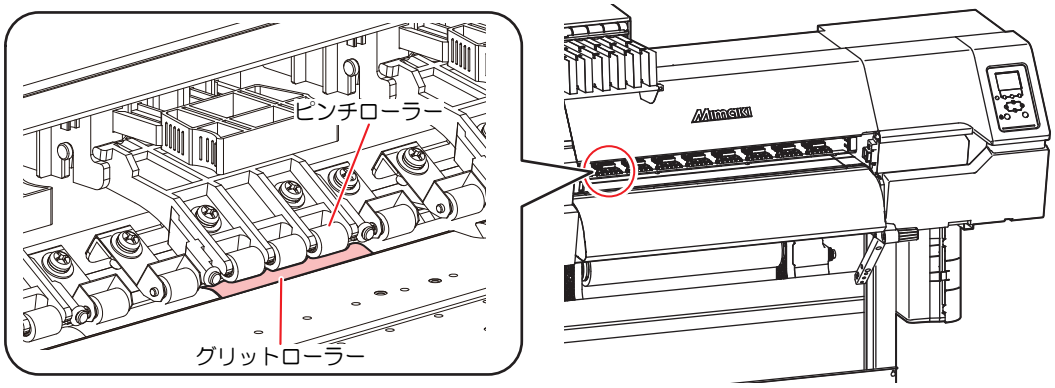
キャッピングステーションは、プリントヘッドのノズル面の乾燥を防止するキャップやプリントヘッドのメンテナンスに必要なワイパー、プリントヘッドのノズル状態を監視するNCUなどで構成されています。

NCU（Nozzle Check Unit）は、ノズル詰まりがあるかどうかを自動でチェックするユニットです。各種機能を設定すれば、プリントヘッドの自動クリーニングや別のノズルを使ってプリントさせることができます。



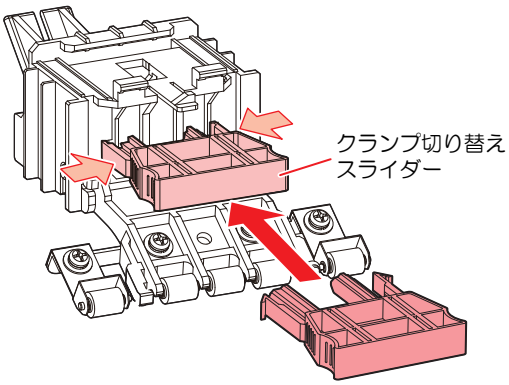
ピンチローラーとグリットローラー

ピンチローラーとグリットローラーで押さえて、メディアをフィードしています。



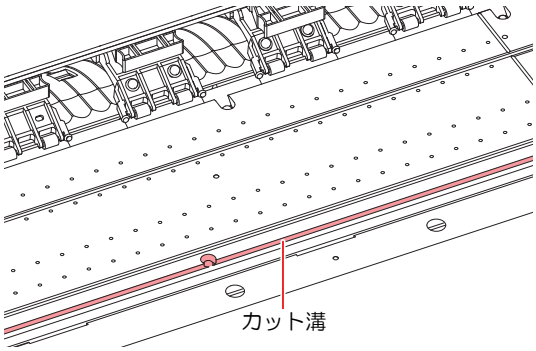
本機を使用しないときは、クランプレバーを上げてピンチローラーとグリットローラーを離してください。
- ピンチローラーを下げたまま放置すると、ピンチローラーが変形して、メディアを正常にフィードできなくなるおそれがあります
- メディアをセットしたまま放置すると、メディアがピンチローラーに押しつぶされて、ピンチローラー跡が残る原因になります。

- クランプ切り替えスライダーは、左右のメディア端のピンチローラーに取り付けて使用します。クランプ切り替えスライダーを取り付けると、ピンチローラーを上げることができます（左右のメディア端以外のピンチローラーは上げないでください）。左右のメディア端を押さえないことで、安定してメディアをフィードさせることができます。



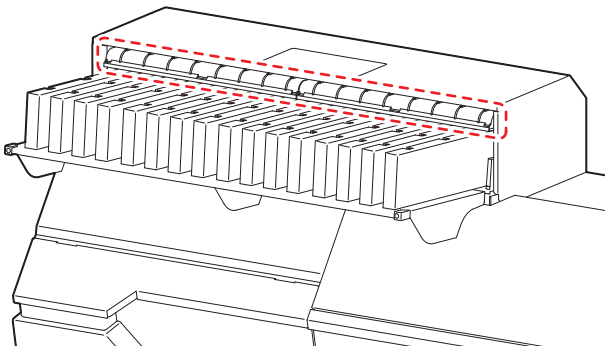
プラテン

プリントするエリアです。プラテンは、メディアを吸着してメディアの浮きを抑えています。またメディアを裁断するカット溝があります。



インクステータスランプ

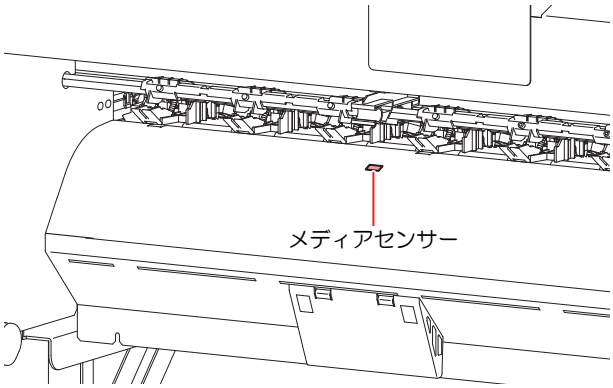
インク供給ユニットのランプで、インクの状態を確認することができます。



色	状態	概要
-	消灯	異常なし
青	点灯	インク供給中（異常なし）
黄	点灯 点滅	プリントすることは可能です。次のいずれかのエラーが発生しています（☞「インクエラー」（P. 125））。 • インクニアエンド • インク期限切れ（1か月） • インクレベルロー • InkCartrigeCheck
赤	点灯	プリントすることができません。次のいずれかのエラーが発生しています（☞「インクエラー」（P. 125））。 • インクエンド • インクレベルエンド • インクICチップが挿入されていない • その他のインクエラー
	点滅	プリントすることができません。 • インク期限切れ（2か月）
緑	点滅	循環動作中です。カートリッジは絶対に抜かないでください。

メディアセンサー

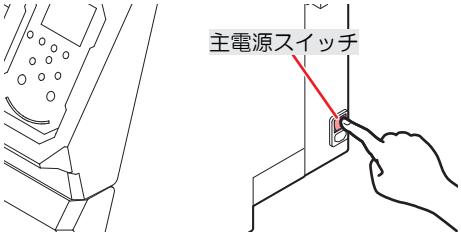
メディアセンサーは、メディアの有無を検出しています。メディアがセンサーを覆い隠していると、メディア幅を検出することができます。



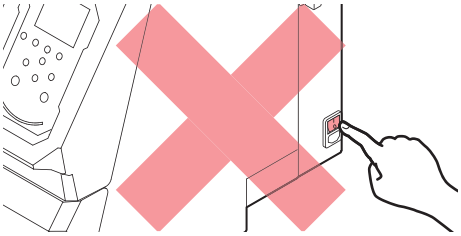
電源スイッチ

● 主電源スイッチ

本機の右側面にあります。

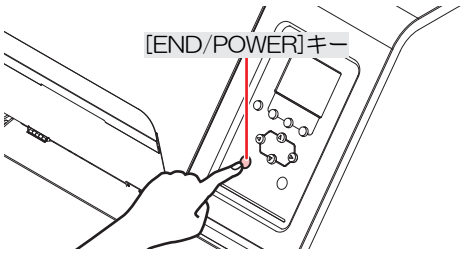


- 主電源を切らないでください。主電源を切っていると、オートメンテナンス機能（ノズル詰まり防止機能やインク排出経路の清掃機能など）が実行することができません。吐出不良（ノズル詰まり、飛行曲がりなど）の原因になります。



● [END/POWER]キー

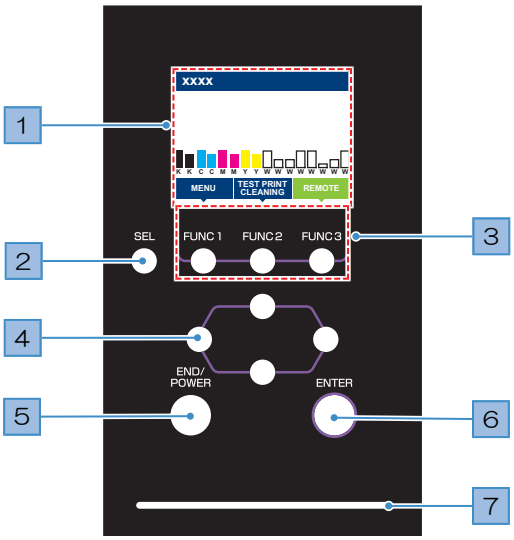
通常の電源オン/オフは、[END/POWER]キーを使用します。



- 正面カバーとメンテナンスカバーを閉じてください。カバーが開いていると、オートメンテナンス機能（ノズル詰まり防止機能やインク排出経路の清掃機能など）が実行することができません。吐出不良（ノズル詰まり、飛行曲がりなど）や故障の原因になります。

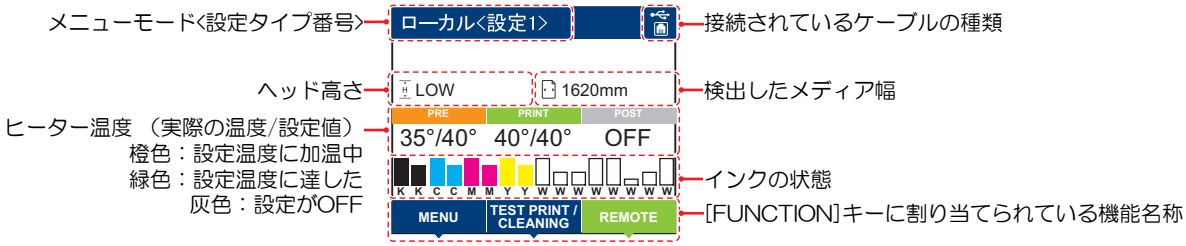
操作パネル

設定や各種操作をすることができます。



No.	名称	概要		
1	ディスプレイ	☞「ディスプレイ」（P. 27）		
2	[SEL]キー	[FUNCTION]キーの機能を切り替えます。		
3	[FUNCTION]キー	テストプリントしたり、ヘッドクリーニングしたり、各種設定などしたりするときに使用します。☞「[FUNCTION]キー」（P. 28）		
4	[JOG]キー ▲▼◀▶	キャリッジを移動したり、メディアをフィードしたり、各種設定の項目選択したりするときに使用します。		
5	[END/POWER]キー	直前に入力した設定をキャンセルしたり、設定メニューを1つ前の階層に戻したり、また電源をオン/オフしたりするときに使用します。 • 電源がオンのときは、青色に点灯しています。☞「電源を入れる」（P. 30） • 電源をオフにしたいときは、長押ししてください。☞「電源を切る」（P. 31）		
6	[ENTER]キー	次の階層メニューに移動したり、設定を確定したりするときに使用します。また、本機の情報を表示させることができます。☞「本機の情報を表示する（ローカルガイダンス）」（P. 28）		
7	ステータスランプ	本機の状態をランプでお知らせします。		
		消灯		ローカルモードの状態です。テストプリントやメンテナンス、各種機能を設定することができます。
		水色	点灯	リモートモードの状態です。プリントデータを受信するために、スタンバイしています。
			点滅	プリント中です。テストプリントなど、本機に内蔵しているパターンをプリントしているときも点滅します。
		青色	点灯	プリントしていないデータが残っています。リモートモードに移行して、プリントしてください。
		赤色	点滅	エラーが発生しています。エラー一覧を参照して対処してください。☞「エラーメッセージ」（P. 127）
			点灯	システムエラー（SYSTEM HALT）が発生しています。コールセンターに問い合わせください。☞「SYSTEM HALT」（P. 131）

ディスプレイ



● ヒーター温度について

ヒーターの状態を色によって識別することができます。

- 橙色：設定温度に制御中です。
- 緑色：設定温度に達した状態です。
- 灰色：ヒーターがオフに設定されています。

メニューモード

4つのメニューモードがあります。

名称	概要
ローカルモード	テストプリントやメンテナンス、各種機能を設定します。
リモートモード	コンピューターから受信したプリントデータをプリントします。
メニューモード	ローカルモード画面から[MENU]を押すと、メニューモードになります。各種機能を設定します。
ノットレディモード	メディアを検出する前の状態です。

インクの状態

インクの残量やエラーなど、インクパックの状態がアイコンで表示されます。

アイコン	概要			
M	インクの残量を4段階のアイコンでお知らせします。			
	フル	1/4消費	1/2消費	3/4消費
M	インクニアエンドになると表示されます。インクの残りがわずかになっていますので、新しいインクを準備してください。			
M	プリントすることができません。インクエンドやインクエラーになると表示されます。☞「インクエラー」（P. 125）			

[FUNCTION]キー

[FUNCTION]キーに割り当てられている機能と役割を説明します。

アイコン	概要
MENU	各種メニュー画面を表示します。 ☞「各種設定」（P. 73）
TEST PRINT CLEANING	テストプリント、クリーニングなどのメンテナンス画面を表示します。
REMOTE	ローカルモードからリモートモードに移行します。
ADJUST	フィード補正、ドット位置補正などの調整画面を表示します。
HEATER	ヒーターの温度設定画面を表示します。
DATA CLEAR	受信データをクリアします。
LOCAL	リモートモードからローカルモードに移行します。
CUT	メディアを裁断したいときに使用します。
<<	各種メニュー画面で、前の画面へ移動します。
>>	各種メニュー画面で、次の画面へ移動します。
OK	メッセージが表示された場合など、確認画面を終了します。
OFF	各種機能を無効にします。
↓	機能が割り当てられています。設定や機能を表示します。
✓	複数ある項目の有効/ 無効を切り替えます。

本機の情報を表示する（ローカルガイダンス）

ローカルモード画面で[ENTER]キーを押すごとに、以下の情報を表示させることができます。

- インク情報：インク種類、インク残量、インクエラーが表示されます。
- インクICチップ登録情報：インクICチップの登録されている情報が表示されます。
- ワーニング：発生しているすべてのワーニングが表示されます。
- 情報：メディア幅、ヘッド高さ、本機シリアルNo.、ファームウェアバージョン、コマンドバージョン、LAN 接続状態が表示されます。
- ノズルチェック：ノズルチェックで検出したノズル詰まりしているノズル数が表示されます。

1.2 電源ケーブルを接続する

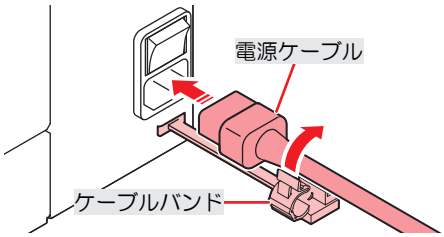
1 主電源が切れているかどうかを確認する。

2 本機にケーブルバンドを挿し込む。

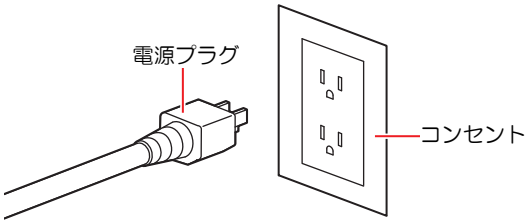
3 本機のインレットに電源ケーブルを挿し込む。

4 ケーブルバンドに電源ケーブルを固定する。

- クランプに電源ケーブルを通して、「カチッ」と音がするまでクランプしてください。



5 コンセントに電源プラグを挿し込む。

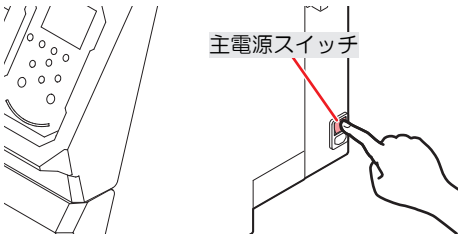


- 濡れた手で電源プラグを抜き挿ししないでください。感電のおそれがあります。

電源を入れる

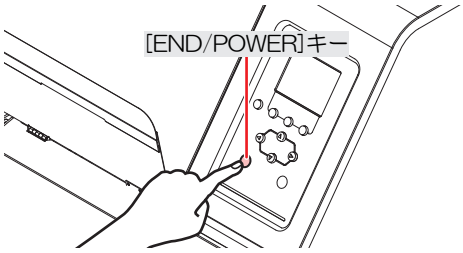
1 **主電源が入っていることを確認する。**

- 主電源が入っていない場合は、主電源を「I」側に倒します。



2 **[END/POWER]キーを押して、電源を入れる。**

- ディスプレイにファームウェアのバージョンが表示されて、初期動作が実行されます。そのあと、ローカルモードになって本機を使用することができます。



3 **接続しているコンピューターの電源を入れる。**

- 正面カバーとメンテナンスカバーを閉じてください。カバーが開いていると、オートメンテナンス機能（ノズル詰まり防止機能やインク排出経路の清掃機能など）が実行することができません。吐出不良（ノズル詰まり、飛行曲がりなど）や故障の原因になります。

電源を切る

- 電源を切るときは、以下を確認してください。
  (1) 正面カバーやメンテナンスカバーが閉じていること。
  - カバーが開いていると、オートメンテナンス機能（ノズル詰まり防止機能やインク排出経路の清掃機能など）が実行することができません。

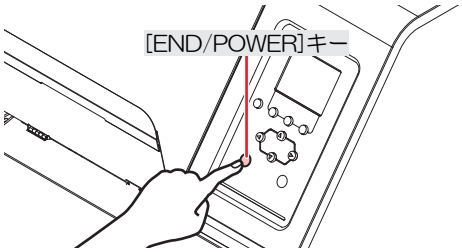
  (2) キャッピングステーションにキャリッジが戻っていること。
  - プリントヘッドのノズル面が乾燥して、吐出不良（ノズル詰まり、飛行曲がりなど）の原因になります。

  (3) データを受信していないこと。
  (4) エラーが発生していないこと。
  - 「メッセージを表示するトラブル」（P. 123）

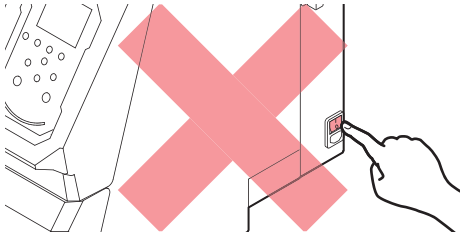
1 **接続しているコンピューターの電源を切る。**

2 **[END/POWER]キーを長押しする。**

- 電源OFF確認画面が表示されます。[ENTER]キーを押すと、電源が切れます。



- 主電源を切らないでください。主電源を切っていると、オートメンテナンス機能（ノズル詰まり防止機能やインク排出経路の清掃機能など）が実行することができません。吐出不良（ノズル詰まり、飛行曲がりなど）の原因になります。



1.3 本機とコンピューターを接続する

本機とRIP用コンピューターを接続してください。以下のケーブルを使用することができます。

1. ☞「LANケーブルを使う」（P. 32）（推奨）
2. ☞「USBケーブルを使う」（P. 33）

重要！ **USBケーブルを使用した場合**

- 本機へのデータ転送速度が遅くなり、プリント実行中に<u>キャリッジが左右端で一時停止するおそれがあります</u>。

LANケーブルを使う

LANケーブルを使って、本機とコンピューターを接続します。カチッと音がするまでLANケーブルを挿し込んでください。

- データ転送中は、ケーブルを抜いたり挿したりしないでください。

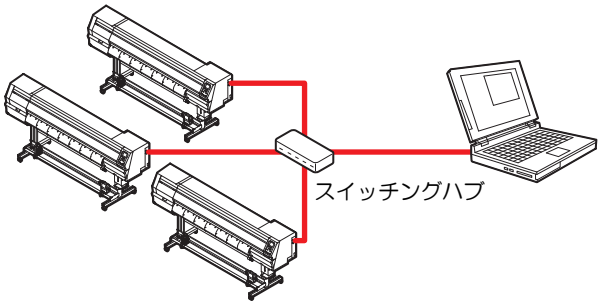
重要！

- WiFiアクセスが有効なパソコンとプリンタをEthernetケーブルで接続している場合、プリンタとRIPソフトウェアの接続が切れる、印刷が停止するなどの現象が発生し、ネットワークが不安定になることがあります。この場合は、プリンタのIPアドレスをご確認ください。
- IPアドレスが169.254・・・で始まるアドレスで、プリンタのAutoIPの設定がON場合、以下のどららかの方法でネットワークを安定化させてください。
  (1) パソコンのWiFi設定をOFFにする。
  (2) プリンタのAutoIPをOFFに設定し、パソコンとプリンタに固定IPアドレスを設定する。

● イーサネット経由で接続するときの注意事項

イーサネットを以下の環境で構築してください。環境が適正でないとプリントすることができません。

- カテゴリー6または、カテゴリー6AのLANケーブルを使用してください。
- 本機とプリントデータを転送するコンピューターは、同じイーサネットに設定してください。ルーターを経由した接続はできません。
- 1000BASE-T対応のコンピューター、スイッチングハブを使用してください。未対応の場合はプリントすることができません。



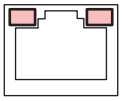
● LAN接続確認方法

1 本機のディスプレイを確認する。

- ローカルガイダンスで確認することができます。☞「本機の情報を表示する（ローカルガイダンス）」（P. 28）
- “100Mbps”、”10Mbps”、” 接続なし”と表示されている場合は、プリントすることができません。イベントメールは、使用することができます。イベントメール機能の設定

2 LANコネクターのランプを確認する。

- 本機が起動しているとLAN コネクターのランプが点灯します。



色	状態	概要
緑	点灯	1000BASE-Tで接続されています。
	消灯	1000BASE-T以外で接続されています。 • 橙ランプだけが点灯、もしくは点滅している場合、1000Mbpsに対応していません。コンピューターや周辺機器、ケーブルの仕様を確認してください。
橙	点灯	リンクアップ（接続されています）。
	点滅	データを受信中です。
	消灯	リンクダウン（接続されていません）。

USBケーブルを使う

USBインターフェイスケーブルを使って、本機とコンピューターを接続します。

- データ転送中は、ケーブルを抜いたり挿したりしないでください。

- USBインターフェイスに対応しているRIP用ソフトウェアを使用してください。

- コンピューターにUSBポートが付いていない場合は、販売店、お近くの弊社営業所、またはコールセンターにお問い合わせください。

重要！ **USBケーブルを使用した場合**

- 本機へのデータ転送速度が遅くなり、プリント実行中に<u>キャリッジが左右端で一時停止するおそれがあります</u>。

USB接続についての注意事項

● 1台のコンピューターに複数のTxF330-800を接続する場合

TxF330-800を正常に認識できないおそれがあります。

複数のUSBポートが付いているコンピューターの場合は、他のUSBポートでも本機を認識できるかどうかを確認してください。USBポートを挿し替えても認識しない場合は、市販のUSBアクティブリピーターケーブルを使用してください。

● USBケーブルを延長する場合

市販のUSBアクティブリピーターケーブルを使用してください。ただし、USBケーブルとUSBアクティブリピーターケーブルの総距離が、20m以下になるようにしてください。

USBケーブルで延長した場合、本機へのデータ転送速度が遅くなって、プリント中にキャリッジが左右端で一時停止するおそれがあります。

● USBハイスピードモードの周辺機器について

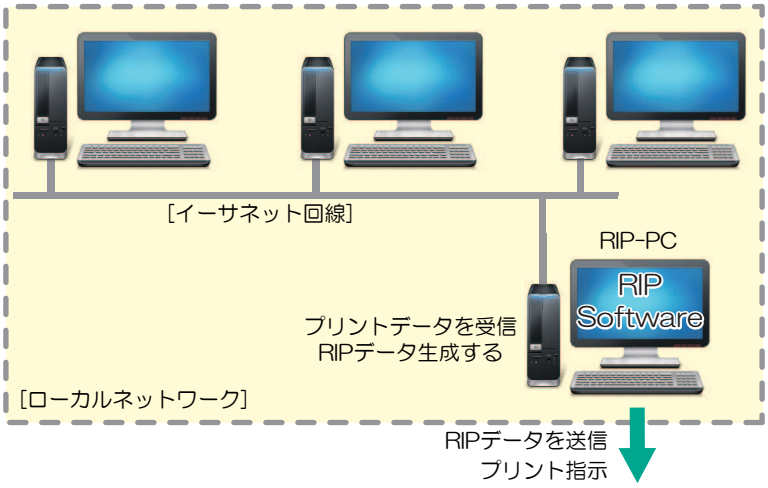
本機を接続しているコンピューターにUSB ハイスピードモードの周辺機器（USB メモリ、USB-HDDなど）を接続しても認識できないおそれがあります。また、外付けの USB ハードディスクドライブなどを接続すると本機へのデータ転送速度が遅くなって、プリント中にキャリッジが左右端で一時停止するおそれがあります。

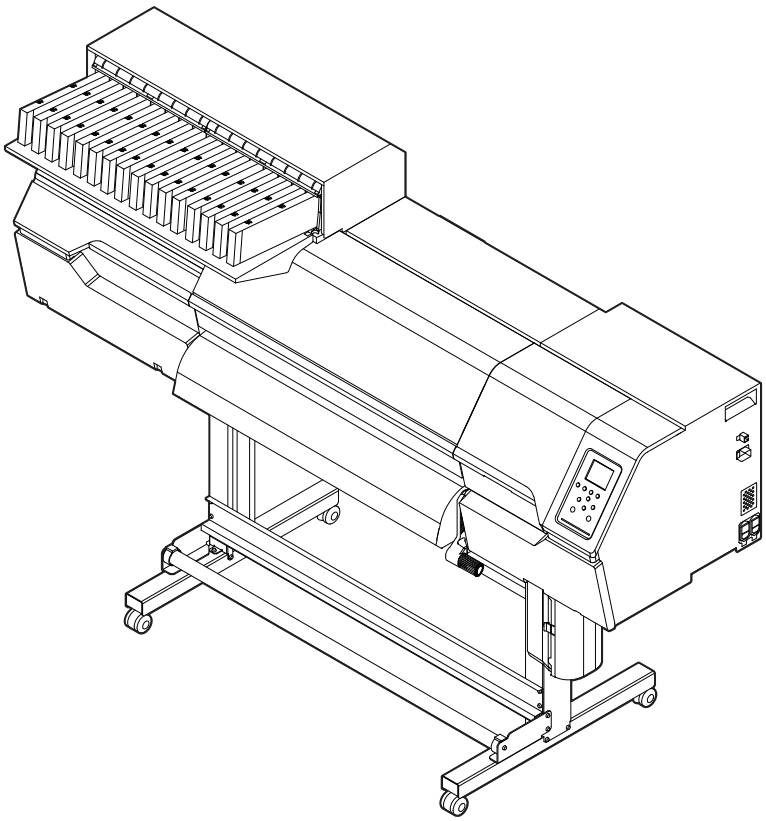
● USBメモリーの抜きかた

本機を接続しているコンピューターからUSBメモリーを抜く場合は、「ハードウェアの安全な取り外し」により「停止」させてから抜いてください。[ERROR **コマンドエラー] 発生の原因になります。

1.4 システム構成

IllustratorやPhotoshopなどのアプリケーションで作成したプリントデータを、RIP用ソフトウェアを使ってプリントの指示をします。





Mimakiドライバーをインストールする

1 **弊社ウェブサイトから、Mimakiドライバーをダウンロードする。**

- https://japan.mimaki.com/download/inkjet.html
  [TxF330-800] > [ドライバ/ユーティリティ]

2 **MIMAKIドライバーをインストールする。**

RIP用ソフトウェアをインストールする

ここでは、弊社RIP用ソフトウェア（RasterLink）の説明をします。

1 **“RasterLink”をインストールする。**

- インストールされている場合は、コンピューター のデスクトップ上に以下のアイコンが表示されています。

- 詳しくは、"RasterLink"のインストールガイドをご覧ください。https://japan.mimaki.com/download/software.html

- インストールしたあとに、RasterLinkのライセンス認証を完了させてください。"プロファイルアップデート”を起動することができません。

カラープロファイルを入手する

メディアやインクセットによって、プリント品質（色み、にじみなど）が、変わってしまいます。メディアやインクセットに合ったカラープロファイルを選択することで、プリント品質を一定に保つことができます。

- RasterLinkシリーズではインターネットから直接カラープロファイルをダウンロードして、インストールする機能を提供しています。詳しくはRasterLinkシリーズのインストールガイド「プロファイルのインストール」をご覧ください。
  https://japan.mimaki.com/download/software.html
  [ご使用のRasterLinkシリーズ] > [マニュアル]
- 弊社ウェブサイトでは、弊社RIP用ソフトウェア（RasterLink）のカラープロファイルを提供しています。
  https://japan.mimaki.com/download/inkjet.html
  [TxF330-800] > [プロファイル]

RIP用ソフトウェアを準備する

ここでは、弊社RIP用ソフトウェア（RasterLink）の説明をします。

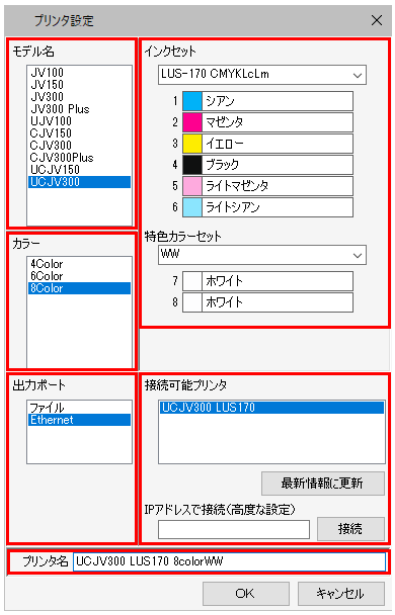
1 **“RasterLink”を起動する。**

- [プリンタ管理]画面が表示されます。
- 新たに機種を追加したいときは、“RasterLink”を起動した後に、[環境設定] > [プリンタ管理]から、登録することができます。

2 TxF330-800を登録する。

(1) [追加]をクリックする。

(2) TxF330-800の情報を設定する。



- モデル名：モデルを選択
- カラー：充填されているインクセットを選択
- 出力ポート：接続しているケーブルを選択
- 接続可能プリンタ：接続しているTxF330-800を選択
- プリンタ名：任意の名称を入力

(3) [OK]をクリックする。

- 確認画面が表示されます。

(4) [はい]をクリックする。

- プリンターの登録が開始されます。

- 詳しくは、"RasterLink"のインストールガイドをご覧ください。https://japan.mimaki.com/download/software.html

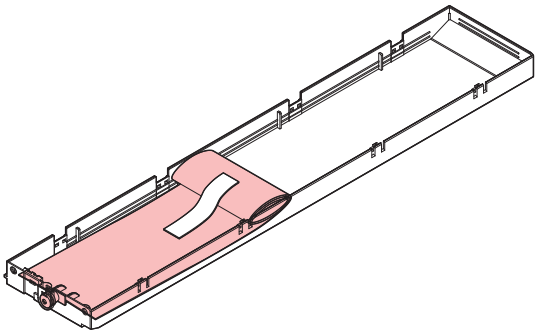
1.5 インクの交換方法

インクレベルロー、インクニアエンドが表示されたとき

本機は、インクの消費量をカウントしています。何らかの原因で実際のインク消費量と誤差が生じてしまうことがあります。ワーニングメッセージが表示された場合、操作パネルの画面に従って対処してください。

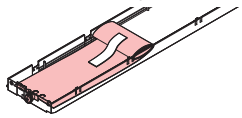
重要！

- [Ink cartridge check]（カートリッジチェック）が表示されたら、必ずインクカートリッジのフタを開けて、インクパックを折り曲げてください。インクパックを折り曲げないままプリントを続けると、インクが吐出されなくなるおそれがあります。



- インクパックの折り曲げ時のチェック項目
  (1) インクパックが膨らみすぎていないか。
  (2) インクカートリッジケースの溝部にインクパックのコネクターが確実にはまっているか。
  (3) 折り曲げ部分にインクが残っていないか。

OK	No Good

メッセージ	表示条件 *1	プリンター動作		対処方法
		プリント	クリーニング	
Ink cartridge check	• カートリッジのインクの残量が100ml未満になった。	可	可 *2	1. インクカートリッジを外して、重さを量ります。☞「インクカートリッジの重量を補正する」（P. 116） 2. 測定した重さを本機に入力します。☞「インクカートリッジの重量を補正する」（P. 116） 3. インクカートリッジのフタを開けて、インクパックを折り曲げてください。  図のようにインクパックをセットしてカートリッジ重量を入力してください
インクレベル エンド（1回目）	• Ink cartridge checkが表示されてから、カートリッジのインクの残量が65ml未満になった。 – Ink cartridge checkが表示されてから、インクパックの折り曲げとカートリッジの重量補正（☞「インクカートリッジの重量を補正する」（P. 116））を実施した場合は表示されない。	不可	不可	
インクレベル ロー	• カートリッジのインクの残量が60ml未満になった。	可	可 *2	1. インクカートリッジを外して、重さを量ります。☞「インクカートリッジの重量を補正する」（P. 116） 2. 測定した重さを本機に入力します。☞「インクカートリッジの重量を補正する」（P. 116）
インクニアエンド	• カートリッジの重量補正（☞「インクカートリッジの重量を補正する」（P. 116））したあとのインクの残量が60ml未満になった。	可	可 *2	
インクレベル エンド	• カートリッジのインクの残量が30ml未満になった。	不可	不可	
インクパック交換（インクエンド）	• カートリッジの重量補正（☞「インクカートリッジの重量を補正する」（P. 116））したあとのインクの残量が30~36ml未満になった。	不可	不可	1. インクパックを交換してください。☞「インクを交換する」（P. 41）

*1. インク残量の値は目安です。

*2. 連続プリントすることができません。ただし同色のインクカートリッジが複数ある場合は、ワーニングなど発生していないカートリッジが1つあれば、連続プリントすることができます。

インクエンドが表示されたとき

インクがなくなりました。新しいインクパックに交換してください。

以下をよくお読みいただき、十分に理解してからインクを交換してください。

☞「インクやその他本機で使用されている液体を取り扱うときの注意事項」（P. 10）

- インクやメンテナンス液、廃インク、そのほか本機で使用されている液体を取り扱うときは、換気に十分注意して、必ず保護メガネ、手袋、マスクなどを着用してください。インクなどの液体が跳ねて、皮膚に付着したり、目や口の中に入ったりするおそれがあります。

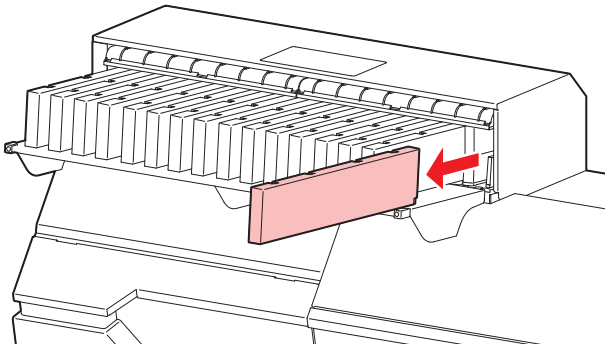
- インクパックのインクを完全に使い切ることはできません。インクパックには、表示容量+αのインクが充填されています。インクを表示容量を消費するとインクエンドになるため、少量のインクが残ってしまいます。

インクを交換する

- 新しいインクパックに交換する場合は、カートリッジ重量入力（☞「インクカートリッジの重量を補正する」（P. 116））は不要です。

● インクカートリッジを外す

1 インクカートリッジを外す。



● インクパックを交換する

1 ケースのツメを指で押して、フタを開ける。

2 使用済みのインクパックを外す。

3 インクカートリッジケースに新しいインクパックを入れる。

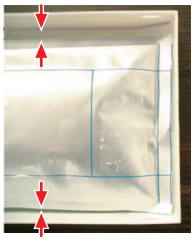
- 両面テープが貼り付けられている方を下に向けて、インクカートリッジケースの溝部にインクパックのコネクターをしっかりとはめ込んでください。ずれているとインクが供給できなくなるおそれがあります。

- パックに添付されている" 法令ブックレット" は取り外さずに、パックをセットしてください。

4 インクパックの形を整える。

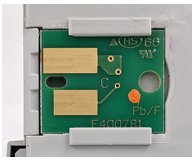
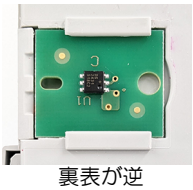
5 両面テープのシールを剥がす。

6 たるまないようにインクパックを固定する。

良い例	悪い例	
		
インクパックとケースの角が合っている	インクパックとケースの角がずれている	インクパックが偏っている

7 新しいインクICチップに交換する。

- 横にスライドすると外すことができます。

良い例	悪い例	
		
	裏表が逆	前後が逆

- インクICチップのマークは、色情報を示しています。

インクカラー	表示マーク
シアン	●（青丸1つ）
マゼンタ	●（赤丸1つ）
イエロー	●（黄丸1つ）
ブラック	●（黒丸1つ）
スカイブルー	●●（青丸2つ）
ペールピンク	●●（赤丸2つ）

インクカラー	表示マーク
ホワイト	◯（白丸1つ）

- インクと一緒に梱包されているインクICチップを取り付けてください。インクICチップには、インクカラーやインク残量、消費有効期限などの情報が書き込まれています。異なるICチップを取り付けた場合、プリントすることができません。

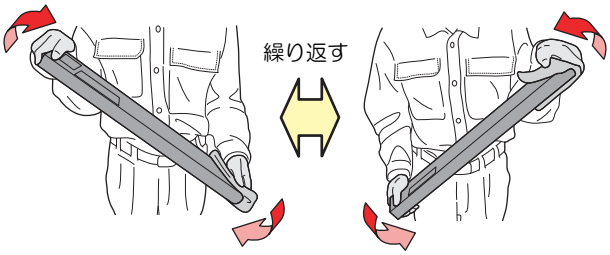
8 ケースのフタを閉じる。

- ツメがカチッと音がするまではめ込みます。

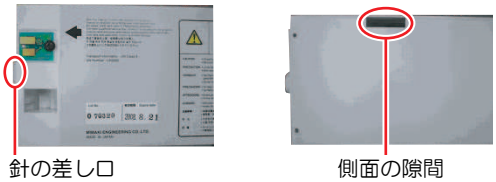
- 手や指を挟まないように注意してください。

9 インクカートリッジをゆっくりと左右に振る。

- インク種類によって振る回数は異なりますので、注意してください。☞「インクのメンテナンス」（P. 90）
- インクを流すように左右に振ってください。

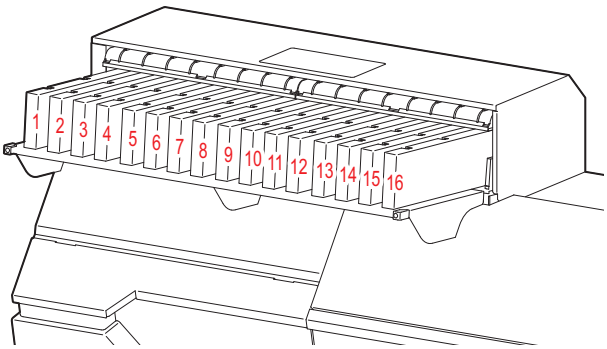


- 使いかけのインクカートリッジの場合は、インクカートリッジの挿し込み口と側面の隙間を紙タオルなどで押さえて、インクカートリッジが縦になるまで傾けてゆっくりと振ってください。



● インクカートリッジをセットする

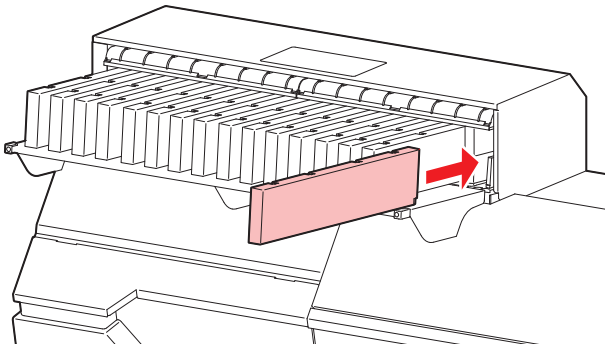
インクスロットの番号を確認してから、正しい色のインクカートリッジを挿し込んでください。



インクセット	インク配置															
	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16
4-color + W（C, M, Y, K, W）	K	K	C	C	M	M	Y	Y	W	W	W	W	W	W	W	W
6-color + W（C, M, Y, K, SB, PP, W）	K	C	SB	PP	M	M	Y	Y	W	W	W	W	W	W	W	W

1 インクカートリッジを挿し込む。

- インクICチップを左側に向けて挿し込みます。



- 奥までしっかりと押し込んでください。インクが供給されないおそれがあります。

- インクICチップの金属部分には触れないでください。静電気でインクICチップが破損したり、汚れや傷などによってインクICチップが読み取りエラーになる原因になります。

第 2 章 プリントしてみる

この章では...

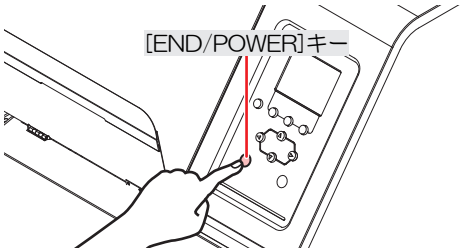
プリントの手順や設定方法について説明しています。

プリントの流れ 46
プリントヘッドの高さを調整する.....49
プリント前のメンテナンスをする.....51
メディアをセットする.....52
　メディアについて 52
　繰出ユニットについて 53
　ロールメディアをセットする 55
ヒーターの温度を設定する 60
テストプリントをする.....61
　テストプリントの配置方向を変更する..... 61
　吐出不良について 62
ヘッドクリーニングをする 63
自動補正をする 64
　自動補正の手順.....64
フィード補正をする.....65
　フィード補正の手順.....65
ドット位置補正をする 66
　ドット位置補正の手順 66
RIPデータを準備する.....68
プリントする.....70
　原点を変更する.....70
　プリントを開始する.....70
　プリントを中止する（データクリア） 71
メディアを裁断する.....72

2.1 プリントの流れ

1. 本機の電源を入れる

☞「電源を入れる」（P. 30）



2. RIP用コンピューターと本機を接続する

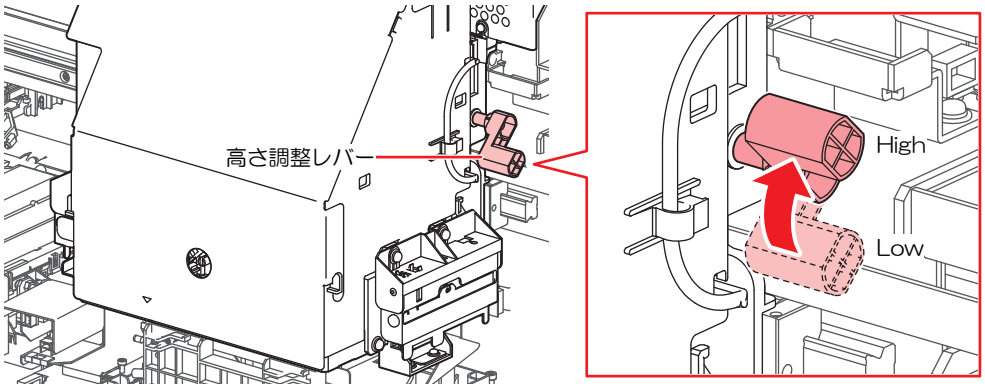
☞「USBケーブルを使う」（P. 33）
☞「LANケーブルを使う」（P. 32）

3. RIP用ソフトウェアを準備する

☞「RIP用ソフトウェアをインストールする」（P. 36）（初回のみ）
☞「カラープロファイルを入手する」（P. 36）
☞「RIP用ソフトウェアを準備する」（P. 36）（初回のみ）

4. プリントヘッドの高さを調整する

高さ調整レバーは、お使いになるメディアに合わせて調整してください。☞「プリントヘッドの高さを調整する」（P. 49）

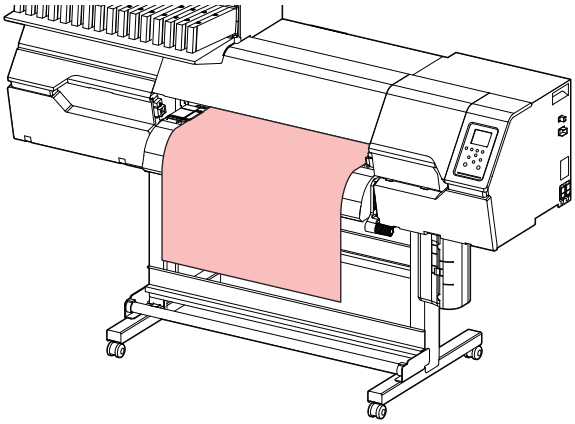


5. プリント前のメンテナンスをする

☞「プリント前のメンテナンスをする」（P. 51）

6. メディアをセットする

ロールメディアを使用できます。☞「メディアをセットする」（P. 52）

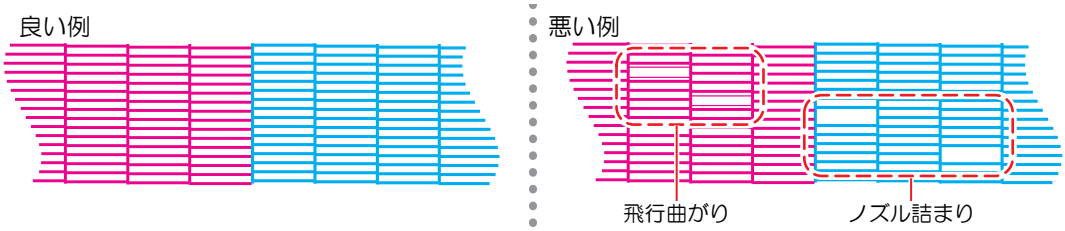


7. ヒーターの温度を設定する

☞「ヒーターの温度を設定する」（P. 60）

8. プリントヘッドのノズルの状態を確認する

☞「テストプリントをする」（P. 61）

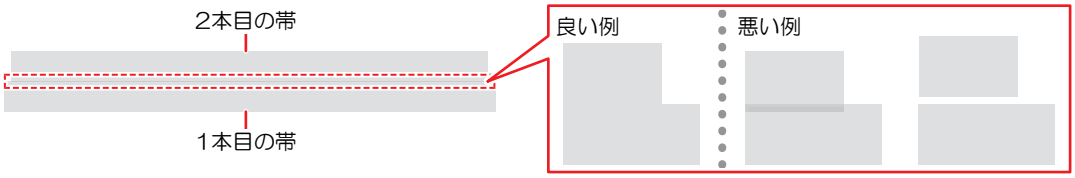


9. 不良ノズルがあったら、ヘッドをクリーニングする

ヘッドクリーニングは、3種類あります。テストプリントの結果によって使い分けてください。☞「ヘッドクリーニングをする」（P. 63）

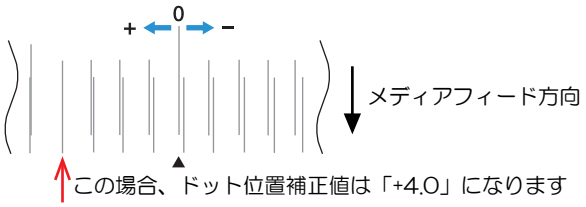
10. メディアの送り量を調整する

☞「フィード補正をする」（P. 65）



11. 双方向プリントするときは、ドット位置を調整する

☞「ドット位置補正をする」（P. 66）

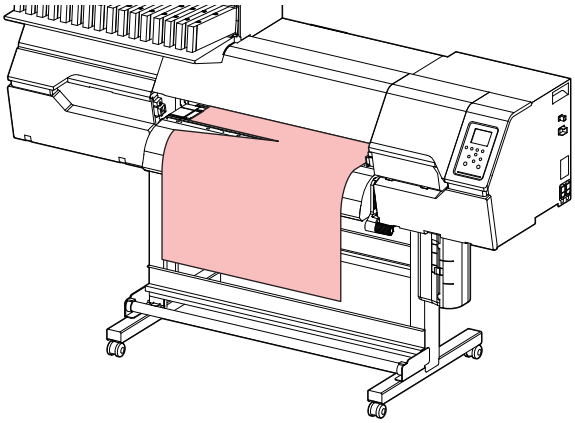


12. RIPデータをプリントする

☞「プリントする」（P. 70）

13. メディアを裁断する

☞「メディアを裁断する」（P. 72）



2.2 プリントヘッドの高さを調整する

お使いになるメディアの厚みに合わせて、プリントヘッドの高さを調整してください。

レンジ	プリントヘッドとプラテンの距離
Low	1.6 mm（初期設定）
Middle	2.1 mm
High	2.6 mm

- プリントヘッドの高さを変更したあとは、必ずドット位置補正を実施してください。☞「ドット位置補正をする」（P. 66）

重 要！

- インクジェットプリンターは、プリントヘッドとメディア間のギャップが広がると、インク滴がメディアに到達できずにミスト化してしまう傾向があります。ミスト化したインクがプリントヘッドのノズル面やメディアに付着してプリント品質に影響がでたり、プリントヘッドが故障したりするおそれがあります。プリントヘッドの高さはメディアに合わせて調整してください。

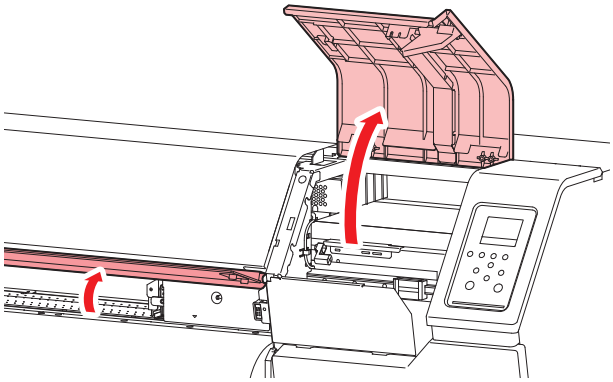
1 ローカルモード画面から[MENU] > [メンテナンス]を選択して、[ENTER]キーを押す。

- メンテナンスメニューが表示されます。

2 [ステーションメンテ] > [キャリッジアウト] > [プラテン右端まで移動]を選択して、[ENTER]キーを押す。

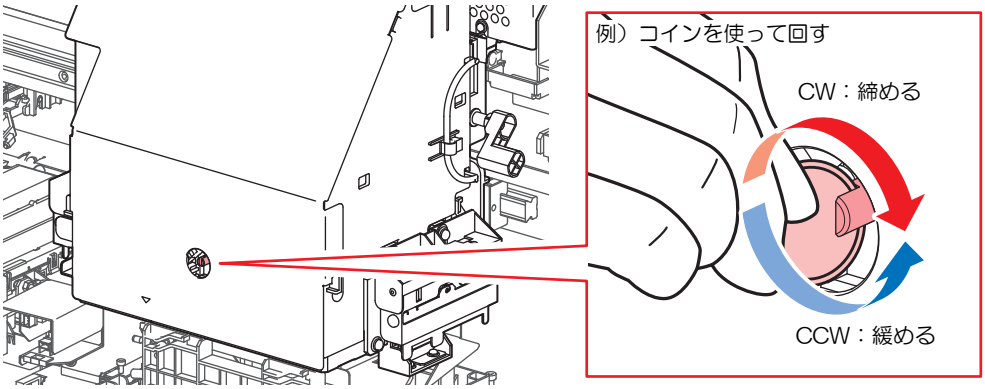
- キャリッジがプラテン上に移動します。

3 正面カバーを開く。



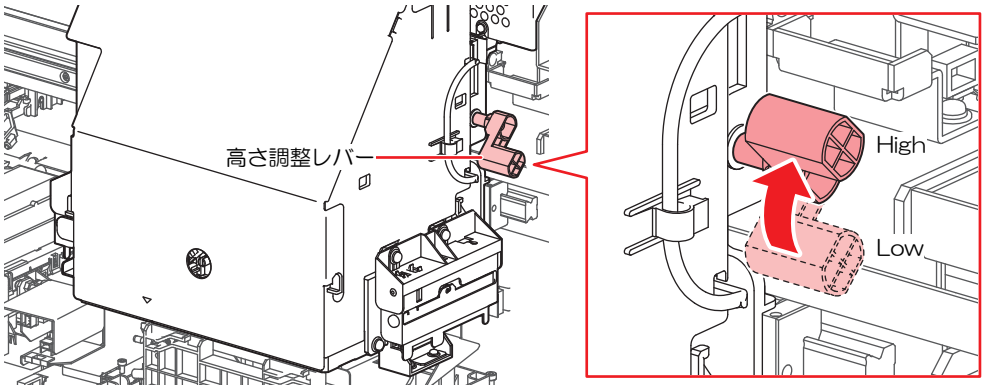
4 キャリッジカバー中央の穴から、中のつまみを反時計回りに1～2回転ほど回して緩める。

- コインやマイナスドライバーなどを使用して回してください。　素手で回すと怪我をする恐れがあります。
- 2回転以上回さないでください。　ネジが抜けて、作図品質に影響が出る恐れがあります。



5 高さ調整レバーで高さを変更する。

- 高さ調整レバーは、設定したい高さが上になるように設定してください。正しい位置にレバーがないと、メディアジャムやミストなど、故障やプリント品質に影響がでるおそれがあります。

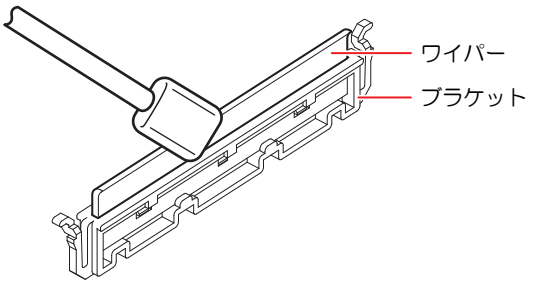
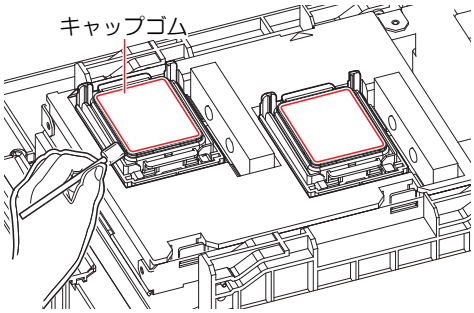
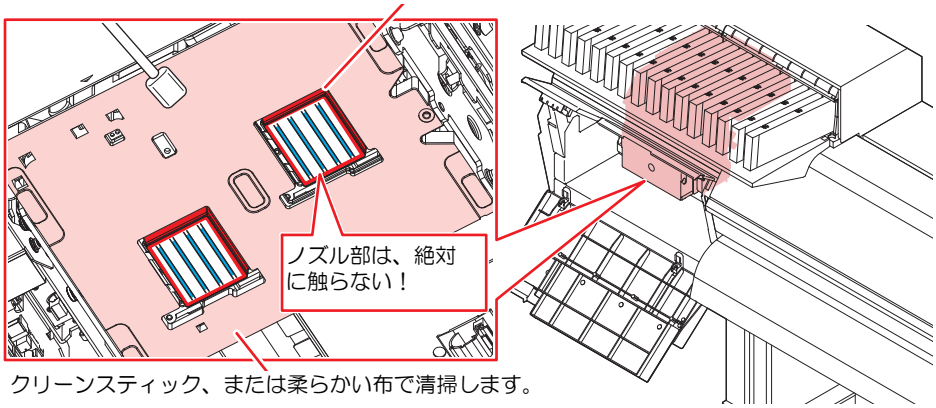


6 4の逆の手順で、つまみを緩めたときと同じ量（1～2回転）時計回りに回して締める。

7 調整が終わったらカバーを閉めて、[ENTER] キーを押す。

2.3 プリント前のメンテナンスをする

プリント前（1日の作業開始前）に、以下のメンテナンスを実施してください。
メンテナンスをすることで、ノズルが安定した状態で稼働できます。

タイミング	項目
1日の作業開始前	ワイパーとワイパーブラケットを清掃してください。☞「ワイパーの清掃」（P. 91） 
	キャップゴムを清掃してください。☞「キャップゴムの清掃」（P. 93） 
	キャリッジの底面を清掃してください。☞「キャリッジ底面の清掃」（P. 95） プリントヘッドの側面とノズルプレート全周は、クリーンスティックで清掃します。 

2.4 メディアをセットする

- メディアをセットする前に、ヘッド高さを調整してください。メディアをセットしたあとにキャリッジを動作させると、プリントヘッドがメディアに接触して、破損するおそれがあります。

メディアについて

● メディアの取り扱いに関するご注意

- 高画質で安定したプリントをするために、弊社推奨のメディアをご使用ください。

⚠ 警 告

- ロールメディアは、2人以上で取り付けてください。メディアの重みで腰を痛めてしまうおそれがあります。

注 記

- ホコリが付着しないように保管してください。プリント品質が低下する原因になります。
- 定型サイズ紙をまるめて保管するときは、コーティング面が外側になるように保管してください。

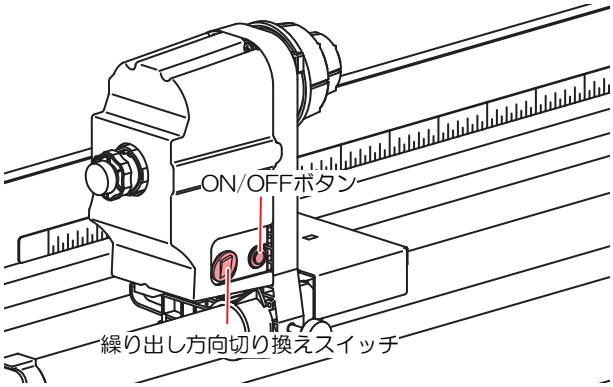
- 本機にメディアをセットしたまま放置しないでください。メディアにホコリが付着する原因になります。また、ホコリをふき取ったメディアは使わないでください。静電気が発生して、プリント品質に影響がでるおそれがあります。
- 包装を開けてから間もないメディアを使用しないでください。メディア保管場所の温度や湿度によって、メディアが伸縮しているおそれがあります。本機と同じ室内環境下で、30分以上経過してから本機にセットしてください。
- カールしたメディアは使用しないでください。プリントヘッドが破損する原因になるだけでなく、プリント品質に影響がでるおそれがあります。

重要!

- プリント済みメディアの保管状態やメディアの種類によって、メディア裏面に裏移りしてしまうことがあります。事前にテストをして、裏移りしないかどうかを確認してください。

繰出ユニットについて

繰出ユニットのスイッチを使って、メディアの繰り出し方向やトルクリミッターの設定を変更することができます。



名称	概要	
方向切り換えスイッチ	上	トルクリミッターON時：外巻きのメディアにテンションをかける場合
	下	トルクリミッターON時：内巻きのメディアにテンションをかける場合
ON/OFF ボタン	繰り出し動作のオン/オフを切り替えます。	
繰出ユニットON/OFF設定（マシン設定）	• 繰出ユニットがONになっている場合＝トルクリミッターONで使用 – プリント中、繰り出し側のメディアをたるませて、送り精度を向上させるモード – 印刷中、定期的にメディアがバックフィードして、スキュー（斜行）を補正するモード • 繰出ユニットがOFFになっている場合＝トルクリミッターOFFで使用 – プリント中、繰り出し側のメディアはたるませない。 – プリント中、メディアのバックフィードはなし	

操作パネルからの繰出ユニット設定確認方法
- [MENU]>[機能設定]>[繰出ユニット]

重要！
- 繰出ユニットの ON/OFF には、画質と印刷速度の間に性能上の相反関係（トレードオフ）が生じます。画質を優先する場合は ON、印刷速度を優先する場合は OFF など、用途に合わせて設定を切り替えてご使用ください。

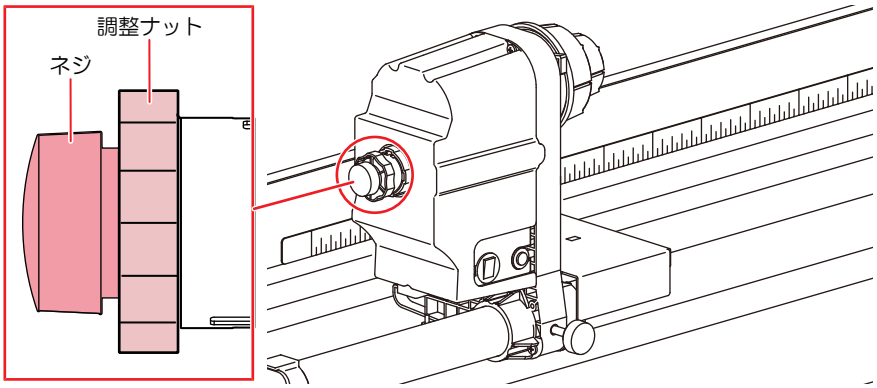
繰出ユニット	画質	速度
ON	◎	△
OFF	○	○

トルクリミッターを調節する

● トルクリミッターのON/OFF切替方法

端面のネジをゆるめて（1～2回転）引っ張ると、トルクリミッターがOFFになります。
ネジを締め込むと、トルクリミッターがONになります。

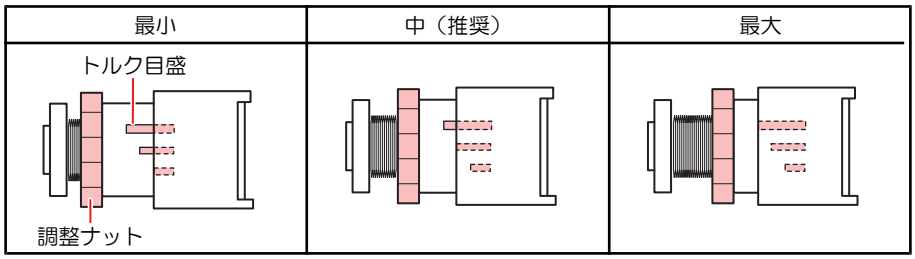
- ネジを回すときは、ネジ以外の部分が回転しないように調整ナットを持ちながら操作してください。



● トルクリミッターの調整について

重要！
- トルク設定を変更する場合は、トルクリミッターがONになっている必要があります。

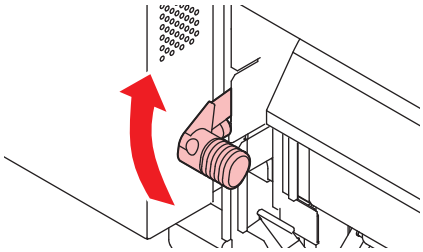
調整ナットを回すことで、バックフィード時の巻き取りの強さを変更できます。
本機で使用する場合は、トルク設定を“中”にしてください。



- 印刷でメディアがスキュー（斜行）する場合は、半回転（180度回転）ずつを目安にトルク設定を強めて、スキューを防止できる設定にして使用してください。

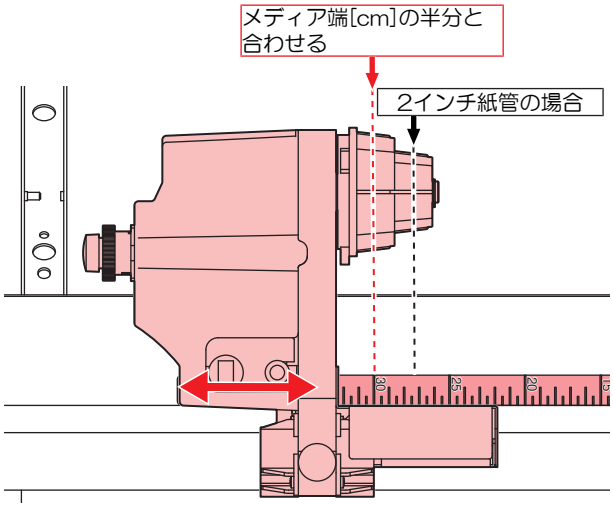
ロールメディアをセットする

1 クランプレバーを上げる。



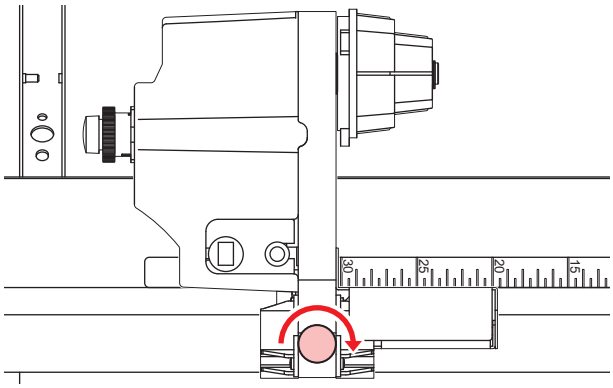
2 背面左側のロールホルダーをロールセット位置へ移動する。

- ロールホルダーの固定ネジを緩め、ロールホルダーテーパ部の中央付近を、使用するメディア幅[cm]の半分の位置まで移動させます。



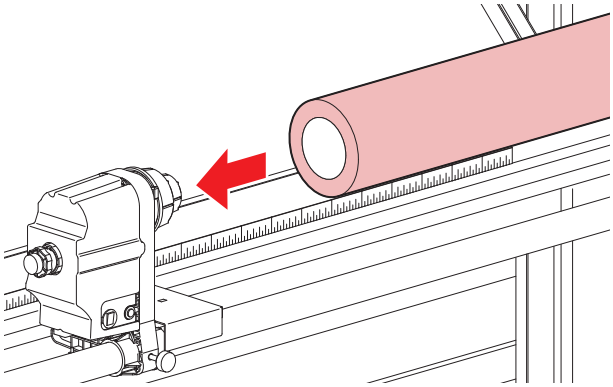
- ここでは大まかにメディア位置を合わせます。あとで微調整します。

3 背面左側のロールホルダー固定ネジを締める。



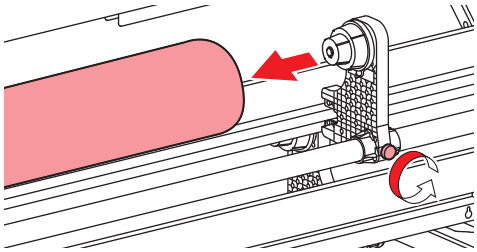
4 背面左側のロールホルダーにロールメディアの紙管を挿し込む。

- 紙管が動かなくなるまで、奥に挿し込んでください。



5 背面右側のロールホルダーを紙管に挿し込む。

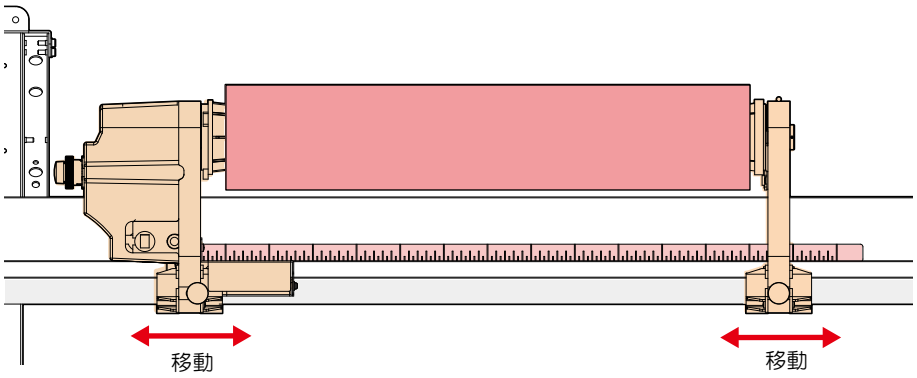
- ロールホルダー固定ネジを緩めてから移動させます。



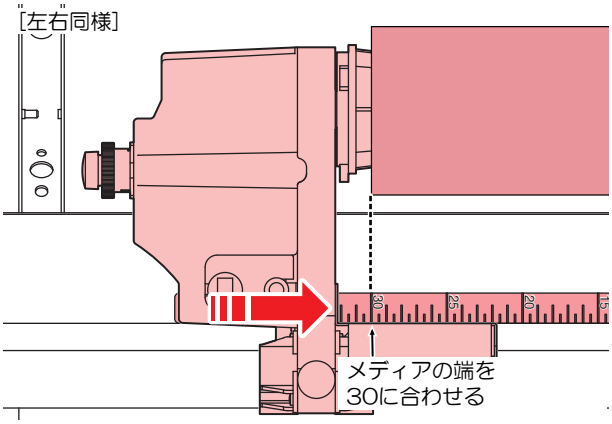
6 メディアの位置を微調整する。

- 左右のメディアの端面を、メディア幅[cm]の半分の値の位置に合わせた位置まで移動する。

- 一度に動かすとメディアが落下するおそれがあるので、必ず**少しずつ（目安：1cm程度ずつ）**移動させてください。メディアが落下して印字面にキズが付くと、画質に影響が出るおそれがあります。



- 600mm幅のメディアの場合、両端を”30”の目盛を合わせてください。



7 両側のロールホルダー固定ネジを締める。

- 先に片側を締めて、片方に押し付けながらもう一方の固定ネジを締めてください。

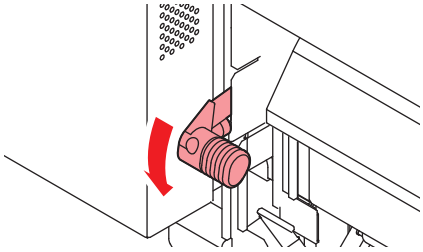
8 メディアを挿し込む。

- ピンチローラーとグリットローラーの間に挿し込みます。

- メディアを斜めにすると、引っ掛かりが少なくスムーズに挿し込めます。

9 クランプレバーを下げる。

- ピンチローラーとグリットローラーで、メディアを保持している状態にします。

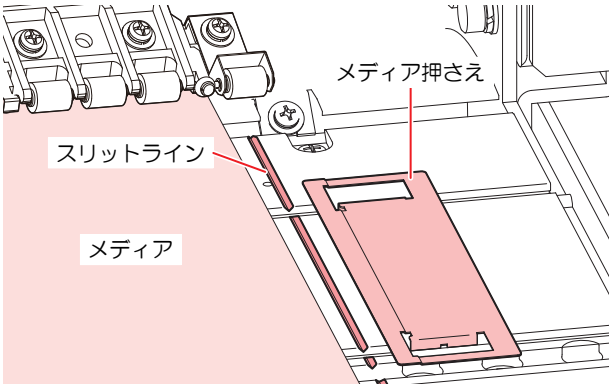


10 本機正面に移動して、正面カバーを開く。

11 クランプレバーを上げて、メディアを引き出す。

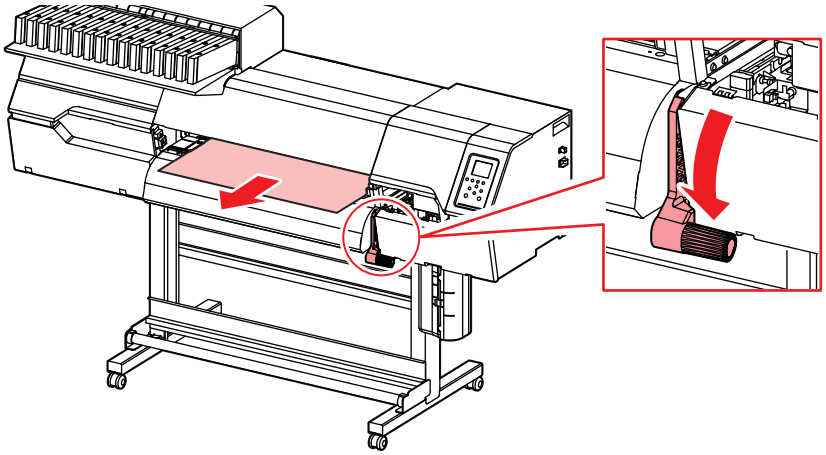
- メディアを後方に落とさないようにしてください。

- プラテン右側のスリットラインがメディアに隠れないように、背面のロールホルダー位置を調整してください。メディアが斜行した場合、プリントヘッドが破損するおそれがあります。

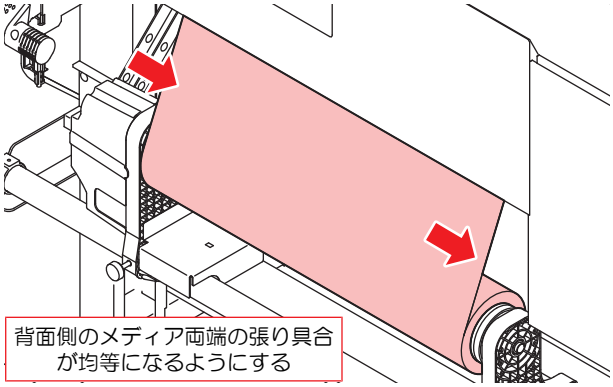


- メディアの両端から5mmは、デッドスペースになります。

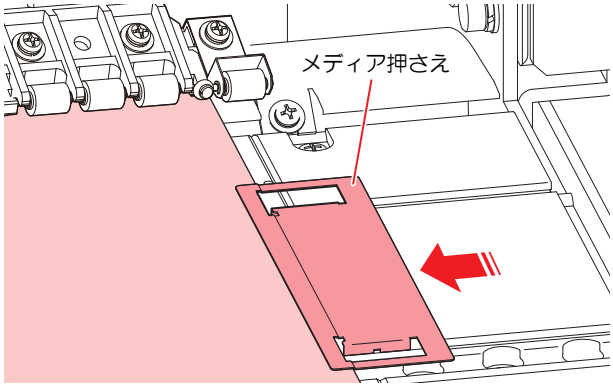
12 メディアをまっすぐ引き出して（プラテンから10～20cm手前側まで）、クランプレバーを下げる。



- 背面側のメディアがたるんだ状態のままセットすると斜行の原因となるため、必ずメディアを引っ張りながら背面側にテンションをかけた状態でクランプレバーを下げてください。
- 背面側のメディアの左右のテンションが同等であることを確認してください。なお、印字面のため、硬いもの、鋭利なもの、水分や油分を含むものなどを接触させないように注意してください。
  ※左右で張り具合に差がある場合、メディアが斜めの状態でセットされている可能性があるため、左右の張り具合が均等になるように再度セットし直してください。



13 メディア押さえでメディアをはさむ。



- 厚みのあるメディアにプリントするときは、メディア押さえを使用しないでください。

14 ◀を押して、”ロール”を選択する。

- メディア幅の検出を開始します。
- [マシン設定] > [メディア検出] > [検出方法]の設定が、”MANUAL”に設定されている場合、プリントする範囲を手動で決定します。
- [マシン設定] > [メディア検出] > [メディア残量]の設定が、“ON”に設定されている場合、メディア長さ入力画面が表示されます。

- メディアが規定の位置より右に寄っている場合、メディア幅を検出したあと、ディスプレイに“ メディア イチミギスギマス” を表示してお知らせします。メディアを既定の位置にセットし直してください。

2.5 ヒーターの温度を設定する

お使いになるメディアの種類や特性に合わせて、ヒーター温度を設定してください。プリントしている途中でも温度を変更することができますが、色みが変化するおそれがあります。

- RIP用ソフトウェアの温度設定が優先されます。弊社RIP用ソフトウェア（RasterLink）をお使いの場合、カラープロファイルに推奨値が保存されています。

- メディアの種類や特性に合わせて、ヒーターの温度を調整してください。種類によっては、メディアが伸縮したり、メディアが波打ったりしてしまうおそれがあります。

1 **ローカルモード画面から、[HEATER]を選択する。**

- ヒーター温度の設定画面が表示されます。

2 **各ヒーターの温度を入力して、[ENTER]キーを押す。**

- ヒーターの温度が設定値±3°Cに到達すると、プリントすることができます。

名称	概要
PRE（プリヒーター）	プリントする前にメディアを予熱して、メディアの急激な温度変化を抑制します。
PRINT（プリントヒーター）	インクのにじみを抑制します。
POST（ポストヒーター）	プリントしたインクを乾燥させます。

2.6 テストプリントをする

テストパターンをプリントして、インクが正常に吐出されているかどうかを確認します。吐出不良（ノズル詰まり、飛行曲がりなど）があった場合は、ヘッドクリーニングを実施してください。☞「ヘッドクリーニングをする」（P. 63）

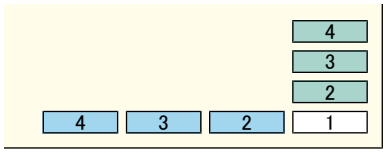
事前に確認してください
• プリントヘッドの高さを調整していますか? ☞「プリントヘッドの高さを調整する」（P. 49） • メディアをセットしていますか? ☞「メディアをセットする」（P. 52）

- 幅500mm以上のメディアをセットしてください。幅500mm未満のメディアをセットした場合、プリントが途切れてしまうおそれがあります。
- NCUが汚れていると正常に作動しないおそれがあります。☞「NCUの清掃」（P. 94）

- [メンテナンス] > [ノズルリカバリ] > [テストプリント]をONに設定すると、ノズルリカバリーされてテストプリントされます。
  ノズルリカバリーは登録が必要です。☞「ノズルリカバリーを登録する」（P. 79）

テストプリントの配置方向を変更する

テストプリントの配置方向を変更することができます。



：スキャン方向
（横方向にプリントを繰り返します）

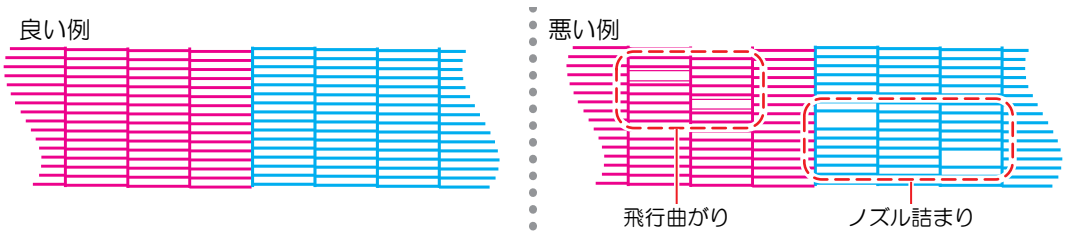
：フィード方向
（メディアをフィードして、縦方向にプリントを繰り返します）

1 **ローカルモード画面から[TEST PRINT/CLEANING] > [テストプリント]を選択して、[ENTER]キーを押す。**

- テストプリントメニューが表示されます。

2 **[スキャン方向]、もしくは[フィード方向]を選択して、[ENTER]キーを押す。**

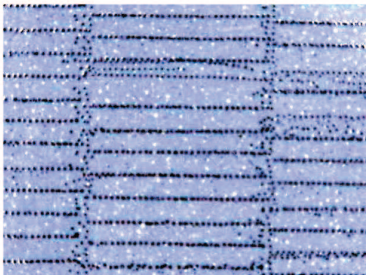
- テストプリントを開始します。



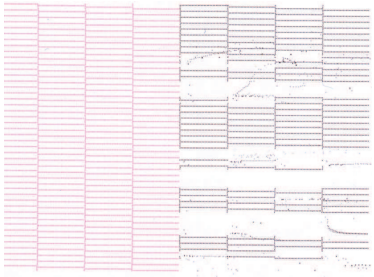
3 **プリント結果を確認する。**

吐出不良について

吐出不良（ノズル詰まり、飛行曲がりなど）の代表的な例を示します。このような状態でプリントされないように、プリント前など定期的にインクが正常に吐出されているかどうかを確認してください。



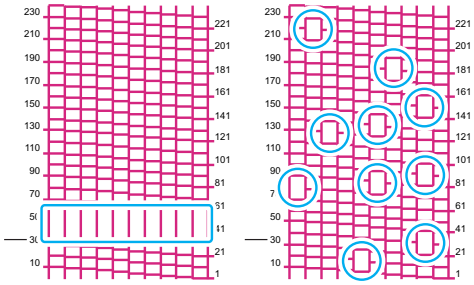
飛行曲がり



ノズル詰まり

ボタ落ち

ミスト（しぶき）



空気の混入

2.7 ヘッドクリーニングをする

ヘッドクリーニングには、以下のタイプがあります。テストプリントの結果によって使い分けてください。

項目	内容
ソフト	線の曲がり（飛行曲がり）があるとき。
ノーマル	線の抜け（ノズル詰まり）があるとき。
ハード	ソフトクリーニング、ノーマルクリーニングを実行しても吐出不良（ノズル詰まり、飛行曲がりなど）が改善しないとき。
ホワイト復旧ノーマル	ハードクリーニングを実行してもホワイトのノズルが復旧しないとき
ホワイト復旧ハード	ホワイト復旧ノーマルを実行してもホワイトのノズルが復旧しないとき

- [インクレベルロー]、[インクニアエンド]、[インクレベルエンド]、[インクエンド]のときは、クリーニングすることができません。クリーニングに必要な量のインクが残っていることがありますので、インクカートリッジの重量補正をしてください。☞「インクカートリッジの重量を補正する」（P. 116）
  重量補正してもワーニングが表示されるときは、新しいインクパックに交換してください。☞「インクを交換する」（P. 41）

1 **ローカルモード画面から[TEST PRINT/CLEANING] > [クリーニング]を選択して、[ENTER]キーを押す。**

- クリーニングメニューが表示されます。

2 **クリーニングタイプを選択して、[ENTER]キーを押す。**

3 **クリーニングするヘッドを選択して、[ENTER]キーを押す。**

- チェックボックスをオンにしてください。チェックが入っているヘッドをクリーニングします。

4 **再度、テストプリントを実行して、プリント結果を確認する。**

- プリント結果が正常になるまで、クリーニングとテストプリントを繰り返してください。

- ヘッドクリーニングで、吐出不良（ノズル詰まり、飛行曲がりなど）が改善されない場合は、以下を実施してください。
  ☞「ワイパーの清掃」（P. 91）
  ☞「キャップゴムの清掃」（P. 93）
  ☞「プリントヘッドのノズル洗浄」（P. 120）

2.8 自動補正をする

自動補正機能（DAS：Dot Adjustment System）は、補正パターンをセンサーで検出して、自動でドットの着弾位置を補正します。

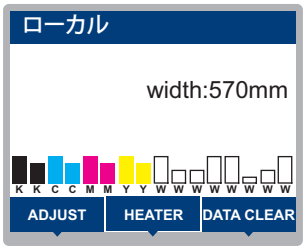
事前に確認してください
• メディアをセットしていますか? ☞「メディアをセットする」（P. 52） • ロールメディアをご使用の場合、背面ロールメディアが、たるみのない状態にセットされていますか? ☞「ロールメディアをセットする」（P. 55）

重要！ • 検出メディア幅が250mm以上となるメディアをお使いください。

自動補正の手順

補正パターンをプリントして補正量を入力します。ここで補正した値は、設定メニューに反映されます。

1 **ローカルモード画面から[ADJUST]を選択する。**



2 **[自動補正]を選択して、[ENTER]キーを押す。**

3 **設定項目を以下の２つから選択して、[ENTER]キーを押す。**

- [フィード補正]：フィード補正を自動で行います。
- [ドット位置補正]：ドット位置補正を自動で行います。

- ドット位置補正は解像度を600Hi,900Hi,1200Hiから選択することができます。
- 自動でパターンのプリント＞パターン検出＞補正を実施します。
- 自動補正メニュー内の表示および実行時の補正はメディア設定のものと同一になります。

2.9 フィード補正をする

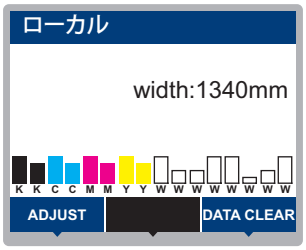
メディアの種類を変更したり、繰り出しユニットの設定を変更すると、メディアのフィード量が変化します。メディア変更や繰り出しユニットの設定変更に合わせて補正してください。補正値が適切でないと、画質不良（濃い縞や薄い縞が入るなど）の原因になります。

事前に確認してください
• メディアをセットしていますか? ☞「メディアをセットする」（P. 52） • ロールメディアをご使用の場合、背面ロールメディアが、たるみのない状態にセットされていますか? ☞「ロールメディアをセットする」（P. 55）

フィード補正の手順

補正パターンをプリントして補正量を入力します。ここで補正した値は、設定メニューに反映されます。

1 **ローカルモード画面から[ADJUST]を選択する。**

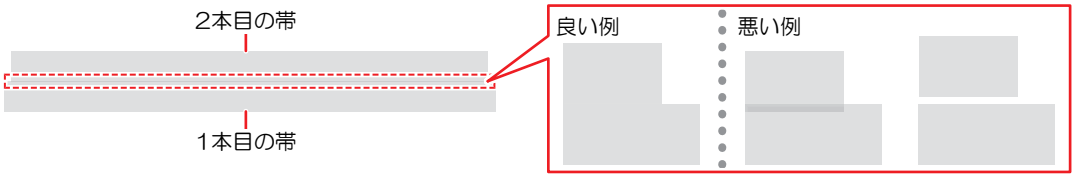


2 **[フィード補正]を選択して、[ENTER]キーを押す。**

- 補正パターンのプリントを開始します。

3 **プリント結果を確認する。**

- 補正値の入力画面が表示されます。
- 2本の帯の境が均等の濃さになるように調整します。



4 **補正値を入力して、[ENTER]キーを押す。**

- "＋" 入力：2本の帯の隙間が広くなります。
- "－" 入力：2本の帯の隙間が狭くなります。
- 補正値を"30"変更するごとに、帯が約0.1mm移動します。

プリント中にフィード補正をしたいとき

リモートモードやプリント中でも、メディアの送り量の補正ができます。

1 **リモートモード、もしくはプリント中に、[ADJUST]を選択する。**

2 **補正値を入力して、[ENTER]キーを押す。**

- 補正値：-9999～9999
- ここで入力した値は、すぐ補正値に反映されます。

2.10 ドット位置補正をする

メディアやプリントヘッドの高さを変更すると、ドットの着弾位置が変わってしまいます。メディアの種類に合わせて補正してください。補正値が適切でないと、画質不良（線が二重、ぼやけた画像など）の原因になります。

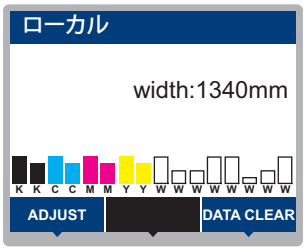
事前に確認してください
• プリントヘッドの高さを調整していますか? ☞「プリントヘッドの高さを調整する」（P. 49） • メディアをセットしていますか? ☞「メディアをセットする」（P. 52）

- 幅500mm以上のメディアをセットしてください。幅500mm未満のメディアをセットした場合、プリントが途切れてしまうおそれがあります。
- NCUが汚れていると正常に作動しないおそれがあります。☞「NCUの清掃」（P. 94）

ドット位置補正の手順

補正パターンをプリントして補正量を入力します。ここで補正した値は、設定メニューに反映されます。

1 **ローカルモード画面から[ADJUST]を選択する。**



2 **[ドット位置補正]を選択して、[ENTER]キーを押す。**

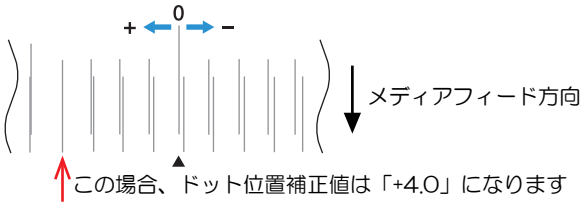
3 **解像度を選択して、[ENTER]キーを押す。**

- 調整したい解像度を選択します。"全て"を選択すると、すべての解像度の補正パターンをプリントします。☞「メディア設定メニュー」（P. 74）

- 解像度はスキャン方向の解像度を示しています。

4 **プリント結果を確認する。**

- 補正値の入力画面が表示されます。
- 上下2本の線が1本の直線になっている位置を入力します。



5 **補正値を入力して、[ENTER]キーを押す。**

- 補正値：-40 ~ 40

- 補正値が-40 ~ 40の間に重なった線がない場合は、プリントヘッドの高さが適正でないことが原因と考えられます。プリントヘッドの高さを調整してください。
☞「プリントヘッドの高さを調整する」（P. 49）

6 パターン2以降も同様に補正値を入力する。

2.11 RIPデータを準備する

ここでは、弊社RIP用ソフトウェア（RasterLink）の説明をします。

- 任意のプリント用の画像データをご準備ください。

1 “RasterLink”を起動する。

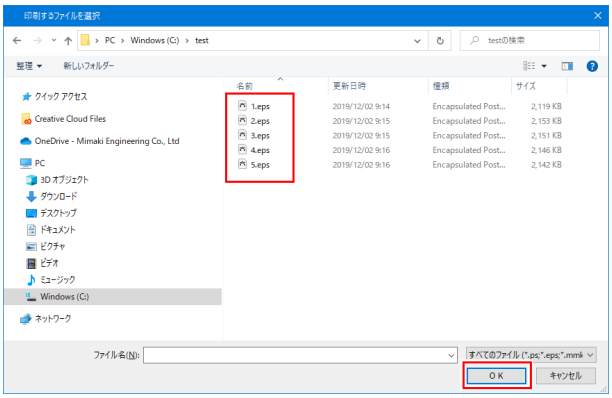
- コンピューター のデスクトップ上にあるアイコンをクリックしてください。

2 プリントする画像データを選択する。

(1) [ファイル] > [開く]を選択する。

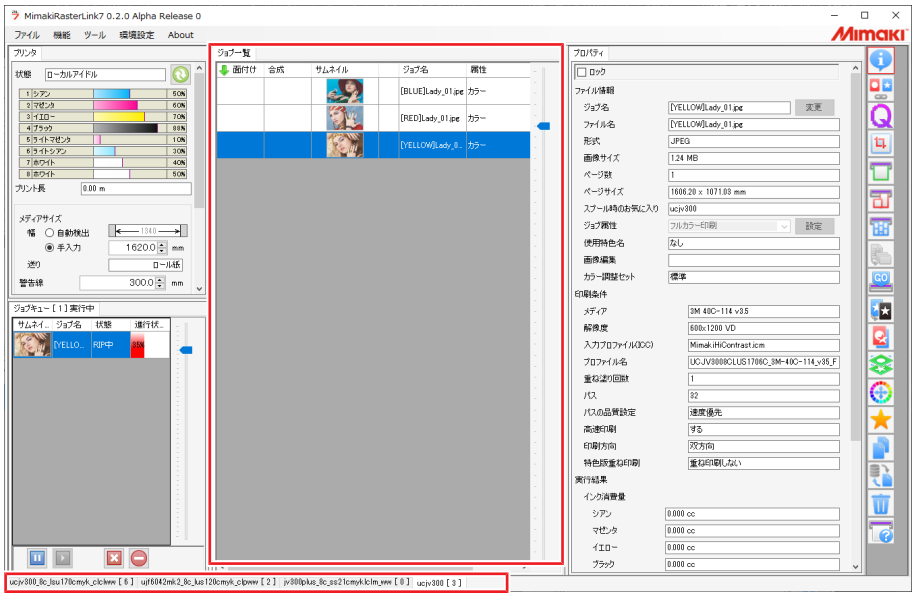
(2) 任意の画像データを選択して、[開く]をクリックする。

- 複数のプリンターが登録されている場合、”プリンタ名”からTxF330-800を選択します。



3 読み込まれた画像データを選択する。

- “プリンタ名”で選択した、TxF330-800のタブに表示されます。



4 各種設定を確認、変更する。

- 画面右の機能アイコンから、以下を設定します。

  （通常印刷）：拡大/縮小、コピーなどを設定します。

  （印刷条件）：本機にセットしているメディアやインクセットに合ったカラープロファイルを選択します。

- 詳しくは、"RasterLink"のリファレンスガイドをご覧ください。https://japan.mimaki.com/download/software.html

5 画像データをプリントする。

- 画面右の機能アイコンから（実行）をクリックします。”RIP&印刷”、もしくは”RIP後印刷”を選択して、[開始]をクリックします。

- メディアを交換した場合、メディア幅を再取得する必要があります。
  (1) メインウィンドウで、TxF330-800のタブを選択する。
  (2) プリンタタブの（最新のプリンタステータスを表示）をクリックする。

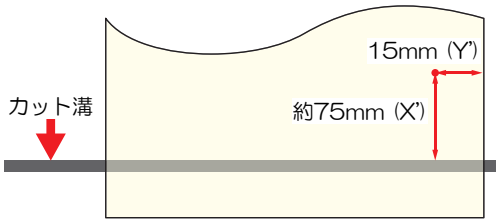
2.12 プリントする

事前に確認してください
• プリントヘッドの高さを調整していますか? ☞「プリントヘッドの高さを調整する」（P. 49） • メディアをセットしていますか? ☞「メディアをセットする」（P. 52） • ロールメディアをご使用の場合、背面ロールメディアが、たるみのない状態にセットされていますか? ☞「ロールメディアをセットする」（P. 55）

原点を変更する

プリント開始位置を変更することができます。LEDポインターで原点位置を設定します。

- プリント原点の初期値
  - フィード（縦：X'）方向：プラテンのカット溝から奥へ約75mm
  - スキャン（横：Y'）方向：メディア右端から15mm



1 **ローカルモード画面から、▲▼◀▶を押す。**

- 原点設定画面が表示されます。

2 **▲▼◀▶を押して、変更したい位置に原点を合わせる。**

- キャリッジが左右に動いて、メディアがフィードします。

3 **[ENTER]キーを押す。**

- 原点が変更されます。

プリントを開始する

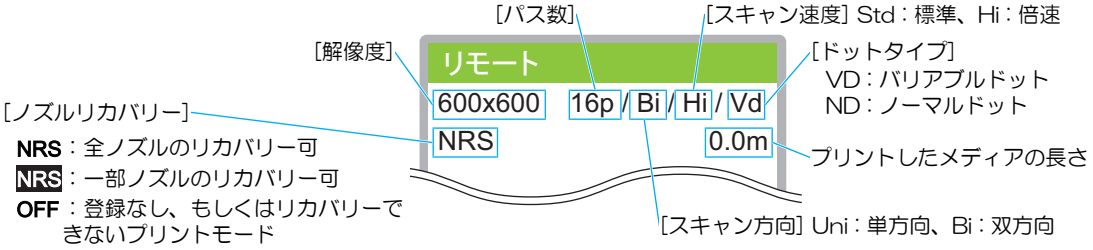
1 **コンピューターから、RIPデータを送信する。**

- ☞「RIPデータを準備する」（P. 68）

- エラーメッセージが表示されたときは、エラー番号を確認してから対処方法を参照してください。エラーメッセージ

2 **プリントを開始する。**

- RIPデータを受信すると、プリントが開始されます。



- 同じ画像データをプリントしても、セットしたメディアの幅やプリント原点の位置、解像度などによって、プリントが終了するまでの時間が異なります。
- エラーが発生している場合、プリントが終了したあとはローカルモードになって、続けてプリントすることはできません。

プリントを一時停止する

1 **プリント中に、[LOCAL]を押す。**

- プリントが一時停止されます。
- コンピューターからデータを送信している場合は、コンピューター側でデータ送信を一時停止します。

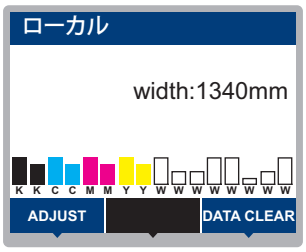
2 **[REMOTE]を押す。**

- プリントが再開されます。

- 一時停止中は、その他の機能は操作することができません。

プリントを中止する（データクリア）

1 **ローカルモード画面から[DATA CLEAR]を選択する。**



2 **[ENTER]キーを押して、受信データをクリアする。**

- 受信バッファがクリアされます。

2.13 メディアを裁断する

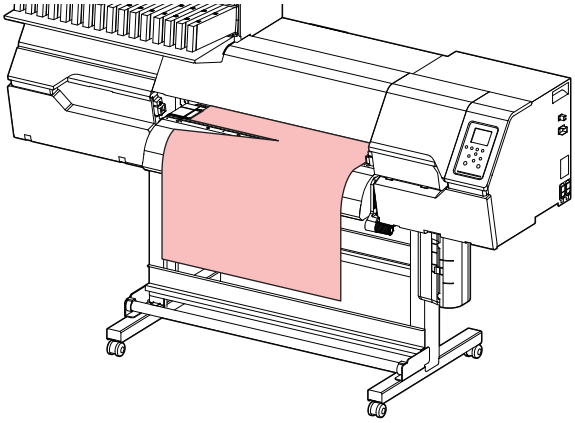
1 ローカルモード画面から、▲▼◀▶を押す。

- 原点設定画面が表示されます。

2 ▲▼を押して、裁断したい位置までメディアをフィードする。

3 [CUT]を選択して、[ENTER]キーを押す。

- メディアが裁断されます。



本機を使用しないときは、クランプレバーを上げてピンチローラーとグリットローラーを離してください。

- ピンチローラーを下げたまま放置すると、ピンチローラーが変形して、メディアを正常にフィードできなくなるおそれがあります
- メディアをセットしたまま放置すると、メディアがピンチローラーに押しつぶされて、ピンチローラー跡が残る原因になります。

- コシが弱いメディアや、カールしているメディアなどの場合、メディア裁断後にプラテン上の溝にメディアが引っかかる場合があります。メディアを汚したり曲げたりしないように注意してメディアを取り外してください。

第 3 章　各種設定

この章では...

[MENU]の各種機能について説明しています。

メディア設定メニュー.....74
メンテナンスメニュー.....77
　ノズルリカバリーを登録する 79
　ノズルチェックとは..... 81
機能設定メニュー.....82
環境設定メニュー.....84
マシンステータスメニュー 86

3.1 メディア設定メニュー

初めて使用するときは、[使用メディア選択]画面が表示されます。メディアを登録するお使いになるメディアに合わせて、メディア情報の登録や補正値を個別に登録しておくことができます。

- 一度だけ違う条件でプリントしたい場合は、"Temporary"を選択してください。"Temporary"で設定した内容は、電源を再起動すると初期化されます。

本機の設定と接続しているコンピューターの設定、どちらを優先させるかどうかを決めることができます。各メニューを"ホスト"に設定すると、コンピューターの設定が優先されます。本機の設定を優先させたいときは、"ホスト"以外に設定してください。

- RIP用ソフトウェアの指定方法は、RIP用ソフトウェアの取扱説明書をご覧ください。

● メニュー 一覧

項目	設定値 *1	設定値 *2	内容
フィード補正	-9999 ~ 0 ~ 9999	-	メディアの送り量を補正します。パターンをプリントして、補正量を入力します。☞「フィード補正をする」（P. 65）
ドット位置補正	-	-	双方向プリントのドット着弾位置を補正します。☞「ドット位置補正をする」（P. 66）
（解像度）	*	-	補正したい解像度を選択します。 “全て”を選択すると、すべての解像度の補正パターンをプリントします。 * 選択できる解像度は、機種によって異なります。
（補正値）	-40.0 ~ 0 ~ 40.0	-	パターンを確認して補正値を入力します。
自動補正 （FW ver 1.2以降）	-	-	自動補正機能（DAS：Dot Adjustment System）は、補正パターンをセンサーで検出して、自動でドットの着弾位置を補正します。 “全て”を選択すると、“フィード補正”“ドット位置補正”を補正します。 • メディアに浮きがないことを確認してください。 • 白くて汚れのないメディアを使用してください。 • 合成紙やターポリン、布系メディアなどは、検出できないことがあります。 • パターンのプリント実行中にコンピューターから、RIPデータを送信しないでください。 • 自動補正に失敗した場合は、手動で補正してください。[MENU] > [メディア設定] > [フィード補正] or [ドット位置補正]
全て	-		
フィード補正	-	-	
ドット位置補正	-	-	
（解像度）	*	-	補正したい解像度を選択します。 ”全て”を選択すると、すべての解像度の補正パターンをプリントして、自動でドットの着弾位置を補正します。 * 選択できる解像度は、機種によって異なります。
MAPS *	-	-	MAPS：Mimaki Advanced Pass System パスの境界を分散させて、パス間の送り縞を目立ちにくくさせる機能です。

項目	設定値 *1	設定値 *2	内容
			MAPSを変更すると、色の変化がみられることがあります。 また、画像によっては効果が得られないことがあります。 * MAPSのバージョンは、機種によって異なります。
MAPS *	AUTO / MANUAL	-	通常は“AUTO”で使用してください。“MANUAL”に設定すると、以下の項目が表示されます。
速度	50 ~ 100 %	-	速度を下げると、縞が目立ちにくくなります。ただし、プリント速度が遅くなります。
スムージングレベル（カラー）	0 ~ 100 %	-	スムージングレベルを上げると、縞が目立ちにくくなります。カラーとスポットカラー（白）、それぞれ設定してください。
スムージングレベル（スポット）			
ヒーター	-	-	ヒーターの温度を設定します。☞「ヒーターの温度を設定する」（P. 60）
PRE	OFF / 20 ~ 50 °C	-	プリント前にメディアを予熱して、メディアの急激な温度変化を抑制します
PRINT	OFF / 20 ~ 50 °C	-	インクのにじみを抑制します。
POST	OFF / 20 ~ 50 °C	-	プリントしたインクを乾燥させます。
OFF時間	なし / 0 ~ 90 分	-	プリント後ヒーターを切るまでの時間を設定します。
メディア情報	-	-	メディアの情報を入力します。
メディアタイプ	-	-	使用するメディアタイプを選択します。選択できるメディアタイプは機種によって異なります。
メディア幅	-	-	メディア幅の検出方法を設定します。
検出方法	AUTO / MANUAL		• AUTO：センサーを使って、メディアの幅を自動で検出します。 • MANUAL：◀ ▶を押して、メディアの幅を手動で決定します。 – メディア幅が正しく検出できないときは、メディア幅の検出方法を“MANUAL”に設定してください。
メディア残量	-	-	リモートモードでロールメディア残量を表示、プリントすることができます。
メディア残量管理	ON / OFF	-	• ON：メディア幅検出後に、入力画面が表示されます。▲ ▼を押して、メディアの長さを設定します。 “原点設定”画面で[FUNC3]キーを押すと、日付とメディア残量をプリントすることができます。 • OFF：メディア残量は表示されません。
長さ	0 ~ 500 m	-	ロールメディアの長さを入力します。
詳細設定	-	-	各種機能を設定します。
吸着ファン	ホスト / 弱 / 標準 / 強	強	メディアを吸着する強さを設定します。 • メディアの浮きによるメディアジャムやプリントヘッド破損を防止できます。

項目	設定値		内容
	*1	*2	
常時動作	ON / OFF		• ON：常にメディアを吸着します。 • OFF：プリント実行中やメディアフィードなど、必要なときだけメディアを吸着します。
フィード速度	ホスト / 10 ~ 100 ~ 200 %	100	メディアの送り速度を設定します。 • プリント条件によっては、速度が変わらない設定値があります。 • 100%以上に設定した場合、プリント終了までの時間は短くなりますが、十分な乾燥時間が得られないため、画質に影響するおそれがあります。
メディア名称変更	-	-	設定タイプの名称を変更することができます。登録できる文字は、英数字および記号が使用することができます。
メディア削除	-	-	設定したメディア情報を削除します。

*1. お買い上げ時は下線の値に設定されています。

*2. RIP用 ソフトウェア（ ホスト） から設定できない、もしくは本機を優先設定しているときに使用される値です。

3.2 メンテナンスメニュー

メンテナンスにお使いいただくメニューです。そのほかにクリーニングやノズル洗浄をしてもノズル詰まりが直らないときに使用するノズルリカバリー機能を設定することができます。

● メニュー 一覧

項目	設定値*1	内容
ステーションメンテ	-	キャリッジを移動させて、ステーションやプリントヘッド周辺のメンテナンスをします。
キャリッジアウト	-	
プラテン右端まで移動	-	キャップやワイパー、NCUなどステーション周辺を清掃します。 ☞「キャップゴムの清掃」（P. 93） ☞「NCUの清掃」（P. 94）
メンテスペースまで移動	-	プリントヘッド周辺を清掃します。 ☞「キャリッジ底面の清掃」（P. 95） ☞「メディアセンサーの清掃」（P. 98） ☞「自動補正センサー（DAS）の清掃」（P. 96）
ノズル洗浄	1 ~ 99 min	プリントヘッドのノズル面をメンテナンス液で浸して、吐出不良（ノズル詰まり、飛行曲がりなど）を復旧します。☞「プリントヘッドのノズル洗浄」（P. 120）
ポンプチューブ洗浄	-	吸引ポンプチューブ（キャップ下）を洗浄します。☞「インク排出経路の洗浄」（P. 97）
保管洗浄	1 ~ 99 min	本機を長期間使わないときに実施します。ノズル洗浄と排路洗浄をして、本機を快適な状態に保ちます。☞「長期間使用しないときは」（P. 102）
ワイパーメンテ	-	ワイパーの交換・洗浄液トレイのメンテナンスを実施します。
ワイパー交換	-	ワイパーを交換するときに使用します。ワイパー交換をすると、本機で管理しているワイパー使用回数が初期化されます。☞「ワイパーの交換」（P. 104）
洗浄液トレイ清掃	-	洗浄液トレイの清掃をします。☞「洗浄液トレイの清掃」（P. 100）
洗浄トレイ充填	-	洗浄液トレイにメンテナンス液を補充します。
キャップ交換	-	キャップを交換するときに使用します。キャップを交換すると、本機で管理しているキャップ使用期間が初期化されます。☞「キャップの交換」（P. 105）
テストプリント	-	テストパターンをプリントして、インクが正常に吐出されているかどうかを確認します。吐出不良（ノズル詰まり、飛行曲がりなど）があった場合は、ヘッドクリーニングを実施してください。 ☞「テストプリントをする」（P. 61）
クリーニング	-	ヘッドクリーニングには、いくつかのタイプがあります。テストプリントの結果によって使い分けてください。☞「ヘッドクリーニングをする」（P. 63）
ノズルリカバリ	-	ノズル洗浄などメンテナンスしても吐出不良（ノズル詰まり、飛行曲がりなど）が直らない場合、他のノズルを使ってプリントさせることができます。
プリント	-	パターンをプリントして、ノズルの状態を確認、登録します。☞「ノズルリカバリーを登録する」（P. 79）
登録	-	パターンをプリントせずに、ノズルを登録します。
リセット	-	設定した内容を初期化します。

項目	設定値[*1]	内容
テストプリント	ON / OFF	テストプリントにノズルリカバリーをしてプリントをするかどうかを設定します。
ノズルチェック	-	☞「ノズルチェックとは」（P. 81）
印刷中チェック	ON / OFF	プリントが開始される前に、自動でノズル詰まり検出動作を実行します。
チェック間隔	-	ノズル詰まり検出動作のタイミングを設定します。
距離	0.1 ~ 30.0 ~ 100.0 m	設定した距離に達したあとに、次のプリントが開始されるタイミングでノズル詰まり検出動作を実行します。
ファイル	1 ~ 30 ~ 1,000 ファイル	設定した数のファイルをプリントしたあとに、次のプリントが開始されるタイミングでノズル詰まり検出動作を実行します。
プリント継続	停止 / 継続	"ノズル詰まり"と判定された場合、プリントを継続するか停止するかを選択します。
復旧動作	OFF / 1 ~ 10 ~ 100	"ノズル詰まり"と判定された場合、復旧動作（クリーニング > ノズルチェック）を実行します。
クリーニング	ソフト / ノーマル / ハード	クリーニングタイプを設定します。
リトライ回数	0 ~ 3 回	指定回数分、復旧動作（クリーニング > ノズルチェック）を実行します。
自動ノズルリカバリ	ON / OFF	"ノズル詰まり"と判定された場合、自動でノズルリカバリーを実行します。手動で設定したいときは、以下を参照してください。 ☞「ノズルリカバリーを登録する」（P. 79）
判定条件[*2]	OFF / 1 ~ 64 ノズル	”ノズル詰まり"と判定するノズル数を設定します。1 ノズル列あたり16ノズルまで設定することができます。 連続プリント実行中に ”ノズル詰まり”と判定された場合、次のプリントは開始されません。
オートメンテナンス	-	各種メンテナンスを自動で実行するように設定します。各メンテナンスを実行する間隔を設定してください。 • ワーニングメッセージ“廃インクタンク交換”が表示されていると、オートメンテナンス機能が実行できません。☞「廃インクタンクの交換」（P. 113）
リフレッシュ	0.5 / 1.0 h	リフレッシュ（プリントヘッドのノズルから、少量のインクを吐出）する間隔を設定します。
ノズル洗浄	48h / OFF/1 ~ 168 h	ヘッドノズル洗浄の動作間隔を設定します。 放置時間を設定すると、ノズル面をメンテナンス液に浸した後、洗浄します。ノズル詰まりを防止します。
クリーニング間隔	AUTO/ MANUAL	プリントヘッドをクリーニングする間隔を設定します。ノズル詰まりを防止する効果があります。 • AUTO：実行間隔を自動で設定します。 • MANUAL：実行間隔を手動で設定します。
クリーニング間隔	6h /1 ~ 48h	MANUAL設定時の実行間隔を設定します。
タイプ	ノーマル / ソフト / ハード	ヘッドクリーニングをするときのクリーニングタイプを設定します。
起動時クリーニング		設定した期間、装置未使用（プリント動作が行われなかった）の場合、電源ON時にNCUによるノズルチェックを実施し、ノズル抜け状況に応じてメンテナンスを自動的に実行します。

項目	設定値*1	内容
未使用期間	5日/OFF/1 - 10日	未使用期間を設定します。
プリント中メンテ	-	プリントの途中に自動実行するメンテナンスを設定します。
オートクリーニング	-	設定値を超えたファイルがプリント終了したあとに、ヘッドクリーニングをさせる条件を設定します。
設定	ファイル / 距離 / 時間 / OFF	ヘッドクリーニングをさせる条件を設定します。
間隔	-	ヘッドクリーニングをさせる間隔を設定します。
（ファイル）	1 ~ 1,000	設定したファイル数を超えるとクリーニングを実行します。
（距離）	0.1 ~ 100.0 m	設定したプリント長さを超えるとクリーニングを実行します。
（時間）	10 ~ 240 min	設定したプリント時間を超えるとクリーニングを実行します。
タイプ	ノーマル / ソフト / ハード	ヘッドクリーニングをするときのクリーニングタイプを設定します。
定期ワイピング	OFF / 3 ~ 255 min	設定したプリント時間を超えるとワイピングを実行します。
リフレッシュ	弱 / 標準 / 強	プリント実行中のリフレッシュ（フラッシング）タイプを選択します。
廃インクタンク	-	廃インクタンクの使用カウントを初期化、もしくは補正します。☞「廃インクタンクの交換」（P. 113）
廃インク量リセット	-	廃インクタンクの使用カウントを初期化します。☞「廃インクタンクを交換する」（P. 113）
廃インク量補正	-	廃インクタンクの使用カウントを補正します。☞「メッセージ“廃インクタンク確認”が表示されたら」（P. 113）
タンク容量	-	廃インクタンクの容量を表示しています。
インク残量補正	-	インク残量カウントを補正します。
ホワイトメンテナンス	ノーマル/ハード	ホワイトのノズル詰まりやインク経路内に混入したエアーを排出し、ホワイトインクのコンディションを整えます。 • ノーマル：ホワイトのノズル詰まりが解消されない場合に実行してください。 • ハード：ぼた落ち・染み出しなど異常が起きた場合に実行してください。

*1. お買い上げ時は下線の値に設定されています。

ノズルリカバリーを登録する

ノズル洗浄などメンテナンスしても吐出不良（ノズル詰まり、飛行曲がりなど）が直らない場合、他のノズルを使ってプリントさせることができます。

- ノズルリカバリーを1ノズル列あたり10個まで登録できます。ノズルリカバリーを設定しても、プリント時間は変わりません。

- 幅500mm以上のメディアをセットしてください。幅500mm未満のメディアをセットした場合、プリントが途切れてしまうおそれがあります。
- NCUが汚れていると正常に作動しないおそれがあります。☞「NCUの清掃」（P. 94）

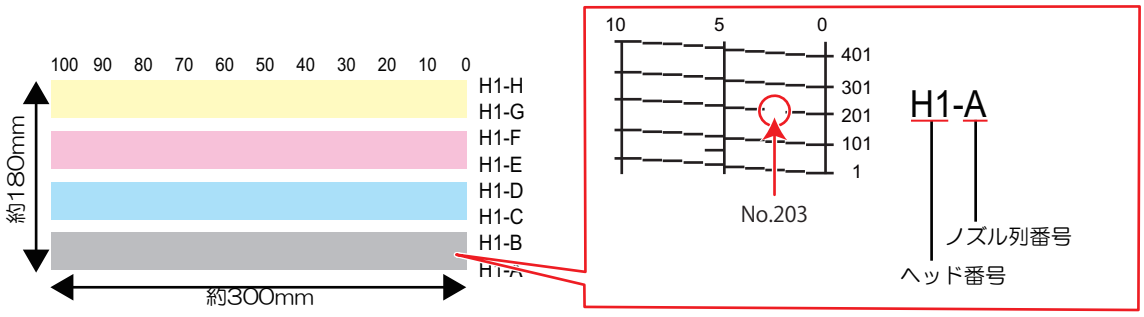
1 メディアをセットする。

2 ローカルモード画面から[MENU] > [メンテナンス]を選択して、[ENTER]キーを押す。

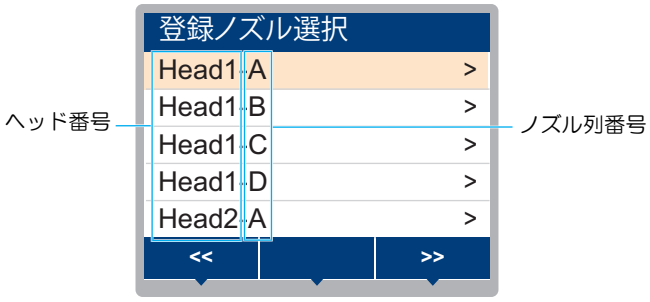
- メンテナンスメニューが表示されます。

3 [ノズルリカバリ] > [プリント]を選択して、[ENTER]キーを押す。

- ノズルリカバリーパターンをプリントします。
- プリントが終了したあとに、登録ノズル選択画面が表示されます。

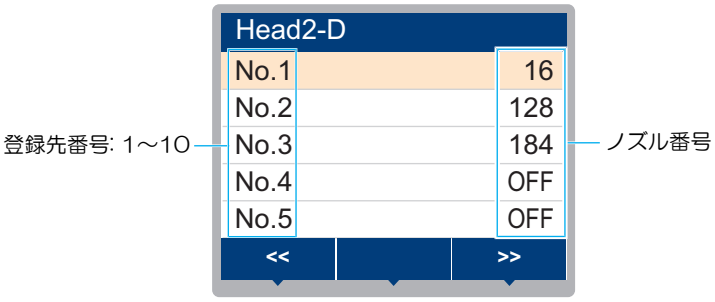


4 ノズルリカバリーをしたい"ヘッド番号-ノズル列番号"を選択して、[ENTER]キーを押す。



5 ノズルリカバリーをしたい"ノズル番号"を入力して、[ENTER]キーを押す。

- 登録先の番号を選択してから、"ノズル番号"を入力します。
- ノズルリカバリーが設定されます。

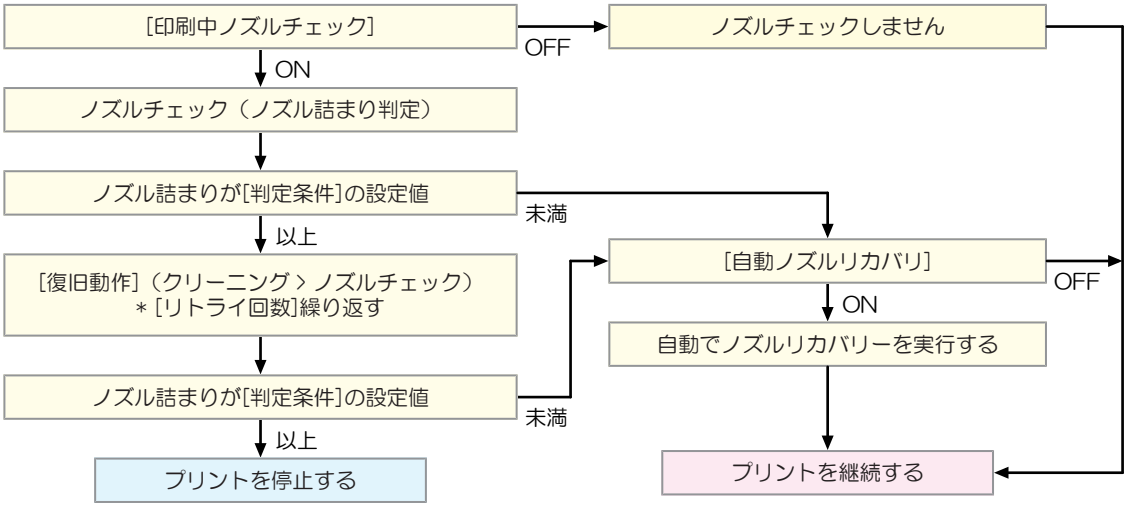


6 登録が終了したあとに、[ENTER]キーを押す。

- [メンテナンス] > [ノズルリカバリ] > [テストプリント]をONに設定すると、ノズルリカバリーされてテストプリントされます。テストプリントをする

ノズルチェックとは

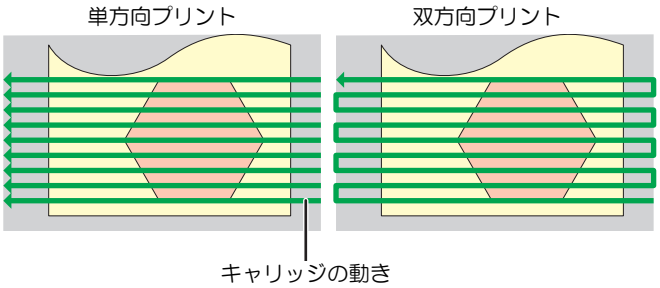
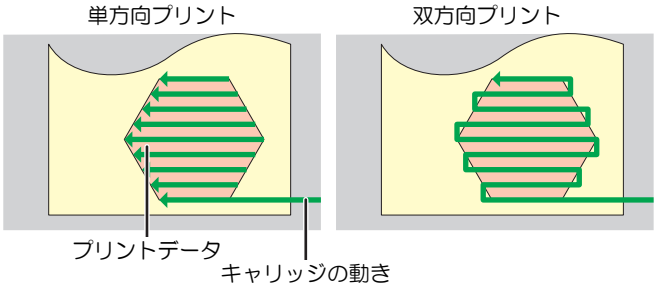
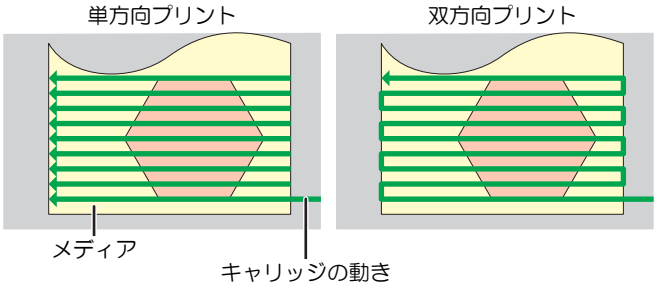
プリントが開始される前に、ノズル詰まりがあるかどうかをチェックします。ノズル詰まりがあった場合、自動でメンテナンス機能を実行させるかどうかを設定します。



3.3 機能設定メニュー

本機を快適にお使いいただくために各種オペレーションを設定することができます。

● メニュー 一覧

項目	設定値*1	内容
ロジカルシーク	ホスト / OFF / ON / メディア幅	キャリッジの可動範囲を設定します。 • OFF：マシンサイズ領域  • ON：プリントデータ領域  • メディア幅：メディアサイズ領域 
繰出ユニット	ON / OFF	繰出ユニット使用するかどうかを設定します。 繰出しユニットを使わない場合は、OFFにしてください。 • 設定を変更後、トルクリミッターを変更する必要があります。☞「繰出ユニットについて」（P. 53）
乾燥時間	-	インクを乾燥させる時間を設定します。
スキャン	ホスト / 0.0 ~ 9.9 sec	キャリッジがスキャンするごとに、キャリッジを停止させる時間を設定します。 • 弊社RIP用ソフトウェア（RasterLink）は、”スキャン毎の乾燥時間”と表示しています。
プリントエンド	ホスト / 0 ~ 120 min	プリントしたあとの停止時間を設定します。設定した時間を超えると次のデータをプリントします。 • 弊社RIP用ソフトウェア（RasterLink）は、プリントエンドの指定ができません。本機を"ホスト"に設定すると、時間は"0分"になります。
電源設定	-	自動で電源ON / OFFする時間を設定します

項目	設定値*1	内容
オートパワーオフ	5 ~ 15 ~ 60 min	自動で電源を切る時間を設定します。
オートパワーオン	-	自動で電源を入れる時間を設定します。
設定	ON / OFF	電源を入れるかどうかを設定します。
時刻	0:00 ~ 23:59	電源を入れる時刻を設定します。
曜日	月 ~ 日	曜日ごとに、電源を入れる/入れないを設定します。
ノズルチェック	ON / OFF	オートパワーオンで起動されたとき、自動でノズルチェック機能を実行します。"ノズル詰まり"と判定された場合、復旧動作（クリーニング > ノズルチェック）を実行します。
クリーニング	ソフト / ノーマル / ハード	クリーニングタイプを設定します。
リトライ回数	0 ~ 3 回	指定回数分、復旧動作（クリーニング > ノズルチェック）を実行します。
余白設定	-	メディア左右の標準余白（15mm）からオフセットする値を設定します。 • メディア押さえを使用する場合、左右のマージンを-5mm以上に設定してください。メディア押さえの上にプリントをするおそれがあります。 • 弊社RIP用ソフトウェア（RasterLink）は、マージンの指定ができません。本機を"ホスト"に設定すると、左右のマージンはオフセット値が"0mm"になります。
マージン	-	
マージン / 左	ホスト / -10 ~ 85 mm	
マージン / 右		
ページ間余白	無し / 0~500mm	連続プリントのとき、プリント間の余白を削減することができます。 • 余白の長さを短くすると、メディアにたるみが生じて、メディアの送り量が変わってしまうおそれがあります。 • フィード方向のデータサイズやパス数によって、設定した値より余白が広くなる場合があります。
余白フィード方式	間欠 / 連続	画像データに含まれる余白部分のフィード方式を変更します。 • 間欠：パス分割単位での間欠フィード動作する。 • 連続：データがない部分を一度にフィードする。
確認フィード	ON / OFF	テストプリントなどのプリント結果を確認するために、メディアを前方向にフィードさせるかどうかを設定します。
カット前フィード	ON / OFF	メディアカット前のメディアフィードをするかどうかを設定します。
自動リモート	ON / OFF	ローカルモードのときにデータを受信すると、自動的にリモートモードへ移行してプリントを開始するかどうかを設定します。

*1. お買い上げ時は下線の値に設定されています。

3.4 環境設定メニュー

本機を快適にお使いいただくために各種オペレーションを設定することができます。

● メニュー 一覧

項目		設定値*1	内容
LANGUAGE		English / 日本語 / 中文 / Turkce / Português / Español / Italiano / Korean	表示言語を設定します。
時刻設定		-20 ~ 0 ~ +4 h	現在の日付と時刻を設定します。（日本時間基準） • -20 ~ +4 時間の間で設定できます。
キーブザー		ON / OFF	キーを押したときのブザー音を設定します。 • “OFF”に設定しても、エラー / 警告 / 動作完了等のブザー音を消すことはできません。
単位表示設定		-	表示単位を設定します。
	温度	°C / °F	温度の表示単位（摂氏/華氏）を設定します。
	長さ	mm / inch	長さ、面積の表示単位を設定します。 • “inch”に設定しても、"mm"単位で表示している項目もあります。
ネットワーク		-	ネットワークのアドレスを設定します。設定を有効にするには、本機の再起動が必要です。
	IPアドレス確認	-	本機が使用中のIPアドレスが表示されます。 • IPアドレスが確定するまで、時間がかかります。IPアドレスが未確定の場合、”0.0.0.0”と表示されます。
	MACアドレス確認	-	本機が使用中のMACアドレスが表示されます。
	DHCP	ON / OFF	"ON"の場合、DHCPサーバーより与えられたIPアドレスが使用されます。
	AutoIP	ON / OFF	"ON"の場合、AutoIPプロトコルにより使用するIPアドレスが決定されます。ただし、DHCPが”ON”の場合は、DHCPが優先されます。
	IPアドレス	-	本機が使用するIPアドレスを設定します。 • [DHCP]、[AutoIP] が両方とも"OFF"の場合に設定することができます。
	デフォルト ゲートウェイ	-	本機が使用するデフォルトゲートウェイを設定します。 • [DHCP]、[AutoIP] が両方とも"OFF"の場合に設定することができます。
	DNS アドレス	-	本機が使用するDNSサーバーのアドレスを設定します。 • [DHCP]、[AutoIP] が両方とも"OFF"の場合に設定することができます。
	サブネット マスク	-	本機が使用するサブネットマスクの桁数を設定します。 • [DHCP]、[AutoIP] が両方とも"OFF"の場合に設定することができます。
リモートコントロール		-	リモートコントロール機能をご利用になる場合は、アプリケーション（MRA：Mimaki Remote Access）が必要になります。MRAは、コンピューターやスマートフォンにインストールして、本機から離

項目		設定値*1	内容
			れた場所（同一セグメントのネットワーク内）でも、本機の情報をみることができたり、パネル操作を可能にするリモートアクセスツールです。
	設定	有効 / 無効	リモートコントロールの有効/無効を設定します。
	PINコード	0000 ~ 9999	MRAと同じPINコードを入力します。PINコードは、本機とMRA間の認証に使用します。 • 本機を“0000”に設定すると、MRAがどんなPINコードでも本機にアクセスできるようになります。
	キーライフタイム	5 ~ 30 ~ 120 min	一定時間MRAを操作しなかったときに、本機とMRAの接続を解除する時間を設定します。
マシンリセット		-	設定した内容を初期化します。

*1. お買い上げ時は下線の値に設定されています。

3.5 マシンステータスメニュー

本機の各種情報を確認することができます。

● メニュー 一覧

項目		内容
使用状況	ワイピング	ワイピングした回数が表示されます。 • 表示中に[FUNC2]キーを押すと、使用回数を初期化することができます。
	キャップ使用	キャップを交換してからの経過日数が表示されます。
	廃インクタンク	廃インクタンクに溜まっている廃インク量の目安（%）が表示されます。 • 表示中に[FUNC1]キーを押すと、廃インク量を初期化することができます。
	プリント長	累積されたプリント長さが表示されます。
	プリント面積	累積されたプリント面積が表示されます。
	使用時間	累積された電源オンの時間が表示されます。
メンテナンス履歴	メンテナンス	各メンテナンス機能の実施履歴が表示されます（最大10件）。 • クリーニング☞ P. 63、洗浄ワイプ☞ P. 63、ポンプチューブ洗浄☞ P. 97、ノズル洗浄☞ P. 120、循環
	ワイパー交換	ワイパーの交換履歴が表示されます（最大5件）。☞ P. 104
	インク交換	各インクスロットのインクパックを交換履歴が表示されます（最大5件）。☞「インクを交換する」（P. 41） • スロット1 - 16
バージョン		本機のファームウェア、その他のバージョンが表示されます。
エラー履歴		エラー、ワーニングの履歴が表示されます。 • 発生順に発生日時とエラー、ワーニング情報をキー操作で切り替えて表示します。
リスト		本機の情報をプリントすることができます。

第 4 章　メンテナンス

この章では...

本機の精度を保ちながら末永くお使いいただけるように、使用頻度に応じて定期的にお手入れをしてください。
メンテナンスに関する注意事項をよくお読みになってから、お手入れをしてください。

メンテナンスに関するご注意.....88
メンテナンスの方法.....89
　メンテナンス項目とタイミング..... 89
　インクのメンテナンス..... 90
　ワイパーの清掃..... 91
　キャップゴムの清掃..... 93
　NCUの清掃..... 94
　キャリッジ底面の清掃..... 95
　自動補正センサー（DAS）の清掃..... 96
　インク排出経路の洗浄..... 97
　メディアセンサーの清掃..... 98
　メディア押さえの清掃..... 99
　プラテンの清掃..... 99
　洗浄液トレイの清掃..... 100
　カバー（外装）の清掃..... 101
　長期間使用しないときは..... 102
消耗品の交換.....104
　ワイパーの交換.....104
　キャップの交換.....105
　排気ファンフィルターの交換.....107
　ピンチローラーの交換.....108
　メディア押さえの交換.....109
　メディア裁断カッターの交換.....111
　廃インクタンクの交換.....113
インクカートリッジの補正.....116
　インクカートリッジの重量を補正する.....116

4.1 メンテナンスに関するご注意

- 定期的に交換しなければならない部品がありますので、保守契約をしていただくことをお勧めします。また品質不良や事故を未然に防ぐために、定期的にメンテンスしたり、消耗品を交換したりしてください。

⚠ 警 告

- 定期的に清掃してください。本機を長年使用していると、電気部品にゴミやホコリがたまってしまいます。漏電による本機の故障や感電、もしくは火災につながるおそれがあります。
- エアブローなどエア吹き付けによる清掃はしないでください。飛散したゴミやホコリが電気部品に侵入して、本機の故障や感電、もしくは火災につながるおそれがあります。柔らかい布に水で薄めた中性洗剤を含ませて、固く絞ってからふき取ってください。もしくは、掃除機などで吸い取ってください。

- 本機の内部に液体が入らないように注意してください。本機の故障や感電、もしくは火災につながるおそれがあります。

⚠ 注 意

- 汚れが目立つときは、柔らかい布に水で薄めた中性洗剤を含ませて、固く絞ってからふき取ってください。

- インクやメンテナンス液、廃インク、そのほか本機で使用されている液体を取り扱うときは、換気に十分注意して、必ず保護メガネ、手袋、マスクなどを着用してください。インクなどの液体が跳ねて、皮膚に付着したり、目や口の中に入ったりするおそれがあります。

注 記

- プリントヘッドのノズル面には、絶対に触れないでください。また、水やアルコールを付着させないでください。本機の故障や吐出不良（ノズル詰まり、飛行曲がりなど）の原因になります。
- ヘッドの周辺やキャリッジの周辺を清掃するときは、綿棒を使わないでください。綿棒の繊維がヘッドノズル面に付着すると、吐出不良（ノズル詰まり、飛行曲がりなど）の原因になります。
- カバーにインクやメンテナンス液を付着させないでください。カバーの表面が変質したり、変形したりする原因になります。
- ベンジン、シンナーや研磨剤の入った薬品は使用しないでください。部品が変質したり、変形したりする原因になります。
- アセトン、IPAなどの有機溶剤は使用しないでください。本機が故障する原因になります。
- キャリッジを手動で移動しないでください。キャリッジを移動したいときは、メニューからキャリッジアウトを実行してください。

4.2 メンテナンスの方法

メンテナンス項目とタイミング

タイミング	項目
定期的に	インクカートリッジを振ってください。☞「インクのメンテナンス」（P. 90）
一日の作業開始前	ワイパーとワイパーブラケットを清掃してください。☞「ワイパーの清掃」（P. 91）
	キャップゴムを清掃してください。☞「キャップゴムの清掃」（P. 93）
	キャリッジの底面を清掃してください。☞「キャリッジ底面の清掃」（P. 95）
1週間の作業が終わったとき	ワイパーとワイパーブラケットを清掃してください。☞「ワイパーの清掃」（P. 91）
	キャップゴムを清掃してください。☞「キャップゴムの清掃」（P. 93）
	NCUを清掃してください。☞「NCUの清掃」（P. 94）
	キャリッジの底面を清掃してください。☞「キャリッジ底面の清掃」（P. 95）
	DASセンサーを清掃してください。☞「自動補正センサー（DAS）の清掃」（P. 96）
	インク排出の経路を清掃してください。☞「インク排出経路の洗浄」（P. 97）
	メディアセンサーを清掃してください。☞「メディアセンサーの清掃」（P. 98）
	メディア押さえを清掃してください。☞「メディア押さえの清掃」（P. 99）
	プラテンを清掃してください。☞「プラテンの清掃」（P. 99）
	カバー（外装）を清掃してください。☞「カバー（外装）の清掃」（P. 101）
	廃インクタンクの廃インク量を確認してください。☞「廃インクタンクを交換する」（P. 113）
1か月に1回程度	洗浄液トレイを清掃してください。☞「洗浄液トレイの清掃」（P. 100）
1週間以上使わないとき	ワイパーの清掃、キャップの清掃、インク排出経路の洗浄をしてください。清掃が終了した後は、主電源は切らずに保管してください。☞「長期間使用しないときは」（P. 102）

メンテナンスに必要な道具

消耗品は、販売店、またはお近くの弊社営業所にてお買い求めください。消耗品は、弊社ウェブサイト（https://japan.mimaki.com/supply/inkjet.html）にてご覧になれます。

- 消耗品を子供が立ち入るおそれのある場所に保管しないでください。

インクのメンテナンス

インクに含まれている成分が沈降すると、インクの濃度が不均等になってしまうおそれがあります。安定してプリントしていただくために、定期的にインクカートリッジを振っていただくことをお勧めします。

● ホワイトインク：40回

- 電源オン状態で24 時間が経過した場合
- 電源オン時にワーニングメッセージ“Whiteカートリッジを振ってください” を表示した場合

- ホワイトインクは、3日以上経過した場合、100回振ってください。
- ホワイトインクの成分は沈殿しやすいため、定期的に振ってください。また、印刷する前に必ず振ってください。

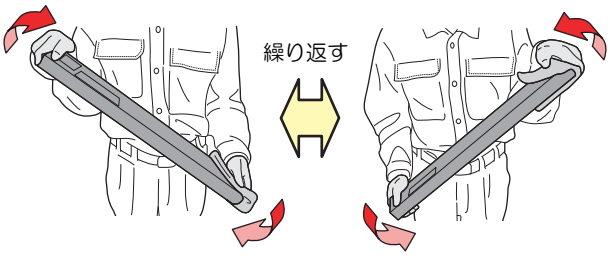
● それ以外：20回

- 1週間に一度、始業前に必ずメンテナンスを実行してください。

● インクカートリッジを振る

1 インクカートリッジをゆっくりと左右に振る。

- インクを流すように左右に振ってください。



重要！
- インクカートリッジは強く振りすぎないように注意してください。強く振りすぎると内部のパックを傷つけて、インク漏れの原因となります。

- 使いかけのインクカートリッジの場合は、インクカートリッジの挿し込み口と側面の隙間を紙タオルなどで押さえて、インクカートリッジが縦になるまで傾けてゆっくりと振ってください。

ワイパーの清掃

ワイパーは、プリントヘッドのノズル面に付着したインクを拭き取っています。汚れたまま使い続けると、固まったインクやホコリの付着したワイパーがノズル面を傷つけて、吐出不良（ノズル詰まり、飛行曲がりなど）のおそれがあります。

- クリーンスティックの欠片が残らないように清掃してください。欠片が残っていると、吐出不良（ノズル詰まり、飛行曲がりなど）の原因になります。

1 **ローカルモード画面から[MENU] > [メンテナンス]を選択して、[ENTER]キーを押す。**

- メンテナンスメニューが表示されます。

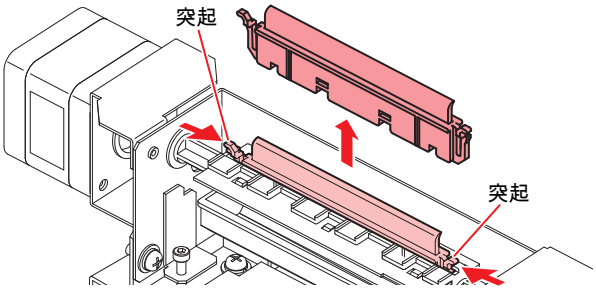
2 **[ステーションメンテ] > [キャリッジアウト] > [プラテン右端まで移動]を選択して、[ENTER]キーを押す。**

- キャリッジがプラテン上に移動します。

3 **正面カバーを開く。**

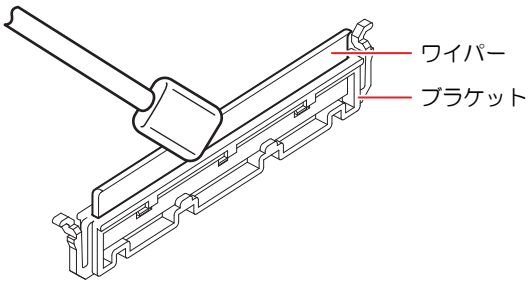
4 **ワイパーを外す。**

- ワイパーブラケットの両端の突起を押しながら引き抜きます。



5 **ワイパーとブラケットを清掃する。**

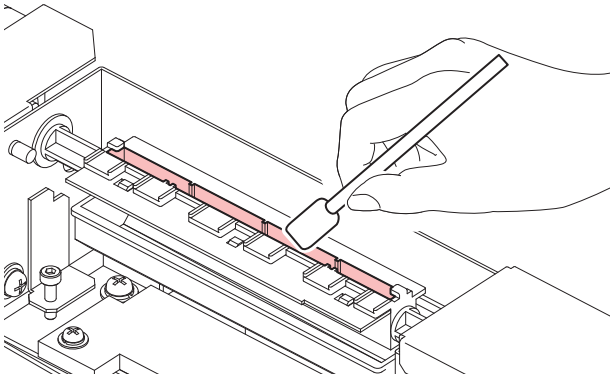
- メンテナンス液を含ませたクリーンスティックで、付着したインクやホコリを拭き取ります。メンテナンス液が残らないように拭き取ってください。



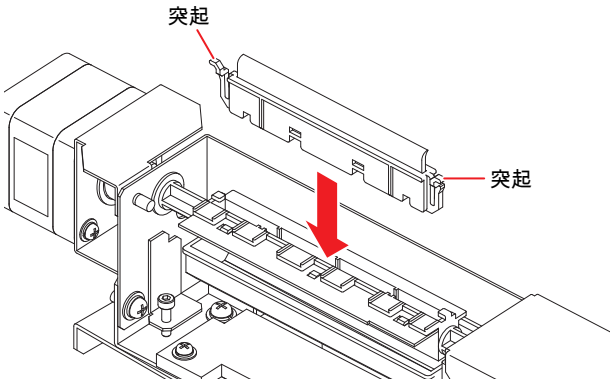
- ワイパーの汚れや反りが激しいときは、新しいワイパーに交換してください。☞「ワイパーの交換」（P. 104）

6 ワイパーホルダーを清掃する。

- 下図の赤部の溝の中にクリーンスティックを入れて清掃してください。



7 ワイパーを元の位置にセットする。



8 清掃が終わったらカバーを閉めて、**[ENTER]**キーを押す。

キャップゴムの清掃

キャップは、プリントヘッドのノズル面を乾燥から守る役割りがあります。汚れたまま使い続けると、インクの吸引が正常にできなくなって、吐出不良（ノズル詰まり、飛行曲がりなど）のおそれがあります。

- クリーンスティックの欠片が残らないように清掃してください。欠片が残っていると、吐出不良（ノズル詰まり、飛行曲がりなど）の原因になります。

1 **ローカルモード画面から[MENU] > [メンテナンス]を選択して、[ENTER]キーを押す。**

- メンテナンスメニューが表示されます。

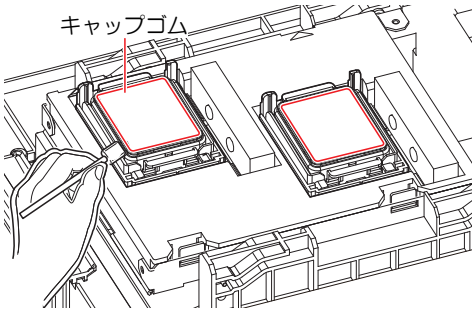
2 **[ステーションメンテ] > [キャリッジアウト] > [プラテン右端まで移動]を選択して、[ENTER]キーを押す。**

- キャリッジがプラテン上に移動します。

3 **正面カバーを開く。**

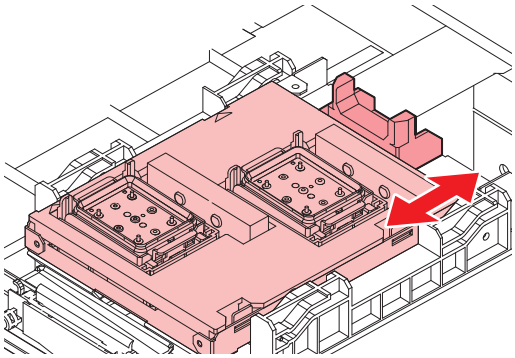
4 **キャップゴムを清掃する。**

- メンテナンス液を含ませたクリーンスティックで、付着したインクやホコリを拭き取ります。メンテナンス液が残らないように拭き取ってください。



5 **清掃が終わったら、キャップスライダーの傾きを確認する。**

- キャップスライダーが傾いている場合、スライダーブロックを左右へ動かして、傾きを直してください。



6 **正面カバーを閉めて、[ENTER]キーを押す。**

NCUの清掃

NCUは、プリントヘッドのノズルから吐出インク滴をセンサーで監視しています。汚れたまま使い続けると、ノズルチェック機能が正常に動作しないおそれがあります。

- クリーンスティックの欠片が残らないように清掃してください。欠片が残っていると、吐出不良（ノズル詰まり、飛行曲がりなど）の原因になります。

1 **ローカルモード画面から[MENU] > [メンテナンス]を選択して、[ENTER]キーを押す。**

- メンテナンスメニューが表示されます。

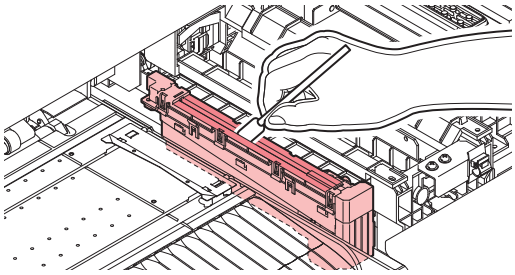
2 **[ステーションメンテ] > [キャリッジアウト] > [プラテン右端まで移動]を選択して、[ENTER]キーを押す。**

- キャリッジがプラテン上に移動します。

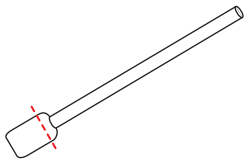
3 **正面カバーを開く。**

4 **NCUを清掃する。**

- メンテナンス液を含ませたクリーンスティックで、付着したインクやホコリを拭き取ります。メンテナンス液が残らないように拭き取ってください。



- クリーンスティックは、イラストの位置まで挿し込んでください。



5 **清掃が終わったらカバーを閉めて、[ENTER]キーを押す。**

キャリッジ底面の清掃

キャリッジ底面は、ワイパーで拭き取ったインクが付着しています。汚れたまま使い続けると、固まったインクや付着したホコリがメディアをこすり付けて、成果物を汚してしまう原因になります。

また、プリントヘッドは非常に微細なメカニズムを採用しております。お手入れの際には十分な注意が必要です。

- クリーンスティックの欠片が残らないように清掃してください。欠片が残っていると、吐出不良（ノズル詰まり、飛行曲がりなど）の原因になります。

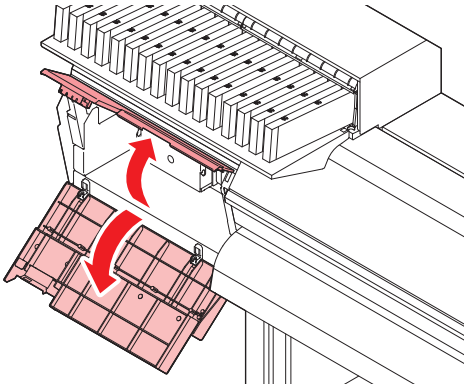
1 **ローカルモード画面から[MENU] > [メンテナンス]を選択して、[ENTER]キーを押す。**

- メンテナンスメニューが表示されます。

2 **[ステーションメンテ] > [キャリッジアウト] > [メンテスペースまで移動]を選択して、[ENTER]キーを押す。**

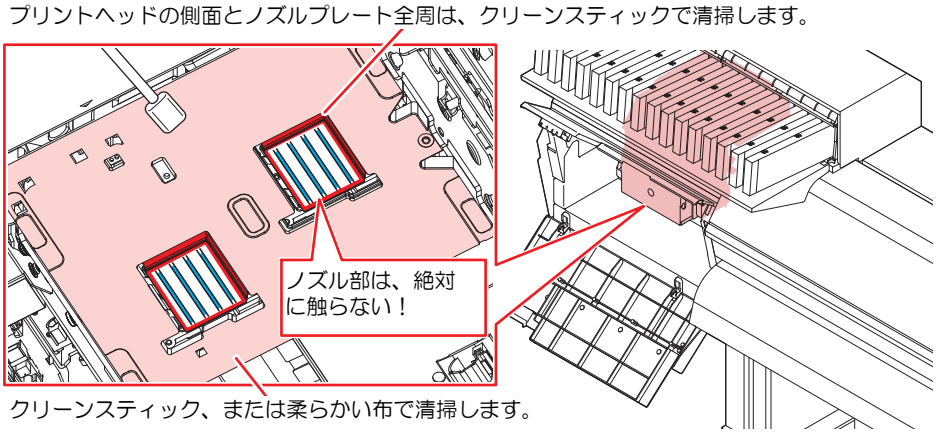
- キャリッジがメンテナンススペースに移動します。

3 **メンテナンスカバーを開く。**



4 **プリントヘッド周辺を清掃する。**

- メンテナンス液を含ませたクリーンスティックで、付着したインクやホコリを拭き取ります。メンテナンス液が残らないように拭き取ってください。



- プリントヘッドのノズル面には、絶対に触れないでください。

5 **清掃が終わったらカバーを閉めて、[ENTER]キーを押す。**

自動補正センサー（DAS）の清掃

キャリッジ底面に、DASセンサーが付いています。センサーにホコリやゴミがたまると、自動補正機能（ドットの着弾位置を自動で補正 ）が実行できないおそれがあります。

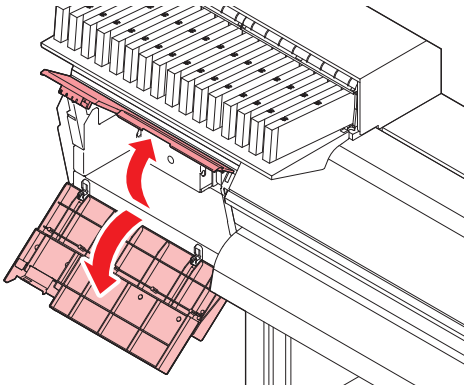
1 **ローカルモード画面から[MENU] > [メンテナンス]を選択して、[ENTER]キーを押す。**

- メンテナンスメニューが表示されます。

2 **[ステーションメンテ] > [キャリッジアウト] > [メンテスペースまで移動]を選択して、[ENTER]キーを押す。**

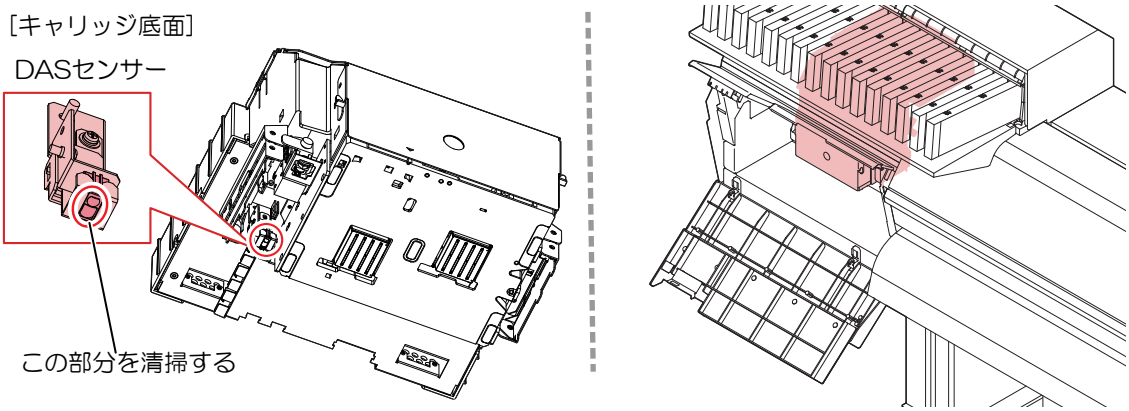
- キャリッジがメンテナンススペースに移動します。

3 **メンテナンスカバーを開く。**



4 **DASセンサーを清掃する。**

- 綿棒や柔らかい布で拭き取ってください。



- 汚れが目立つときは、柔らかい布に水で薄めた中性洗剤を含ませて、固く絞ってからふき取ってください。

5 **清掃が終わったらカバーを閉めて、[ENTER]キーを押す。**

インク排出経路の洗浄

キャップ下のインク排出経路のインク詰まりを防止するため、定期的にインク排路の洗浄をしてください。

1 **ローカルモード画面から[MENU] > [メンテナンス]を選択して、[ENTER]キーを押す。**

- メンテナンスメニューが表示されます。

2 **[ステーションメンテ] > [ポンプチューブ洗浄]を選択して、[ENTER]キーを押す。**

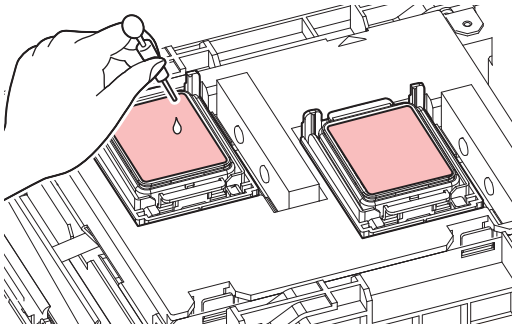
- キャップにメンテナンス液が満たされます。

- 正面カバーを閉めてください。正面カバーが閉まっていないと、メンテナンス液を満たすことができません。また、メンテナンス液カートリッジの残量がない場合は、メンテナンス液を満たすことができません。

3 **正面カバーを開く。**

- キャップいっぱいにメンテナンス液が満たされているかどうかを確認する。

- メンテナンス液が満たされていない場合は、スポイトにメンテナンス液をとって、キャップからあふれる寸前までメンテナンス液を満たしてください。

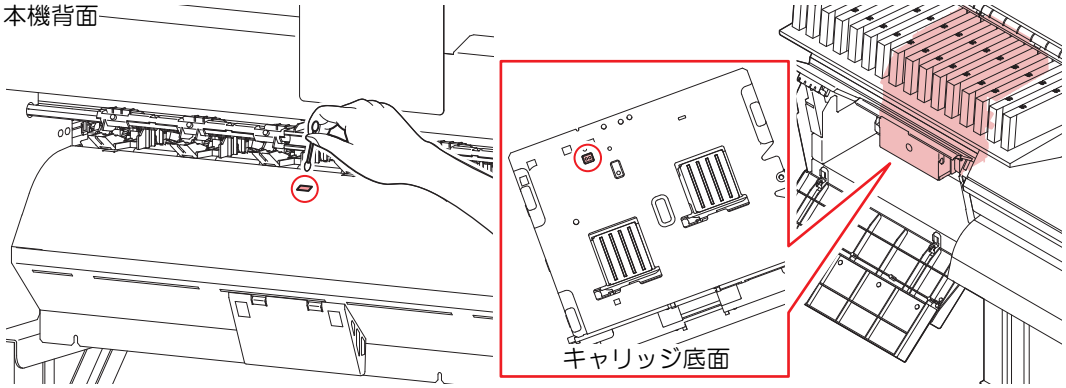


4 **正面カバーを閉めて、[ENTER]キーを押す。**

- ポンプチューブ（キャップ下のインク排出経路）の洗浄を開始します。

メディアセンサーの清掃

背面側のリアカバーとキャリッジ底面に、メディアセンサーが付いています。センサーにホコリやゴミがたまると、メディアの誤検出の原因になります。綿棒や柔らかい布で取り除いてください。



● キャリッジ底面のセンサーを清掃するときは

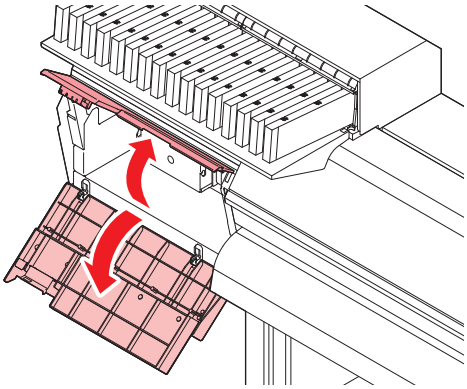
1 ローカルモード画面から**[MENU] > [メンテナンス]**を選択して、**[ENTER]**キーを押す。

- メンテナンスメニューが表示されます。

2 **[ステーションメンテ] > [キャリッジアウト] > [メンテスペースまで移動]**を選択して、**[ENTER]**キーを押す。

- キャリッジがメンテナンススペースに移動します。

3 メンテナンスカバーを開く。



4 メディアセンサーを清掃する。

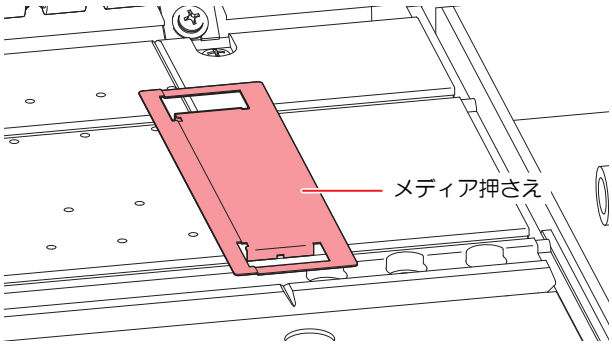
5 清掃が終わったらカバーを閉めて、**[ENTER]**キーを押す。

メディア押さえの清掃

- 主電源を切って電源ケーブルを抜いてからメンテナンスをしてください。

- 本機の内部に液体が入らないように注意してください。本機の故障や感電、もしくは火災につながるおそれがあります。

汚れたまま使い続けると、メディアが正しくフィードできなくなります。また、固まったインクや付着したホコリがヘッドノズル面をこすり付け、吐出不良（ノズル詰まり、飛行曲がりなど）の原因になります。



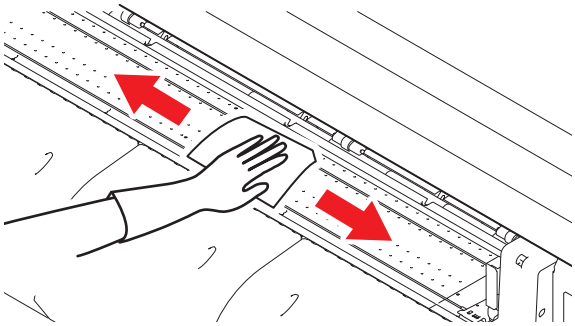
- 汚れが目立つときは、柔らかい布に水で薄めた中性洗剤を含ませて、固く絞ってからふき取ってください。

プラテンの清掃

- 主電源を切って電源ケーブルを抜いてからメンテナンスをしてください。

- 本機の内部に液体が入らないように注意してください。本機の故障や感電、もしくは火災につながるおそれがあります。

汚れたまま使い続けると、メディアが正しくフィードできなくなります。また、固まったインクや付着したホコリがヘッドノズル面をこすり付け、吐出不良（ノズル詰まり、飛行曲がりなど）の原因になります。



- メディア押さえをスライドする溝やメディアを裁断する溝は、ゴミがたまりやすい場所です。丁寧にゴミを取り除いてください。

- 汚れが目立つときは、柔らかい布に水で薄めた中性洗剤を含ませて、固く絞ってからふき取ってください。

洗浄液トレイの清掃

1 ローカルモード画面から[MENU] > [メンテナンス] を選択して、[ENTER]キーを押す。

- メンテナンスメニューが表示されます。

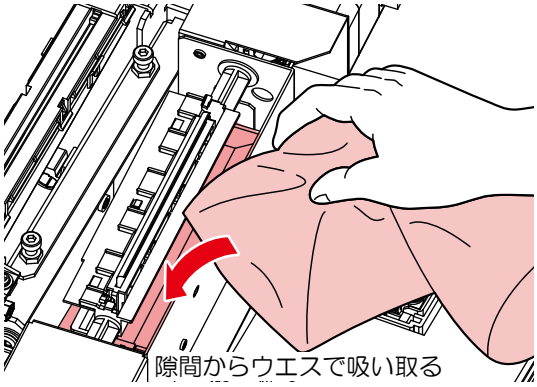
2 [ステーションメンテ] > [ワイパーメンテ] > [洗浄液トレイ清掃]を選択して、[ENTER]キーを押す。

- キャリッジがプラテン上に移動します。

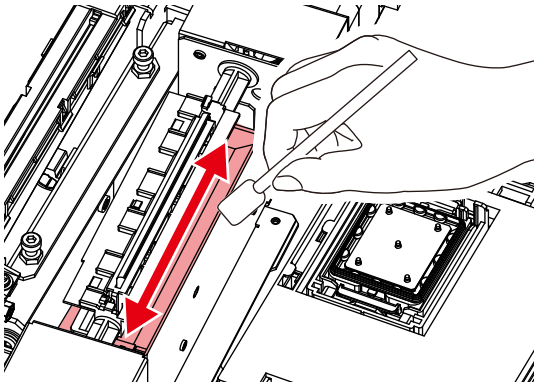
3 正面カバーを開く。

4 ウエスで、洗浄液トレイ内のメンテナンス液を吸い取る。

- インクやメンテナンス液が垂れないよう注意してください。



5 メンテナンス液を含ませたクリーンスティックで、洗浄液トレイの底のインク固着物を拭き取る。

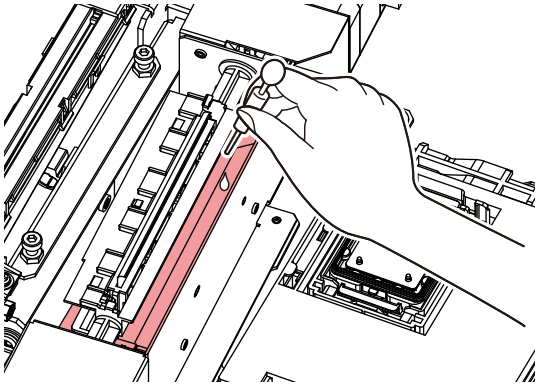


6 清掃が終わったらカバーを閉めて、[ENTER]キーを押す。

- 自動で洗浄液トレイにメンテナンス液を追加します。

<u>メンテナンス液カートリッジが空もしくはセットされておらず、自動充填ができない場合</u>

- 隙間からスポイトなどを使用して、メンテナンス液を手動で充填してください。
- 目安：25cc程度、またはトレイ満タンから9～10mm低い位置に液面がくる量

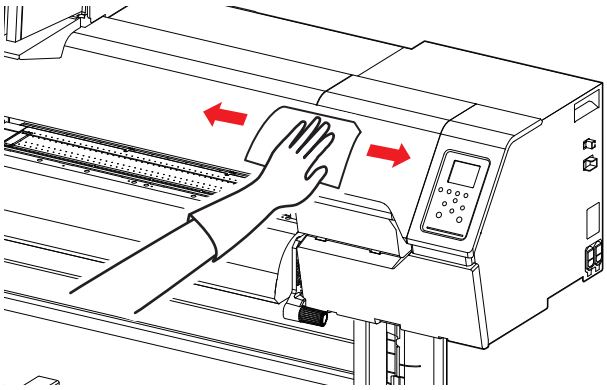


重要！

- 一定の水位を越えると、自動で廃液タンクに流れる構造になっているため、あふれる心配はありません。しかし、目安以上のメンテナンス液を入れると消費量が増え、廃液タンクの容量カウントにも影響するため、必ず目安を守ってください。

カバー（外装）の清掃

- 本機の内部に液体が入らないように注意してください。本機の故障や感電、もしくは火災につながるおそれがあります。



- 汚れが目立つときは、柔らかい布に水で薄めた中性洗剤を含ませて、固く絞ってからふき取ってください。

長期間使用しないときは

1週間以上使用しないときは、以下の内容にしたがって清掃してください。

事前に確認してください
[ニアエンド]、[インクエンド] は表示していませんか？ • 洗浄動作の際に、メンテナンス液やインクを吸引します。このとき、エラーが発生していると洗浄ができません。新しいインクに交換してください。

1 **ローカルモード画面から[MENU] > [メンテナンス]を選択して、[ENTER]キーを押す。**

- メンテナンスメニューが表示されます。

2 **[ステーションメンテ] > [保管洗浄]を選択して、[ENTER]キーを押す。**

- キャリッジがプラテン上に移動します。

3 **正面カバーを開く。**

4 **ワイパーとブラケットを清掃する。**

- ☞「ワイパーの清掃」（P. 91）

5 **清掃が終わったら、[ENTER]キーを押す。**

- ディスプレイに”キャップクリーニング 終了 次へ [ENT]”と表示されます。

6 **キャップゴムを清掃する。**

- ☞「キャップゴムの清掃」（P. 93）

7 **清掃が終わったらカバーを閉めて、[ENTER]キーを押す。**

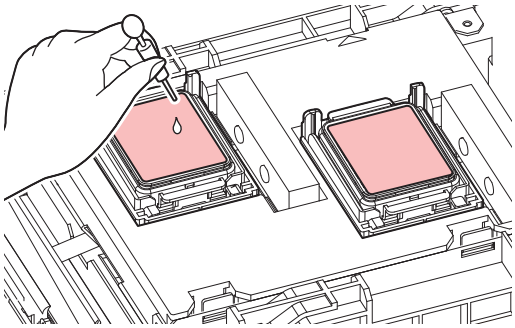
- キャップにメンテナンス液が満たされます。

- 正面カバーを閉めてください。正面カバーが閉まっていないと、メンテナンス液を満たすことができません。また、メンテナンス液カートリッジの残量がない場合は、メンテナンス液を満たすことができません。

8 **正面カバーを開く。**

- キャップいっぱいにメンテナンス液が満たされているかどうかを確認する。

- メンテナンス液が満たされていない場合は、スポイトにメンテナンス液をとって、キャップからあふれる寸前までメンテナンス液を満たしてください。



9 **正面カバーを閉じる。**

10 放置時間を設定して、[ENTER]キーを押す。

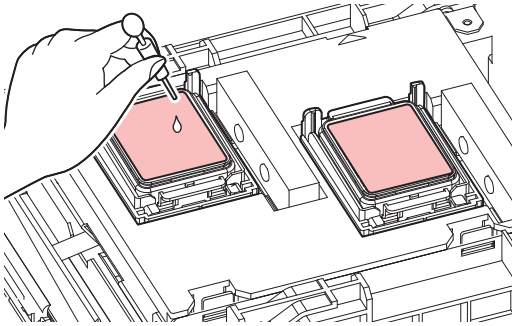
- プリントノズルの洗浄を開始します。ディスプレイに経過時間が表示されます。
- プリントノズルの洗浄が終了すると、自動的にクリーニングを実行します。
- キャップにメンテナンス液が満たされます。

- 正面カバーを閉めてください。正面カバーが閉まっていないと、メンテナンス液を満たすことができません。また、メンテナンス液カートリッジの残量がない場合は、メンテナンス液を満たすことができません。

11 正面カバーを開く。

- キャップいっぱいにメンテナンス液が満たされているかどうかを確認する。

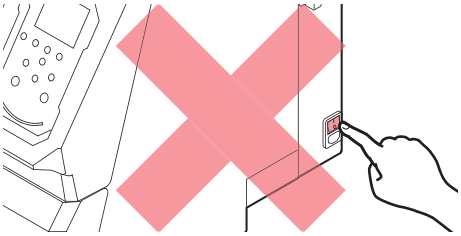
- メンテナンス液が満たされていない場合は、スポイトにメンテナンス液をとって、キャップからあふれる寸前までメンテナンス液を満たしてください。



12 正面カバーを閉じて、[ENTER]キーを押す。

- ポンプチューブ（キャップ下のインク排出経路）の洗浄を開始します。

- 主電源を切らないでください。主電源を切っていると、オートメンテナンス機能（ノズル詰まり防止機能やインク排出経路の清掃機能など）が実行することができません。吐出不良（ノズル詰まり、飛行曲がりなど）の原因になります。



- プラテン上にメディアをセットしたまま放置しないでください。メディアが波打つ原因になります。

本機を使用しないときは、クランプレバーを上げてピンチローラーとグリットローラーを離してください。
- ピンチローラーを下げたまま放置すると、ピンチローラーが変形して、メディアを正常にフィードできなくなるおそれがあります
- メディアをセットしたまま放置すると、メディアがピンチローラーに押しつぶされて、ピンチローラー跡が残る原因になります。

- ディスプレイに"廃インクタンク確認"が表示されたら、以下を実施してください。
☞「廃インクタンクの交換」（P. 113）

4.3 消耗品の交換

消耗品は、販売店、またはお近くの弊社営業所にてお買い求めください。消耗品は、弊社ウェブサイト（https://japan.mimaki.com/supply/inkjet.html）にてご覧になれます。

- 消耗品を子供が立ち入るおそれのある場所に保管しないでください。

- 消耗品を廃棄するときは、産業廃棄物処理業者、または関連法規、および地方自治体の条例に従って処理してください。

ワイパーの交換

本機はワイピング回数をカウントしています。規定値になるとディスプレイに”ワイパー交換”が表示されます。ワイパーの汚れや反りが激しいときは、新しいワイパーに交換してください。

1 ディスプレイに"ワイパー交換"が表示される。

2 ローカルモード画面から[MENU] > [メンテナンス]を選択して、[ENTER]キーを押す。

- メンテナンスメニューが表示されます。

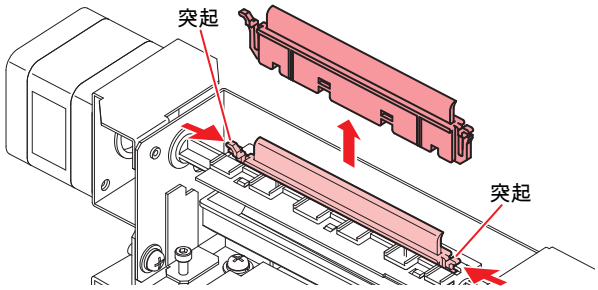
3 [ステーションメンテ]>[ワイパーメンテ] > [ワイパー交換]を選択して、[ENTER]キーを押す。

- キャリッジがプラテン上に移動します。

4 正面カバーを開く。

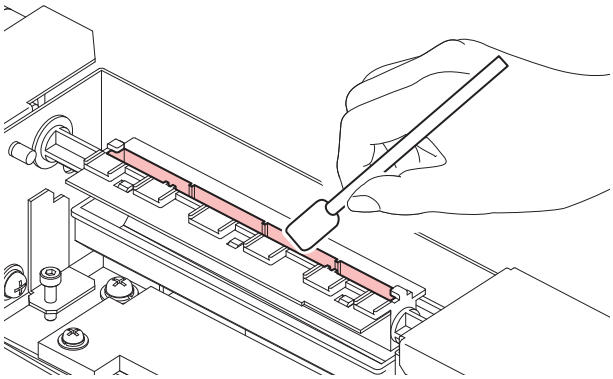
5 ワイパーを外す。

- ワイパーブラケットの両端の突起を押しながら引き抜きます。

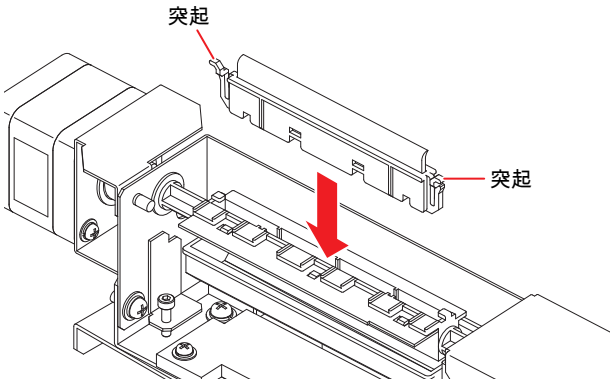


6 ワイパーホルダーを清掃する。

- メンテナンス液を含ませたクリーンスティックで、付着したインクやホコリを拭き取ります。メンテナンス液が残らないように拭き取ってください。



7 新しいワイパーをセットする。



8 交換が終わったらカバーを閉めて、[ENTER]キーを押す。

- ワイパーの使用回数が初期化されます。

キャップの交換

クリーニングしても吐出不良（ノズル詰まり、飛行曲がりなど）が直らない場合は、新しいキャップに交換してください。

- キャップのフチに傷などの破損がみられる場合は必ず交換してください。

1 ローカルモード画面から[MENU] > [メンテナンス]を選択して、[ENTER]キーを押す。

- メンテナンスメニューが表示されます。

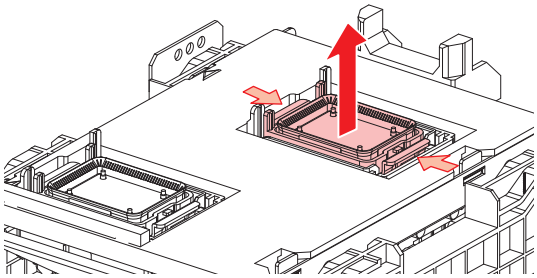
2 [ステーションメンテ]>[キャップ交換]を選択して、[ENTER]キーを押す。

- キャリッジがプラテン上に移動します。

3 正面カバーを開く。

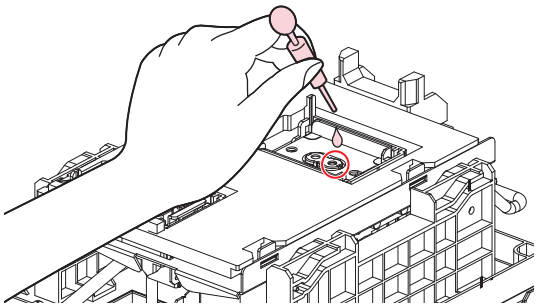
4 キャップを外す。

- キャップ両端の突起を押し込みながら、引き抜きます。



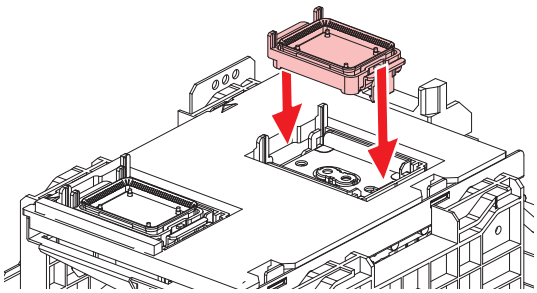
5 メンテナンス液を塗布する。

- スポイトにメンテナンス液をとって、手前の穴に1~2滴塗布してください。



6 新しいキャップをセットする。

- 切り欠きを手前にして、カチッと音がするまではめ込みます。



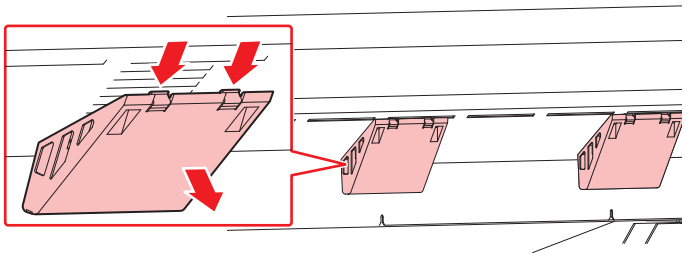
7 交換が終わったらカバーを閉めて、**[ENTER]**キーを押す。

排気ファンフィルターの交換

排気ファンフィルターの状態を確認して、汚れが激しいときは交換してください。

1 排気ファンBOXを外す。

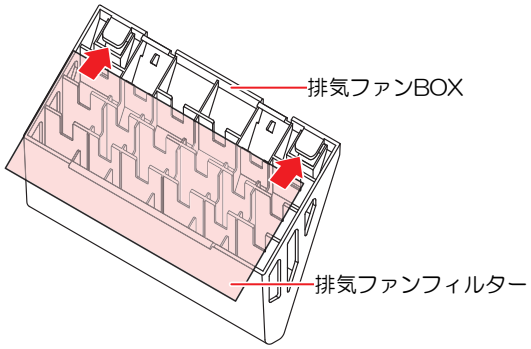
- 手前のツメを押して外します。



- 排気ファンBOXの汚れが激しいときは、新しい排気ファンBOXに交換してください。

2 排気ファンBOXに新しい排気ファンフィルターをセットする。

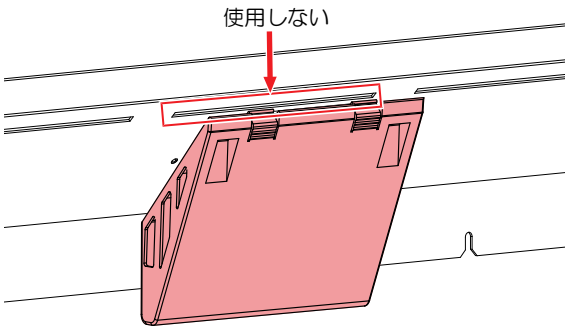
- 排気ファンBOXのツメのすき間に排気ファンフィルターを挿し込みます。



3 排気ファンBOXをセットする。

- 本機のスリットに排気ファンBOXのツメを挿し込んでから、手前のツメをはめ込んでください。

- 一番上のスリットは使用しないでください。



ピンチローラーの交換

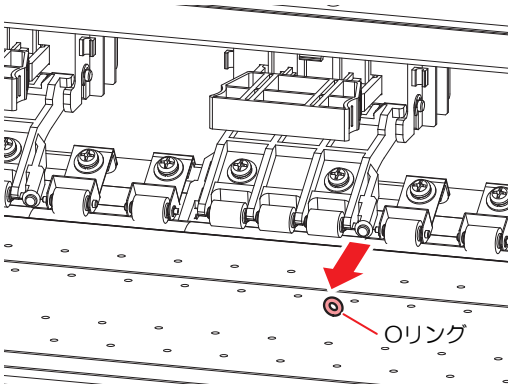
ピンチローラーに摩耗や汚れがみられる場合は、新しいピンチローラーに交換してください。

- 主電源を切って電源ケーブルを抜いてから交換してください。

1 正面カバーを開く。

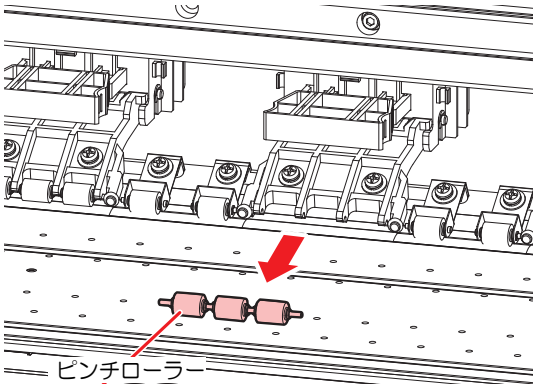
2 クランプレバーを上げる。

3 ピンチローラを固定しているOリングを外す。



- 部品が小さいので、すき間に落下させないように注意してください。

4 ピンチローラーを外す。



5 新しいピンチローラーをセットして、Oリングで固定する。

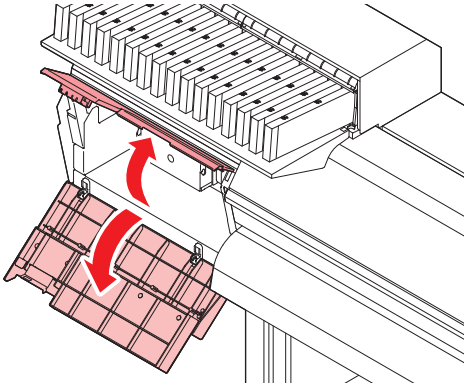
6 正面カバーを閉める。

メディア押さえの交換

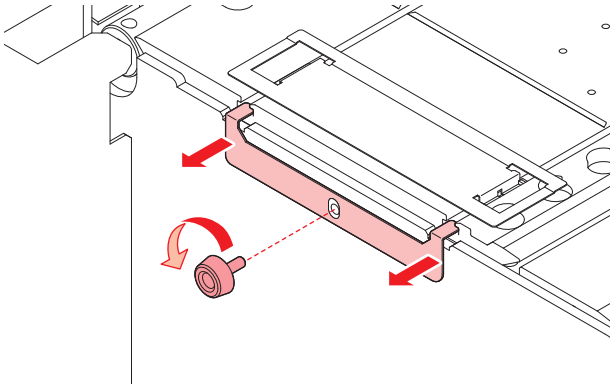
メディア押さえが変形して、キャリッジやプリントヘッドに接触する場合は、新しいメディア押さえに交換してください。

- 主電源を切って電源ケーブルを抜いてから交換してください。

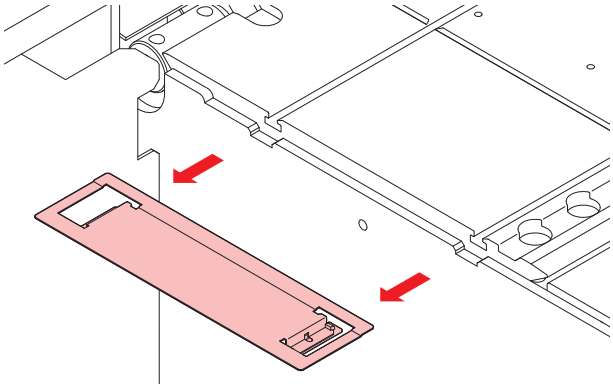
1 メンテナンスカバーを開く。



2 側面のネジを外して、メディア押さえストッパーを外す。

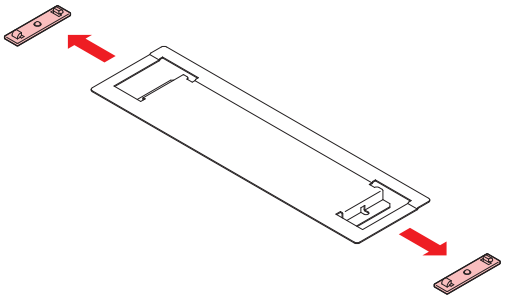


3 メディア押さえを外す。



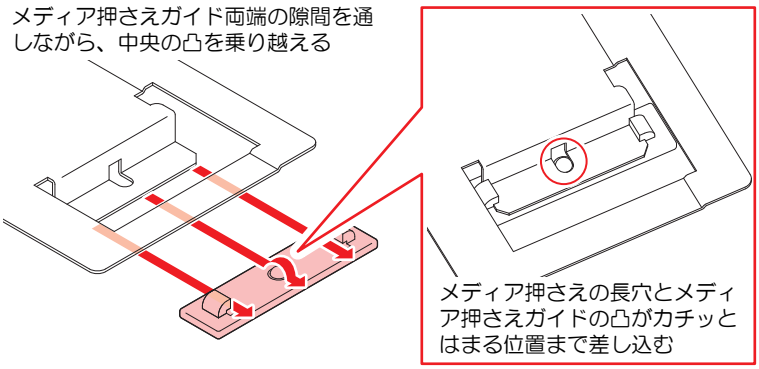
4 メディア押さえから、メディア押さえガイドを外す。

- 外したメディア押さえガイドは紛失しないように注意してください。

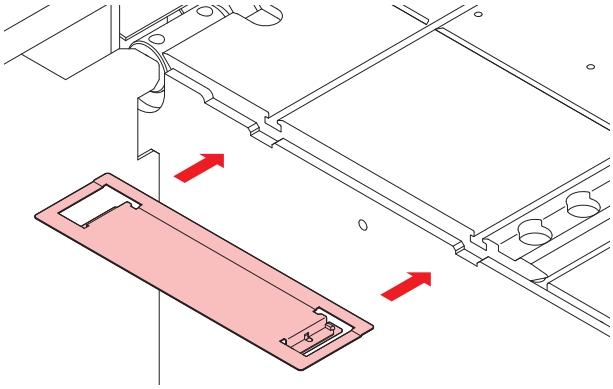


5 新しいメディア押さえに、メディア押さえガイドをセットする。

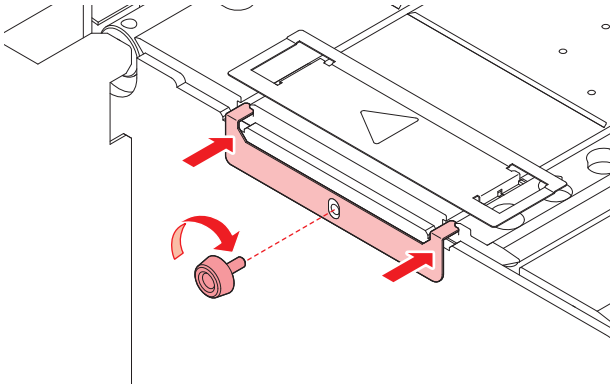
- メディア押さえガイドの突起にメディア押さえを引っ掛けます。



6 プラテンに新しいメディア押さえをセットする。



7 メディア押さえストッパーをネジで固定する。



8 メンテナンスカバーを閉める。

メディア裁断カッターの交換

刃先が欠けたり切れ味が悪くなってきたら、新しいカッターに交換してください。

- カッターの刃先を触らないでください。ケガをするおそれがあります。

1 ローカルモード画面から**[MENU] > [メンテナンス]**を選択して、**[ENTER]**キーを押す。

- メンテナンスメニューが表示されます。

2 **[ステーションメンテ] > [キャリッジアウト] > [プラテン右端まで移動]**を選択して、**[ENTER]**キーを押す。

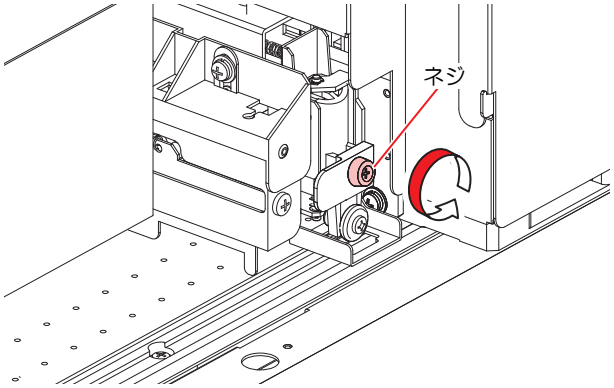
- キャリッジがプラテン上に移動します。

3 正面カバーを開く。

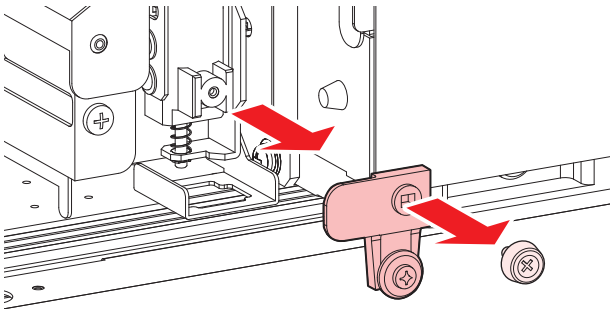
- キャリッジを手動で移動できます。作業しやすい位置にゆっくり移動させてください。

4 メディア裁断カッターを交換する。

(1) カッターのネジを緩める。



(2) カッターを外す。

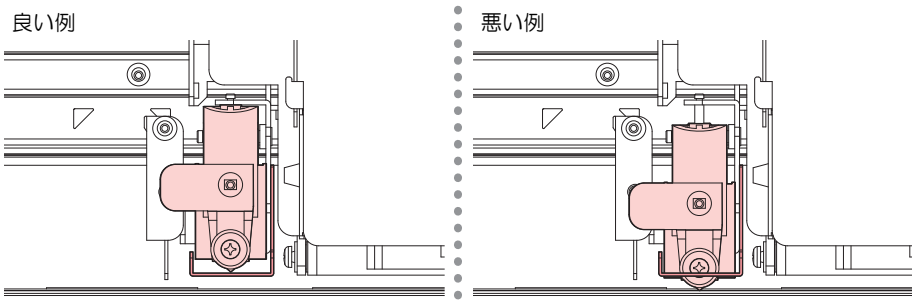


(3) 新しいカッターをセットする。

(4) ネジを締めて固定する。

5 メディア裁断カッターの位置を確認する。

- メディア裁断カッターが下がっているときは、手で持ち上げてください。



6 交換が終わったらカバーを閉じて、[ENTER]キーを押す。

廃インクタンクの交換

ヘッドクリーニングなどで使用したインクは、本機右下にある廃インクタンクにたまります。

本機はインクの排出量をカウントして、規定値になるとディスプレイに”廃インクタンク確認”が表示されます。廃インクタンクを交換する目安としてお使いください。

- 2Lタンクの容量が80%（1.6L）が規定値です。
- 廃インクを廃棄せずに使い続けると、廃インクタンクから廃インクがあふれ出るおそれがあります。 1週間に1回を目安に、廃インクタンクの液量を目視でご確認頂くことをお勧めいたします。

- インクやメンテナンス液、廃インク、そのほか本機で使用されている液体を取り扱うときは、換気に十分注意して、必ず保護メガネ、手袋、マスクなどを着用してください。インクなどの液体が跳ねて、皮膚に付着したり、目や口の中に入ったりするおそれがあります。

メッセージ“廃インクタンク確認”が表示されたら

1 **ディスプレイに"廃インクタンク確認"が表示される。**

2 **廃インクタンクの中の廃インク量を確認する。**

- 実際の量と誤差がある場合は、次の手順に進んでください。
- 実際の量と誤差がなく、廃インクタンクを交換（廃棄処分）する場合は、☞「廃インクタンクを交換する」（P. 113）を実施してください。

3 **ローカルモード画面から[MENU] > [メンテナンス]を選択して、[ENTER]キーを押す。**

- メンテナンスメニューが表示されます。

4 **[廃インクタンク]を選択して、[ENTER]キーを押す。**

- ディスプレイに“廃インクタンク交換 level: 80%(1.6L)"と表示されます。

5 **[廃インク量補正]を選択して、[ENTER]キーを押す。**

6 **▲▼を押して、レベルを調整する。**

7 **調整が終わったら、[ENTER]キーを押す。**

廃インクタンクを交換する

1 **ローカルモード画面から[MENU] > [メンテナンス]を選択して、[ENTER]キーを押す。**

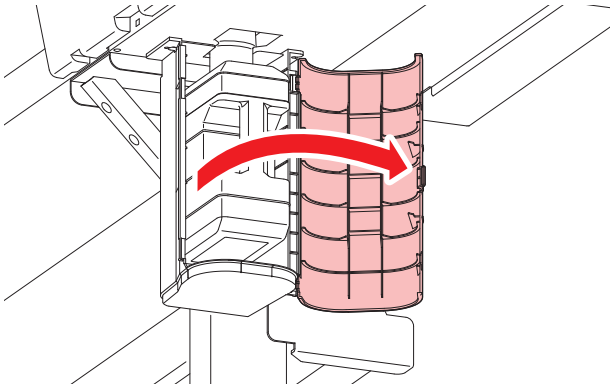
- メンテナンスメニューが表示されます。

2 **[廃インクタンク]を選択して、[ENTER]キーを押す。**

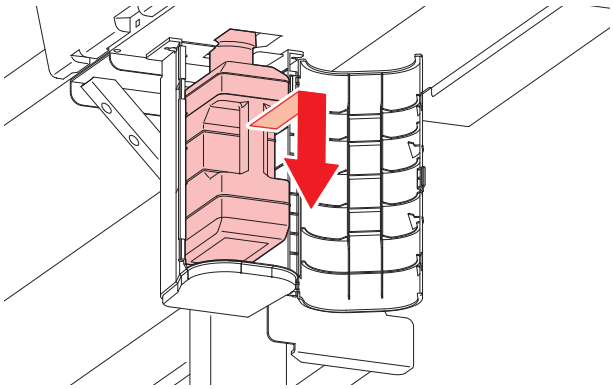
- ディスプレイに“廃インクタンク交換 level: 80%(1.6L)"と表示されます。

3 **[廃インク量リセット]を選択して、[ENTER]キーを押す。**

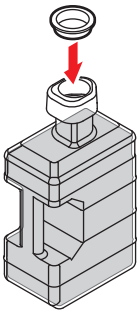
4 廃インクタンクのストッパーを手前に引く。



5 廃インクタンクの取っ手を持ち、スライドさせて外す。

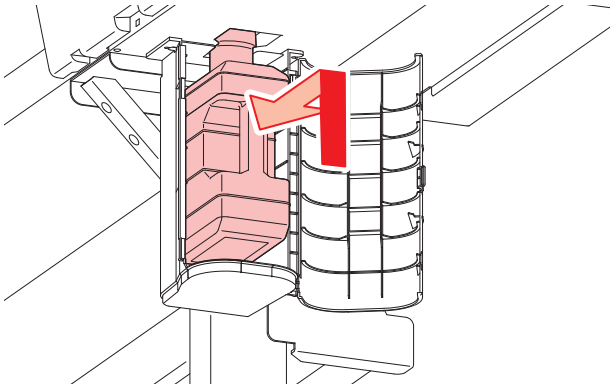


6 取り外した廃インクタンクにキャップをはめて、テープなどを使用して廃インクが漏れないように処理する。

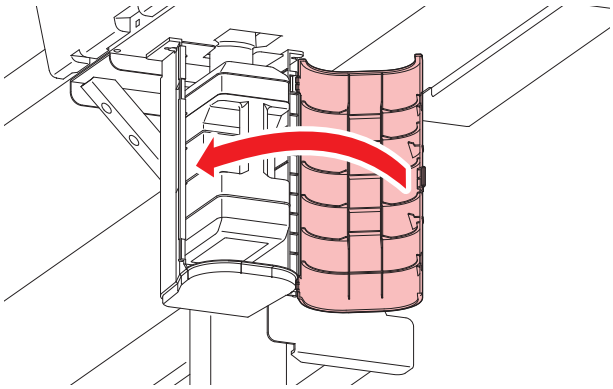


- インクやメンテナンス液、そのほか本機で使用されている液体、インクなどが付着した容器や不織布などを廃棄するときは、産業廃棄物処理業者、または関連法規、および地方自治体の条例に従って処理してください。

7 新しい廃インクタンクをセットする



8 廃インクタンクのストッパーを閉じる。



9 **[ENTER]キーを押す。**

- 廃インク排出量が初期化されます。

4.4 インクカートリッジの補正

● 必要なもの

名称	概要
インクカートリッジケース	インクパックとインクパックに付属されているインクICチップをインクカートリッジケースにセットして使用します。
インクパック	
インクICチップ	
はかり	インク残量を計算するために、インクカートリッジの重量を登録します。1g単位まで計量できるものを準備してください。

インクカートリッジの重量を補正する

インクカートリッジのインク残量が規定値になると、ディスプレイに[インクレベルロー]、[インクニアエンド]、[インクレベルエンド]、[インクエンド]、[Ink cartridge check]が表示されます。実際の重量と異なることがありますので、インクカートリッジの重量補正をしてください。

- 実際の重量でない値の登録を繰り返すと、インクICチップが使用できなくなりますのでご注意ください。
- ワーニングが表示されているときは、連続してプリントすることはできません。
- “インクパック交換”が表示されたときは、新しいインクパックに交換してください。

1 ディスプレイにワーニングが表示される。

2 表示されたインクスロットのインクカートリッジを抜いて、重さを量る。

- インクパックをセットしたまま量ってください。

3 インク供給ユニットにインクカートリッジをセットする。

- カートリッジ重量画面が表示されます。

4 計量したインクカートリッジの重さを入力して、[ENTER]キーを押す。

- インクパックのインク残量を算出して、インクICチップに保存されます。
  - 以下の方法でもインクカートリッジの重量を登録することができます。

(1) ローカルモード画面から[MENU] > [メンテナンス]を選択して、[ENTER]キーを押す。
  - メンテナンスメニューが表示されます。

(2) [インク残量補正] > [カートリッジ重量]を選択して、[ENTER]キーを押す。

(3) 対象のインクスロットを選択して、[ENTER]キーを押す。
  - 選択したスロットが反転表示されます。

(4) 計量したインクカートリッジの重さを入力して、[ENTER]キーを押す。

- “ERROR614 保存失敗”が表示されたときは、以下を確認してください。
  (1) インクカートリッジが、奥まで挿し込まれているかどうかを確認する。
  (2) インクICチップが、正しく取り付けられているかどうかを確認する。

第 5 章　困ったときは

この章では...

故障かなと思ったときの対処方法や、ディスプレイに表示されるメッセージの対処方法などについて説明しています。

故障かな?と思ったときは.....118
電源が入らない..... 118
プリントできない 118
メディア詰まり、メディアが汚れる..... 118
メディアの繰り出しが止まらない 119
画質不良が発生した..... 119
ノズル吐出不良が発生した 120
ヒーターの温度が規定値まで上昇しない ..122
インクが漏れた.....122
メッセージを表示するトラブル 123
ワーニングメッセージ 123
インクエラー 125
エラーメッセージ 127
SYSTEM HALT 131

5.1 故障かな?と思ったときは

故障かなと思ったときは、本章を参照して対処してください。また、本機に関するよくあるご質問やサポート動画などは、弊社ウェブサイト（https://japan.mimaki.com/support/）にてご覧になれます。

対処しても正常に戻らない場合は、販売店、お近くの弊社営業所、またはコールセンターにお問い合わせください。

電源が入らない

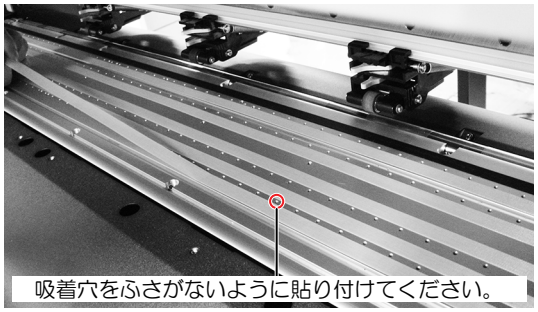
確認すること	対処方法
本機とコンセントが電源ケーブルで接続されていますか?	電源プラグの刃を根元まで挿し込んでください。☞「電源ケーブルを接続する」（P. 29）
付属の電源ケーブルを使用していますか?	付属の電源ケーブルを使用してください。
主電源が入っていますか?	主電源を入れてください。☞「電源を入れる」（P. 30）
操作パネルにある、[END/POWER] キーがオンになっていますか?	電源を入れてください。☞「電源を入れる」（P. 30）

プリントできない

確認すること	対処方法
USBインターフェイスケーブルが、接続されていますか?	USB2.0ポートに、根元まで挿し込んでください。☞「USBケーブルを使う」（P. 33）
LANケーブルが、接続されていますか?	LANポートに、根元まで挿し込んでください。☞「LANケーブルを使う」（P. 32）
弊社指定のLANケーブルを使用していますか?	LANケーブルの種類を確認してください。☞「LANケーブルを使う」（P. 32）
操作パネルにあるステータスランプが、赤色に点滅/点灯していませんか?	エラーが発生しています。ディスプレイのメッセージを確認してください。☞「操作パネル」（P. 26）

メディア詰まり、メディアが汚れる

確認すること	対処方法
弊社が推奨しているメディアを使用していますか?	推奨メディアを使用してください。https://japan.mimaki.com/supply/inkjet.html
カールしてるメディアを使用していませんか?	カールのきついメディアや、先端が折れ曲がっているメディアは使わないでください。
メディアが斜行していませんか?	メディアを再セットしてください。☞「メディアをセットする」（P. 52）

確認すること	対処方法
メディアが波打ったり、浮いたりしていませんか?	ロールメディアの場合、波打っていない面までフィードしてから、お使いください。また付属されているNITOFLON®（ニトフロン）テープをプラテンに貼ることで改善することができます。  詳しくは、”プラテン上のメディアの搬送について”をご覧ください。https://japan.mimaki.com/download/inkjet.html

メディアの繰り出しが止まらない

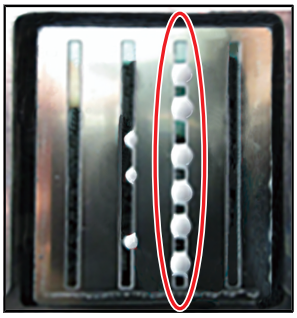
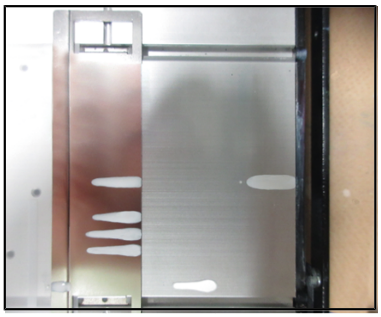
※繰出ユニット[ON]で使用の場合のみ

確認すること	対処方法
繰出側のメディアがロールに貼りついたまま回転していませんか？	• 除電kit（別売品）の使用により改善されます。販売店、お近くの弊社営業所、またはコールセンターにご相談ください。

画質不良が発生した

現象	対処方法
白スジ、カスレ、色の濃いスジが発生する （キャリッジスキャン方向）	1. メディア押さえの上などヘッドが通過する部分に、紙片などのゴミが付着している場合は、ゴミを取り除いてください。☞「メディア押さえの清掃」（P. 99）☞「プラテンの清掃」（P. 99） 2. ☞「ヘッドクリーニングをする」（P. 63）を実施してください。 3. ☞「フィード補正をする」（P. 65）を実施してください。 4. ☞「ワイパーの清掃」（P. 91）を実施してください。 5. ☞「キャップゴムの清掃」（P. 93）を実施してください。 6. ☞「キャリッジ底面の清掃」（P. 95）を実施してください。
文字がメディアフィード方向に2重、3重にズレが発生する	1. ☞「フィード補正をする」（P. 65）を実施してください。
往復プリントでズレが発生する	1. ☞「ドット位置補正をする」（P. 66）を実施してください。
プリント中にインク滴が落ちる	1. ☞「ワイパーの清掃」（P. 91）を実施してください。 2. ☞「キャップゴムの清掃」（P. 93）を実施してください。 3. ☞「キャリッジ底面の清掃」（P. 95）を実施してください。 4. ☞「ヘッドクリーニングをする」（P. 63）を実施してください。 5. オートメンテナンスを設定してください。☞「メンテナンスメニュー」（P. 77）

ノズル吐出不良が発生した

現象	対処方法
ノズル詰まり、吐出不良を解消したい	1. 日頃のお手入れ☞「メンテナンス項目とタイミング」（P. 89））を実施してください。 2. ☞「ヘッドクリーニングをする」（P. 63）（ノーマル/ハード）を実施してください。 – ☞「テストプリントをする」（P. 61）で確認してください。 – ノズル詰まりが解消しない場合は次の手順へ進んでください。 3. ☞「プリントヘッドのノズル洗浄」（P. 120）（メンテナンス液の放置時間：1分程度）を実施してください。 – ☞「テストプリントをする」（P. 61）で確認してください。 – ノズル詰まりが解消しない場合は次の手順へ進んでください。 4. ☞「プリントヘッドのノズル洗浄」（P. 120）（メンテナンス液の放置時間：10分程度）を再度実施してください。 – ☞「テストプリントをする」（P. 61）で確認してください。 – 以上の回復方法を試してもノズル詰まりが解消しない場合は、販売店、お近くの弊社営業所、またはコールセンターにお問い合わせください。
ホワイトのノズル詰まり、吐出不良を解消したい	1. 日頃のお手入れ☞「メンテナンス項目とタイミング」（P. 89））を実施してください。 2. ☞「ヘッドクリーニングをする」（P. 63）（ノーマル/ハード）を実施してください。 – ☞「テストプリントをする」（P. 61）で確認してください。 – ノズル詰まりが解消しない場合は次の手順へ進んでください。 3. ☞「ヘッドクリーニングをする」（P. 63）（ホワイト復旧ノーマル/ホワイト復旧ハード）を実施してください。 – ☞「テストプリントをする」（P. 61）で確認してください。 – ノズル詰まりが解消しない場合は次の手順へ進んでください。 4. ☞「メンテナンスメニュー」（P. 77）[ホワイトメンテナンス]>[ハード]を実施してください。 – ノズル面からインク滴が落ちるなどの症状がある場合のみ、実行してください。  ノズル面からインクが滴下する“ボタ落ち”発生時のノズル面  ボタ落ちしたインクが、プラテン等に付着した状態

プリントヘッドのノズル洗浄

ヘッドクリーニング（☞「ヘッドクリーニングをする」（P. 63））を実行しても、吐出不良（ノズル詰まり、飛行曲がりなど）が直らないときは、 プリントヘッドのノズル洗浄をしてください。

1 **ローカルモード画面から[MENU] > [メンテナンス]を選択して、[ENTER]キーを押す。**

- メンテナンスメニューが表示されます。

2 **[ステーションメンテ] > [ノズル洗浄]を選択して、[ENTER]キーを押す。**

- キャリッジがプラテン上に移動します。

3 **正面カバーを開く。**

4 **ワイパーとブラケットを清掃する。**

- ☞「ワイパーの清掃」（P. 91）

5 **清掃が終わったら、[ENTER]キーを押す。**

- ディスプレイに”キャップクリーニング 終了 次へ [ENT]”と表示されます。

6 **キャップゴムを清掃する。**

- ☞「キャップゴムの清掃」（P. 93）

7 **清掃が終わったらカバーを閉めて、[ENTER]キーを押す。**

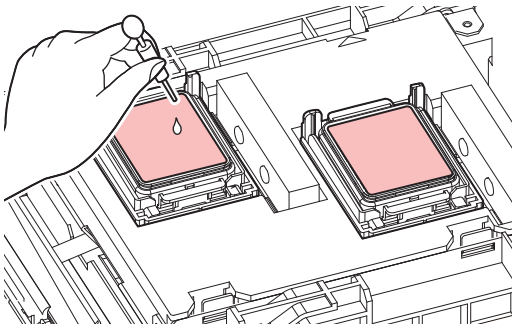
- キャップにメンテナンス液が満たされます。

- 正面カバーを閉めてください。正面カバーが閉まっていないと、メンテナンス液を満たすことができません。また、メンテナンス液カートリッジの残量がない場合は、メンテナンス液を満たすことができません。

8 **正面カバーを開く。**

- キャップいっぱいにメンテナンス液が満たされているかどうかを確認する。

- メンテナンス液が満たされていない場合は、スポイトにメンテナンス液をとって、キャップからあふれる寸前までメンテナンス液を満たしてください。



9 **正面カバーを閉じる。**

10 **放置時間を設定して、[ENTER]キーを押す。**

- プリントノズルの洗浄を開始します。ディスプレイに経過時間が表示されます。
- プリントノズルの洗浄が終了すると、自動的にクリーニングを実行します。

- ノズル洗浄を何回か繰り返しても、吐出不良（ノズル詰まり、飛行曲がりなど）が直らないときは、販売店、お近くの弊社営業所、またはコールセンターにお問い合わせください。

ヒーターの温度が規定値まで上昇しない

設定方法にに問題があると考えられます。

確認すること	対処方法
ヒーターの温度設定は有効ですか?	ヒーターの温度を設定してください。 ☞ 「ヒーターの温度を設定する」（P. 60） ☞ 「メディア設定メニュー」（P. 74）

インクが漏れた

- インクが漏れてしまったときは、すぐに主電源を切って電源ケーブルを抜いてください。そのあと、販売店、お近くの弊社営業所、またはコールセンターにお問い合わせください。

5.2 メッセージを表示するトラブル

何らかの異常が発生すると、ブザーが鳴りディスプレイにメッセージが表示されます。

ローカルガイダンスでも確認することができます。☞「本機の情報を表示する（ローカルガイダンス）」（P. 28）

メッセージの内容に応じて、対処してください。記載されている処置をしても、再度メッセージが表示される場合は、販売店、お近くの弊社営業所、またはコールセンターにお問い合わせください。

ワーニングメッセージ

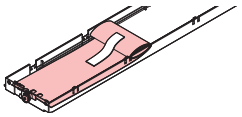
メッセージ	原因	対処方法
MOTOR POWER OFF	• カバーを開けたあとなど初期化動作によってモーターが停止している。	• 初期化動作が終了するまでお待ちください。
NCU インク吸収材交換	• インク吸収材の交換時期になった。	• NCUのインク吸収材交換が必要です。販売店、お近くの弊社営業所、またはコールセンターにお問い合わせください。
NCU交換	• ノズル詰まり判定に異常を検出した。	• NCUの交換が必要です。販売店、お近くの弊社営業所、またはコールセンターにお問い合わせください。
NCU センサー感度低下	• センサー感度が低下している。	• NCUを清掃してください。☞「NCUの清掃」（P. 94） • エラーが解消されない場合、NCUの交換をお勧めします。販売店、お近くの弊社営業所、またはコールセンターにお問い合わせください。
NCU 感度調整エラー H	• センサー感度調整に失敗した。	
NCU 感度調整エラー L		
NCU接続異常	• NCUの接続に異常を検出した。	• 主電源を切って、しばらくたってから電源を入れてください。
インクエラーあり	• インクエラーが発生している。	• インクエラーの内容を確認してください。☞「インクエラー」（P. 125）
カバーオープン	• カバーが開いている。	• カバーを閉めてください。
クランプ レバー下げてください	• クランプレバーが上がっている。	• クランプ レバーを下げてください。☞「正面」（P. 20）
ヒーター温度異常 電源をオフしました	• "ERROR710 ヒーター温度異常"が発生した直後、本機を再起動したときに表示されます。	• 再度表示する場合は、販売店、お近くの弊社営業所、またはコールセンターにお問い合わせください。
プリントデータあり	• プリント（RIP）データを受信している。	• リモートモードに移行して、プリントしてください。またはデータクリアを実行して、プリントを中止します。
プリント一時中断	• プリントを一時停止している。	• リモートモードに移行して、プリントを再開します。もしくはデータクリアを実行して、プリントを中止します。
プリント不可/カートリッジ	• 使用できないインクICチップが使われている。	• 新しいインクカートリッジに交換してください。
メディアがありません	• メディアがセットされていない。もしくはセンサーが故障している。	• メディアをセットしてください。☞「メディアをセットする」（P. 52）

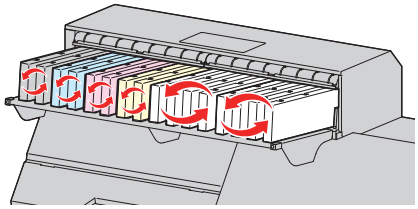
メッセージ	原因	対処方法
		• メディアセンサーを清掃してください。☞「メディアセンサーの清掃」（P. 98）
メディアをセットしてください	• メディアがセットされていない。もしくはセンサーが故障している。	• メディアをセットしてください。☞「メディアをセットする」（P. 52）
メディア未検出	• メディア幅を検出していない。	• メディア幅を検出してください。☞「メディアをセットする」（P. 52）
ワイパー交換	• ワイピングのカウント値が規定量を超えた。	• ワイパーを交換して、カウント値を初期化してください。☞「ワイパーの交換」（P. 104）
ワイパー動作不良	• ワイパーが正常に動作しない。	1. “ワイパー”と"ワイパー周辺"を清掃してください。☞「ワイパーの清掃」（P. 91） 2. 主電源を切って、しばらくたってから電源を入れてください。
廃インクタンク交換	• 廃インクタンクのカウントが規定量（90%）を超えた。	オートメンテナンス機能が実行できません。以下を対処してください。 1. 廃インクタンクの排液量を確認してください。☞「メッセージ“廃インクタンク確認”が表示されたら」（P. 113） 2. 廃インクタンクを交換して、廃液量を初期化してください。☞「廃インクタンクを交換する」（P. 113）
廃インクタンク確認	• 廃インクタンクのカウントが規定量（80%）を超えた。	1. 廃インクタンクの排液量を確認してください。☞「メッセージ“廃インクタンク確認”が表示されたら」（P. 113） 2. 廃インクタンクを交換して、廃液量を初期化してください。☞「廃インクタンクを交換する」（P. 113）
洗浄液カートリッジなし	• メンテナンス液カートリッジがセットされていない。	• メンテナンス液カートリッジをセットしてください。
洗浄液カートリッジを交換してください	• メンテナンス液がなくなった。	• 新しいメンテナンス液カートリッジに交換してください。
洗浄液エンド	• メンテナンス液がなくなった。	• 新しいメンテナンス液カートリッジに交換してください。
環境温度が高い ** ˚C	• 室内の温度が高い。	• 仕様の範囲内に室温を調節してください。範囲外の場合は、良好なプリント結果を得られないおそれがあります。☞「設置上のご注意」（P. 14）
環境温度が低い ** ˚C	• 室内の温度が低い。	
自動補正に失敗しました	• 白いメディアを使っていない。 • メディアが汚れている。 • メディアが浮いている。 • センサー周辺が汚れている。	• 白くて汚れのないメディアを使用してください。 • メディアが浮かないようにセットしてください。 • センサー周辺を清掃してください。☞「自動補正センサー（DAS）の清掃」（P. 96） • 失敗を繰り返す場合は、手動で補正してください。[MENU] > [設定] > [フィード補正] or [ドット位置補正]
**日メンテナンスを行っていません	• 一定期間メンテナンスしていない	• メンテナンスしてください。☞「メンテナンス項目とタイミング」（P. 89）

メッセージ	原因	対処方法
		– [ステーションメンテ] > [キャリッジアウト]機能を使ってメンテナンスしたあとに、メッセージが非表示になります。
繰出 動作異常	• メディアが曲がっている。 • メディアが浮いている。 • トルクリミッターが強すぎる。	• メディアのセット状態を確認してください。 • トルクリミッターを弱めてください。 • 確認後、メディア幅の再検出してください。
D- ポンプ交換	推奨するD-ポンプの使用期間を過ぎた。	• 販売店、お近くの弊社営業所、またはコールセンターにお問い合わせください。
Wh ダンパー交換	推奨するWhiteダンパーの使用期間を過ぎた。	• 販売店、お近くの弊社営業所、またはコールセンターにお問い合わせください。
設置日時を登録してください	設置日時が未登録です。	• 販売店、お近くの弊社営業所、またはコールセンターにお問い合わせください。
起動時メンテナンス完了: ノズル抜けあり	ノズルチェックでノズル抜けを検出し、メンテナンス動作を実行したが、ノズル抜けが解消できなかった。	• ノズル状態を確認し、メンテナンスを実行して復旧させてください。☞「」（P. 120）
**** 起動時メンテナンスが実行できませんでした	ノズルチェックにより抜けを検出したが、メンテナンス動作ができなかった。（インクエラー、廃インクタンクフル、インク残量不足など）	• インクパック交換後、ノズル状態を確認してください。 • 必要に応じてメンテナンスを実施してください。
ノズルチェック失敗NCU の清掃を実施してください	NCU の検出不良により実行できなかった。	• NCU を清掃してください。☞「NCU の清掃」（P. 94）
ノズルチェック失敗****	その他のNCU 状態不良により実行できなかった。（NCU 接続異常、NCU 吸収材交換など）	• 再度表示される場合は販売店または弊社営業所、コールセンターにお問い合わせください。

インクエラー

メッセージ	原因	対処方法
インクエンド	• インクがなくなった。	• 新しいインクに交換してください。☞「インクエンドが表示されたとき」（P. 40） • UISSの場合、クリーニングをすることができます。
カートリッジなし	• インク供給ユニットにインクカートリッジが挿入されていない。	1. インクカートリッジが正しく挿入されているかどうかを確認してください。 2. 主電源を切って、しばらくたってから電源を入れてください。
インクIC異常	• インクICチップの情報にエラーが発生した。	1. インクカートリッジが正しく挿入されているかどうかを確認してください。 2. 主電源を切って、しばらくたってから電源を入れてください。

メッセージ	原因	対処方法
		3. 新しいインクカートリッジに交換してください。☞「インクを交換する」（P. 41）
インク カラー	• 充填されているインクカラーとインクICチップに登録されているカラーが異なる。	• 正しいインクカラーのインクカートリッジをセットしてください。☞「インクを交換する」（P. 41）
インク残量0	• インクの残量が0mlになった。	• 新しいインクに交換してください。☞「インクを交換する」（P. 41）
インク種類	• 充填されているインクタイプとインクICチップに登録されているタイプが異なる。	• 正しいインクタイプのインクカートリッジをセットしてください。☞「インクを交換する」（P. 41）
期限切れ	• インクが期限切れになった。	• 新しいインクに交換する、もしくは早めに使い切ってください。プリントすることは可能です。☞「インクを交換する」（P. 41）
期限切れ（1か月）	• インクが期限切れから、1か月経過した。	
期限切れ（2か月）	• インクが期限切れから、2か月経過した。	• 新しいインクに交換してください。プリントすることができません。☞「インクを交換する」（P. 41）
Ink cartridge check	• カートリッジのインクの残量が100ml未満になった。	1. インクカートリッジを外して、重さを量ります。☞「インクカートリッジの重量を補正する」（P. 116） 2. 測定した重さを本機に入力します。☞「インクカートリッジの重量を補正する」（P. 116） 3. インクカートリッジのフタを開けて、インクパックを折り曲げてください。  図のようにインクパックをセットしてカートリッジ重量を入力してください
インクレベル エンド（1回目）	• Ink cartridge checkが表示されてから、カートリッジのインクの残量が65ml未満になった。 – Ink cartridge checkが表示されてから、インクパックの折り曲げとカートリッジの重量補正（☞「インクカートリッジの重量を補正する」（P. 116））を実施した場合は表示されない。	
インクレベル ロー	• カートリッジのインクの残量が60ml未満になった。	1. インクカートリッジを外して、重さを量ります。☞「インクカートリッジの重量を補正する」（P. 116） 2. 測定した重さを本機に入力します。☞「インクカートリッジの重量を補正する」（P. 116）
インクニアエンド	• カートリッジの重量補正（☞「インクカートリッジの重量を補正する」（P. 116））したあとのインクの残量が60ml未満になった。	
インクレベル エンド	• カートリッジのインクの残量が30ml未満になった。	
インクパック交換（インクエンド）	• カートリッジの重量補正（☞「インクカートリッジの重量を補正する」（P. 116））したあとのインクの残量が30ml未満になった。	1. インクパックを交換してください。☞「インクを交換する」（P. 41）

メッセージ	原因	対処方法
REMOTE不可/未交換	• 使用不可なインクカートリッジが長期間未交換でインク供給が行えないため、該当経路のインクが滞留してしまう。	• 新しいインクカートリッジに交換してください。 • すぐに交換できない場合、以下を実行してください。（ただし、実行しても1週間後に再度エラーを表示します。新しいカートリッジの交換を推奨します。） – カラーインクの場合：ワーニングが発生しているカートリッジと正常カートリッジを左右差し替える。（6色+Wセットの場合は、M/Yのみ入れ替え可能） – ホワイトインクの場合：4カートリッジで1セットとなります。4カートリッジの中でワーニングが発生しているカートリッジと正常カートリッジを差し替える。 – 実行しても再度エラーを表示する場合があります。 ［4色+Wセットの場合］ 
カートリッジ異常	• インクの使用量が規定値を超えた。	• 新しいインクに交換してください。☞「インクを交換する」（P. 41） • ノズル詰まりがないかどうかを確認してください。

エラーメッセージ

エラー番号	メッセージ	原因	対処方法
04	PARAM ROM	• メイン基板に異常を検出した。	• 主電源を切って、しばらくたってから電源を入れてください。
108	HD THERMIS [1234]	• プリントヘッド温度制御に異常を検出した。	• 主電源を切って、しばらくたってから電源を入れてください。
108	HD CONNECT [1234]	• プリントヘッドの接続に異常を検出した。	
122	CHECK:SDRAM	• SDRAMに異常を検出した。	• 主電源を切って、しばらくたってから電源を入れてください。
128	HDC FIFO OVER	• プリントヘッド制御基板に異常を検出した。	
128	HDC FIFO UNDER		
129	バッテリ交換	• 内蔵時計の電池切れを検出した。	• 販売店、お近くの弊社営業所、またはコールセンターにお問い合わせください。
12a	HDC SPEED	• プリントヘッド制御に異常を検出した。	• 主電源を切って、しばらくたってから電源を入れてください。
130	HD DATA SEQ		

エラー番号	メッセージ	原因	対処方法
148	E-LOG SEQ	• ログの制御に異常を検出した。	• 主電源を切って、しばらくたってから電源を入れてください。
151	Main PCB V1R2	• メイン基板の電源系統に異常を検出した。	• 主電源を切って、しばらくたってから電源を入れてください。
152	Main PCB V2R5		
153	Main PCB V3R3		
154	Main PCB V05		
157	Main PCB VTT		
158	Main PCB V36-2		
15f	HEAD DRIVE HOT	• COMドライブが高温になっている。	• 主電源を切って、しばらくたってから電源を入れてください。
16e	Main PCB V3R3B	• メイン基板の電源系統に異常を検出した。	
171	NEW HEAD CONNECT	• 新しいプリントヘッドの接続を認識した。	
18a	Main PCB V_CORE	• メイン基板の電源に異常を検出した。	• 主電源を切って、しばらくたってから電源を入れてください。
18b	Main PCB V1R5B		
18c	Main PCB V12		
18e	FLS NOT COMP	• プリントヘッド制御に異常を検出した。	• 主電源を切って、しばらくたってから電源を入れてください。
18f	OFSET START		
18f	OFSET END		
201	コマンド エラー	• プリント（RIP）データ以外のデータを受信した。もしくは受信したプリント（RIP）データに異常を検出した。	1. データクリアを実行して、再度データを送信してください。 2. USBケーブルの接続を確認してください。☞「USBケーブルを使う」（P. 33） 3. 規格に適合したUSBケーブルを使用してください。☞「USB接続についての注意事項」（P. 33） 4. 主電源を切って、しばらくたってから電源を入れてください。
202	パラメータ エラー	• 受信したプリント（RIP）データに異常を検出した。	
206	プリント モード エラー	• プリントできないプリント条件のプリント（RIP）データを受信した。	• RIP用ソフトウェアで、出力条件やプロファイルを変更してください。
20A	ドライバーバージョン	• Mimakiドライバーのバージョンが古いため、プリントすることができない。	• 最新のMimakiドライバーを入手して、インストールしてください。 https://japan.mimaki.com/download/inkjet.html
304	USB INIT ERR	• USBケーブルの接続に異常を検出した。	1. USBケーブルの接続を確認してください。☞「USBケーブルを使う」（P. 33） 2. 規格に適合したUSBケーブルを使用してください。☞「USB接続についての注意事項」（P. 33） 3. 主電源を切って、しばらくたってから電源を入れてください。
305	USB TIME OUT		

エラー番号	メッセージ	原因	対処方法
307	MCFDファイルIF エラー	• プリント条件データへのアクセス中に異常を検出した。	• 主電源を切って、しばらくたってから電源を入れてください。
401	モーターアラーム X	• Xモーターに過大な負荷がかかった。	1. メディアが正しくセットされているかどうかを確認してください。「メディアをセットする」（P. 52） 2. 正面カバーを開けて、キャリッジの移動に障害のあるものがないかどうかを確認してください。 3. 主電源を切って、しばらくたってから電源を入れてください。
402	モーターアラーム Y	• Yモーターに過大な負荷がかかった。	
403	X オーバー カレント	• Xモーターの過電流エラーを検出した。	
404	Y オーバー カレント	• Yモーターの過電流エラーを検出した。	
406	ワイパー動作不良	• ワイパー原点が検出できなかった。	1. ワイパーとワイパー周辺を清掃してください。「ワイパーの清掃」（P. 91） 2. 主電源を切って、しばらくたってから電源を入れてください。
504	CLAMP UP	• クランプレバーを上げた。	• クランプレバーを下げてください。
505	メディアジャム	• メディアジャムセンサーが反応した。	1. 接触したメディアを取り除き、きれいなメディアをセットし直してください。「メディアをセットする」（P. 52） 2. 正面カバーを開けて、キャリッジの移動に障害のあるものがないかどうかを確認してください。
509	HDC POSCNT	• 位置制御に異常を検出した。	• 主電源を切って、しばらくたってから電源を入れてください。
50a	Y原点検出	• Y原点検出（初期化動作）に異常を検出した。	
50c	メディア幅センサー確認	• メディア幅の検出に異常を検出した。	1. メディアのセット位置を確認してください。「メディアをセットする」（P. 52） 2. メディア幅センサーを清掃してください。「メディアセンサーの清掃」（P. 98）
50f	L-SCALE BLACK	• リニアスケールに異常を検出した。	• 主電源を切って、しばらくたってから電源を入れてください。
516	メディア位置 右過ぎます	• メディアが範囲外にセットされている。	1. メディアのセット位置を確認してください。「メディアをセットする」（P. 52） 2. メディア幅センサーを清掃してください。「メディアセンサーの清掃」（P. 98）
528	ポンプモーター センサ	• ポンプセンサー検出に異常を検出した。	• 主電源を切って、しばらくたってから電源を入れてください。
549	LEnc. Count DIO	• DIO基板へのリニアスケール配線に異常を検出した。	• 主電源を切って、しばらくたってから電源を入れてください。
602	インクエンド	• インクがなくなった。	• 新しいインクに交換してください。「インクを交換する」（P. 41）

エラー番号	メッセージ	原因	対処方法
608	インク IC異常	• インクICチップの情報にエラーが発生した。	1. インクカートリッジが正しく挿入されているかどうかを確認してください。 2. 主電源を切って、しばらくたってから電源を入れてください。 3. 新しいインクカートリッジに交換してください。☞「インクを交換する」（P. 41）
627	カートリッジ セット	• 一定時間インクICチップが読めない。	1. インクカートリッジが正しく挿入されているかどうかを確認してください。 2. 主電源を切って、しばらくたってから電源を入れてください。
628	カートリッジ異常	• インクの使用量が規定値を超えた。	• 新しいインクに交換してください。☞「インクを交換する」（P. 41） • ノズル詰まりがないかどうかを確認してください。
63c	インク残量0	• インクの残量が0mlになった。	• 新しいインクに交換してください。☞「インクを交換する」（P. 41）
64C	NCUエラー	• 何らかのエラーにより機能が実行できない。	• 主電源を切って、しばらくたってから電源を入れてください。
650	NCU接続異常	• NCUの接続に異常を検出した。	
651	NCU交換	• ノズル詰まり判定に異常を検出した。	• NCUの交換が必要です。販売店、お近くの弊社営業所、またはコールセンターにお問い合わせください。
652	NCU 検出エラー（HW）	• ノズル詰まり判定に異常を検出した。	• NCUを清掃してください。☞「NCUの清掃」（P. 94）
653	NCU 検出エラー（マーク）		
654	NCU センター位置検出エラー	• 吐出位置の調整に失敗した。	
655	NCU 吐出位置検出エラー		
656	NCU SN調整エラー	• センサー感度調整に失敗した。	
657	NCU インク吸収材交換	• NCUのインク吸収材が満杯になった。	• NCUのインク吸収材交換が必要です。販売店、お近くの弊社営業所、またはコールセンターにお問い合わせください。
658	NCU センサー感度低下	• センサー感度が低下している。	• NCUを清掃してください。☞「NCUの清掃」（P. 94） • エラーが解消されない場合、NCUの交換をお勧めします。販売店、お近くの弊社営業所、またはコールセンターにお問い合わせください。
65b	NCU感度調整エラー H	• センサー感度調整に失敗した。	
65c	NCU感度調整エラー L		
702	サーミスタ接続	• サーミスタの接続に異常を検出した。	• 主電源を切って、しばらくたってから電源を入れてください。
710	ヒーター温度異常	• ヒーターの温度に異常を検出した。	• 自動で異常を解決するように制御しています。異常が解決されない場合は、主電源を切って、しばらくたってから電源を入れてください。

エラー番号	メッセージ	原因	対処方法
901	実行できません	• 何らかのエラーにより機能が実行できない。	• エラーの内容を確認してください。
902	未作図 データ アリ	• プリント（RIP）データを受信している。	• リモートモードに移行して、プリントしてください。またはデータクリアを実行して、プリントを中止します。
90d	ヘッド 選択 ナシ	• プリントヘッドに異常を検出した。	• 主電源を切って、しばらくたってから電源を入れてください。
90f	プリント エリア不足	• プリント領域が不足している。	• メディア幅が広い、もしくはメディア長さが十分なメディアに交換してください。 • 原点移動により、プリントできる領域が狭くなっている場合は、原点を移動してプリントできる領域を広げてください。
b1b	BaseIO PCB Vpow-s	• Base IO基板の電源に異常を検出した。	• 主電源を切って、しばらくたってから電源を入れてください。
b1c	BaseIO PCB V24		
b1d	BaseIO PCB V24-A		
b21	SLIDER1 PCB V3R3	• スライダー基板の電源に異常を検出した。	• 主電源を切って、しばらくたってから電源を入れてください。
b22	SLIDER1 PCB V2R5		
b23	SLIDER1 PCB V1R8		
b24	SLIDER1 PCB V1R2		
d09	HD MEMORY [1234]	• ヘッド内蔵メモリーに異常を検出した。	• 主電源を切って、しばらくたってから電源を入れてください。

SYSTEM HALT

エラー番号	メッセージ	対処方法
406	WIPER ORG	1. ワイパーとワイパー周辺を清掃してください。☞「ワイパーの清掃」（P. 91） 2. 主電源を切って、しばらくたってから電源を入れてください。

• その他のSYSTEM HALT番号が表示された場合は、主電源を切って、しばらくたってから電源を入れてください。

第 6 章　付録

この章では...

本機の仕様など説明しています。

仕様 .....134　LICENSE Library (EPL5 StarterWare) 136

6.1 仕様

項目			TxF330-800
プリントヘッド	方式		オンデマンドピエゾヘッド
	仕様		ヘッド（400ノズルx 8列）を2つ搭載（スタガ配列）
	解像度	Y	600 dpi、1,200 dpi
		X	600 dpi、900 dpi、1,200 dpi
インク種類			PHT50
インクセット			4-color + W：Y, M, C, K, W 6-color + W：Y, M, C, K, SB, PP, W
メディア	種類		フィルム
	最大プリント幅*1		800mm
	最大幅		810mm
	最小幅		210 mm
	厚さ		1.0 mm以下
	ロール外径*2		ø250 mm以下
	ロール重量*2, 3		45 kg以下
	紙管内径		2インチ、または3インチ
	プリント面		外面、内面
	巻き終り処理		紙管にテープ止め、または弱粘着
プリントマージン	ロール		左右：15 mm（デフォルト値） 前：120mm 後：150mm
	リーフ		左右：15 mm（デフォルト値） 前：120mm 後：150mm
距離精度*4	絶対精度		±0.3mm、または指定距離の±0.3 %の大きい方
	再現性		±0.2 mm、または指定距離の±0.1 %の大きい方
直角度			±0.5 mm / 1,000 mm
メディアスキュー			5 mm以下 / 10 m
プリントギャップ			手動3段階（1.6 / 2.1 / 2.6）
原点位置合わせ			LEDポインター式
インク供給			インクカートリッジ
メンテナンス液供給			カートリッジ
廃インクタンク			ボトル式（2,000 ml ）
繰り出しユニット			搭載
メディアヒーター			PRE / PRINT / AFTER :50 / 50 / 50℃ 3系統独立制御
NCU（ノズル詰まり検出）			搭載
DAS（自動補正機能）			搭載

項目		TxF330-800
インターフェイス	データ転送機能	**Ethernet 1000BASE-T（推奨）** *5,6、USB 2.0 Hi-speed *6,7
コマンド		MRL-V
言語		日本語、英語、中国語、トルコ語、ポルトガル語、スペイン語、イタリア語、韓国語
騒音	待機時	45 dB以下（FAST-A、前後左右1 m）
	連続動作時	65 dB以下（FAST-A、前後左右1 m）
	不連続動作時	70 dB以下（FAST-A、前後左右1 m）
適合規格		VCCI-classA、FCC-classA、IEC62368-1 準拠ETL、CE マーキング（EMC指令、低電圧指令、機械指令、RoHS指令）、CB 認証、REACH、EnergyStar、RCMマーク、KC認証
電源仕様 *8		単相AC100-120V±10%/8A、単相AC200-240V±10%/4.5A、50/60±1Hz
消費電力	最大 *9	AC100-120V：800W 以下 AC200-240V：1100W 以下
	標準	300W
	最小 *10	4.9 W以下
設置環境 *11	使用可能温度	20 - 30 °C
	相対湿度	35 - 65 %Rh（結露なきこと）
	精度保証温度	20 - 25 °C
	温度勾配	±10 °C/h 以下
	粉塵	0.15 mg/m^3（オフィス相当）
	動作最高高度	2,000 m
外形寸法 *12	幅	2,084mm（2,240mm）
	奥行き	700 mm（922 mm）
	高さ	1,389 mm（986 mm）
重量*12		161 kg（204 kg）

*1. 設定メニューのマージンを左右を最小値（5mm）に設定したとき。
*2. メディア巻き取り後の外径および重量。
*3. 重量によるたわみがない範囲。
*4. メディアの伸縮やメディアセット初期蛇行は除く。
*5. ローカルガイダンスで、“1000Mbps”以外が表示されている場合、プリント不可。
*6. 接続環境やプリントデータによって、プリント速度が低下するおそれあり。
*7. 本機へのデータ転送速度が遅く、プリント実行中にキャリッジが左右端で一時停止するおそれがあります。
*8. オプション類除く。
*9. プリントモードによって異なる。
*10. スリープ時。
*11. 範囲外の環境下では、インク吐出安定性が低下するおそれあり。
*12. （）内は、梱包サイズ。

6.2 LICENSE Library (EPL5 StarterWare)

Mimaki printer Firmware

Copyright @2020 MIMAKI ENGINEERING CO.,LTD. All rights reserved.

This product contain open source software listed in the tables below.

Component	License
StarterWare for ARM® based TI Sitara Processors	BSD-TI

The following license terms and conditions shall apply to the open source software listed in the table above:

BSD-TI

Copyright (C) 2010 Texas Instruments Incorporated - http://www.ti.com/

Redistribution and use in source and binary forms, with or without modification, are permitted provided that the following conditions are met:

1. Redistributions of source code must retain the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer.
2. Redistributions in binary form must reproduce the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer in the documentation and/or other materials provided with the distribution.
3. Neither the name of Texas Instruments Incorporated nor the names of its contributors may be used to endorse or promote products derived from this software without specific prior written permission.

THIS SOFTWARE IS PROVIDED BY THE COPYRIGHT HOLDERS AND CONTRIBUTORS "AS IS" AND ANY EXPRESS OR IMPLIED WARRANTIES, INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, THE IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE ARE DISCLAIMED. IN NO EVENT SHALL THE COPYRIGHT OWNER OR CONTRIBUTORS BE LIABLE FOR ANY DIRECT, INDIRECT, INCIDENTAL, SPECIAL, EXEMPLARY, OR CONSEQUENTIAL DAMAGES (INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, PROCUREMENT OF SUBSTITUTE GOODS OR SERVICES; LOSS OF USE, DATA, OR PROFITS; OR BUSINESS INTERRUPTION) HOWEVER CAUSED AND ON ANY THEORY OF LIABILITY, WHETHER IN CONTRACT, STRICT LIABILITY, OR TORT (INCLUDING NEGLIGENCE OR OTHERWISE) ARISING IN ANY WAY OUT OF THE USE OF THIS SOFTWARE, EVEN IF ADVISED OF THE POSSIBILITY OF SUCH DAMAGE.

索引

A

ACインレット 21

D

DAS 89, 96

DAS（Dot Adjustment System） 74

E

[END/POWER]キー 25, 26, 30, 31

[ENTER]キー 26

F

[FUNCTION]キー 26, 28

I

Ink cartridge check 38, 116

J

[JOG]キー 26

L

LANGUAGE 84

LANケーブル 32

LANポート 21

M

MAPS（Mimaki Advanced Pass System） 74

Mimakiドライバー 36

MRA（Mimaki Remote Access） 84

N

NCU 22, 89, 94

P

PINコード 85

R

RasterLink 36, 37, 68, 69, 82, 83

S

[SEL]キー 26

SYSTEM HALT 26

U

USBインターフェイスケーブル 33
USBポート 21

V

VCCI 5

い

インクIC チップ 116
インクエラー 27
インクエンド 40, 116
インクカートリッジケース 116
インク供給ユニット 20, 24
インク交換 86
インク残量補正 79
インク残量 27
インク状態確認ランプ 24
インクニアエンド 116
インクの状態 27
インク排出経路 89, 97
インクパック 116
インクレベルエンド 116
インクレベルロー 116
印刷中チェック 78
インストールガイド 36, 37
インターロック 16
インレット 29

え

エラー履歴 86
エラー 26, 123

お

オートクリーニング 79
オートパワーオフ 83
オートパワーオン 83
オートメンテナンス 78

か

確認フィード 83

カット前フィード 83
カット溝 23
カラープロファイル 36
環境設定メニュー 84
乾燥時間 82

き

キーブザー 84
キーライフタイム 85
機能設定メニュー 82
キャッピングステーション 20, 22
キャップ交換 77
キャップ使用 86
キャップ 51, 89, 93, 105
キャリッジアウト 77
キャリッジの移動 26
キャリッジ 20, 22, 51, 77, 89, 95
キャンセル 26
吸着ファン 75

く

クランプレバー 20, 21
クリーニング 77
繰り出しユニット 82
繰出ユニット 21, 53
グリットローラー 20, 22

け

警告ラベル 17

こ

コンセント 29

し

時刻設定 84
自動ノズルリカバリー 78
自動補正（DAS） 74
自動補正 96, 124
自動リモート 83
受信障害 5
受信バッファ 71
主電源スイッチ 21, 25, 30

詳細設定 75
使用時間 86
使用状況 86
シンボルマーク 6

す

スイッチングハブ 32
ステーションメンテ 77
ステータスランプ 26
スムージングレベル 75

せ

設置スペース 15
センサー感度 123, 130
メンテナンス液カートリッジ 21
洗浄液トレイ清掃 77
洗浄トレイ充填 77

そ

操作パネル 20, 26

た

高さ調整レバー 50
単位表示設定 84

て

定期ワイピング 79
ディスプレイ 26, 27
テストプリント 26, 61, 77
電源ケーブル 29
電源設定 82
電源プラグ 29
電波障害自主規制 5

と

吐出不良 77, 79, 118
ドット位置補正 28, 48, 66, 74

ね

ネットワーク 84

の

ノズル洗浄 77, 78, 120, 121

ノズルチェック 78, 81
ノズル詰まり 81
ノズルリカバリー 77, 79
ノットレディモード 27

は

バージョン 86
廃インクタンク 20, 79, 86, 89, 113
廃インク量補正 113
排気ファンBOX 107
排気ファンフィルター 107
判定条件 78

ひ

ヒーター 60, 75
表示言語 84
ピンチローラー 20, 22, 108

ふ

フィード速度 76
フィード補正 28, 47, 64, 65, 74
プラテン 20, 23, 89, 99
プリヒーター 21, 60
プリント原点 70
プリント中メンテ 79
プリント長 86
プリントヒーター 60
プリント面積 86

へ

ページ間余白 83
ヘッドクリーニング 26, 63
ヘッド高さ 49

ほ

保管洗浄 77, 102
ポストヒーター 20
ポストヒーター 60
ホワイトメンテナンス 79
ポンプチューブ洗浄 77, 97

ま

マージン 83
マシンステータスメニュー 86

め

メディア押さえ 89, 99
メディア削除 76
メディア残量 75
メディア情報 75
メディア設定メニュー 74
メディアセンサー 21, 24, 89, 98
メディア幅 75
メディアフィード 26
メディア名称変更 76
メディア 52
メニューモード 27
免責事項 5
メンテナンスカバー 20
メンテナンスメニュー 77
メンテナンス履歴 86
メンテナンス 86

よ

余白設定 83
余白フィード方式 83

り

リスト 86
リファレンスガイド 69
リフレッシュ 79
リモートコントロール 84
リモートモード 26, 27

ろ

ローカルガイダンス 28
ローカルモード 26, 27
ロールホルダー 55
ロジカルシーク 82

わ

ワイパー交換 77, 86, 104
ワイパーメンテ 77
ワイパー 51, 77, 89, 91, 104

ワイピング..... 86

MEMO

取扱説明書

2026年10月

発行者　株式会社ミマキエンジニアリング
発行所　株式会社ミマキエンジニアリング
〒389-0512
長野県東御市滋野乙2182-3

D203943-11-15102026

© MIMAKI ENGINEERING CO., LTD.2026

AT
FW : 1.1